

設 計 書

工事名称 松戸市役所矢切支所外壁及び屋上防水改修工事

工事場所 松戸市三矢小台三丁目10番地の5

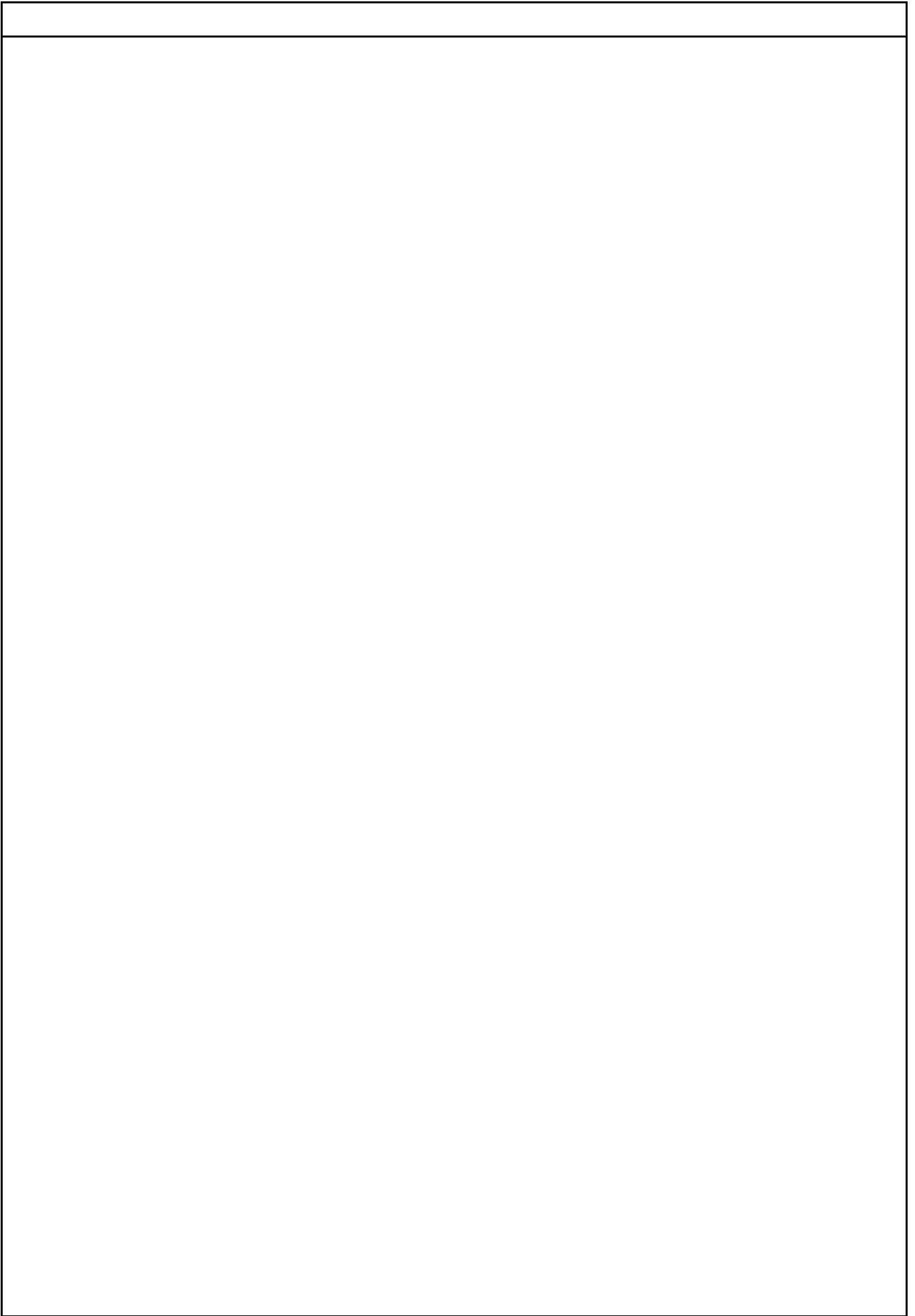
工 期 自 令和 年 月 日
至 令和 9年 2月15日

設計年月日 令和 8年 6月

(工事価格)

前払金及工事出来高の内払回数については松戸市財務規則による。

参 考



建築工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
外壁改修	撤去	1	式		
外壁改修	改修	1	式		
計					
塗装改修	改修	1	式		
計					
環境配慮改修		1	式		
計					
外構	改修	1	式		
計					
防水改修	撤去	1	式		
防水改修	改修	1	式		
計					
発生材処理	積込み・運搬・処分	1	式		
計					

建築工事		外壁改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
壁改修下地調査費		727	m ²			
外壁高圧水洗い (手間・損料共)	12MPA(120kg/cm ²)	727	m ²			
コンクリートひび割れ部 Eポ [®] 杉樹脂シール (材工共)	幅10mm	76	m			
コンクリートひび割れ部 (Uカットシール [®] 充填) (材工共)	Eポ [®] リレタ [®] シール [®] 10×10～15mm Eポ [®] リレタ [®] シール [®] 押え有り	70	m			
欠損部処理 (材工共)	幅100mm,長さ100mm,平均深20mm程度 パツ、錆落ブラッシング、Eポ [®] 杉樹脂Eポ [®] 埋	221	か所			
Eポ [®] 浮部改修 部 分Eポ [®] 杉樹脂注入 (材工共)	一般部 16本/m ²	35	m ²			
既存塗膜除去部 下地調整費	屋外 C-1 軒裏	53.7	m ²			
既存塗膜除去部 下地調整費	屋外 C-2 石綿除去部	58.3	m ²			
複層塗材 E	コンクリート面 ゆず肌状 Eポ [®] 塗り 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共 仕上フツ系	58.3	m ²			
可とう形改修 塗材 E	薄付け仕上 仕上フツ系	592	m ²			
水性反応硬化形軒 天用仕上塗材	軒裏	53.7	m ²			
基礎巾木用塗料	下塗1回・主材塗2回 下地調整C-1塗り共	23	m ²			
建具廻りシール [®] 打ち替え	一般部 Eポ [®] リレタ [®] 系(PU-2) 20×10 撤去共	257	m			
建具廻りシール [®] 打ち替え	一般部 変成シリコン系(MS-2) 20×10 撤去共	9.8	m			
打継目地シール [®] 打ち替え	一般部 Eポ [®] リレタ [®] 系(PU-2) 20×15 撤去共	166	m			
誘発目地シール [®] 打ち替え	一般部 Eポ [®] リレタ [®] 系(PU-2) 20×15 撤去共	69.5	m			
設備機器廻り シール [®]	一般部 Eポ [®] リレタ [®] 系(PU-2) 20×10	1	式			
ガラス廻りシール [®]	一般部 シリコン系(SR-1) 両面	425	m			

建築工事		外壁改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
換気が引廻りシーリング	一般部 ホリルケ系(PU-2) 20×10 撤去共	9.8	m			
天井裏換気が引廻りシーリング	一般部 ホリルケ系(PU-2) 20×10 撤去共	3.3	m			
懸垂幕装置	下手巻き式 SUSの巾仕様 W1,100×H8,000	1	式			別紙 00-0015
ウエダカバ-交換	SUS 300x300 撤去共	6	か所			
硬質ポリ塩化ビニル管とい(カー)	径100	32.7	m			
堅とい養生管	白ガス管 125 H1800	3	か所			
堅とい養生管	白ガス管 100 H1800	2	か所			
館銘板文字	ホックス文字 400角9文字 + 300角9文字 SUS HL 取付共	1	式			別紙 00-0016
交通標識(アイリングストップ)	450*600 t=2 アルミ製 取付共	1	式			
交通標識(駐車禁止)	450*600 t=2 アルミ製 取付共	1	式			
サッシ・ガラス清掃	両面	140	m ²			
ガラスフィルム貼り	透明ガラス用 遮熱フィルム 内張 3M NANO40S 同等品	5.8	m ²			
ガラスフィルム貼り	型ガラス用 遮熱フィルム 外張 3M NANO70SX 同等品	6.3	m ²			
手すり等クリーニング		1	式			別紙 00-0017
計						

建築工事		外構		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
壁改修下地調査費		160	m ²			
外壁高圧水洗い (手間・損料共)	12MPA(120kg/cm ²)	190	m ²			
コンクリートひび割れ部 Eポ ^レ キ樹脂シール (材工共)	幅10mm	22	m			
コンクリートひび割れ部 (Uカット・リング 充填) (材工共)	ポ ^レ リウレタン・リング 10×10～15mm ポ ^レ リス・セメントEポ ^レ キ押え有り	21	m			
欠損部処理 (材工共)	幅100mm,長さ100mm,平均深20mm程度 ハツリ、錆落ブ ^ラ ッシング、Eポ ^レ キ樹脂Eポ ^レ キ埋	64	か所			
Eポ ^レ キ浮部改修 部 分Eポ ^レ キ樹脂注入 (材工共)	一般部 16本 / m ²	11	m ²			
既存塗膜除去部 下地調整費	屋外 C-1 軒裏	10	m ²			
既存塗膜除去部 下地調整費	屋外 C-2 石綿除去部	18	m ²			
複層塗材 E	コンクリート面 ゆず肌状 ロ-ラー塗り 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共 仕上フッ素系	18	m ²			
可とう形改修 塗材 E	薄付け仕上 仕上フッ素系	142	m ²			
階段ノスリッパ ^ン 撤去 ・新設		1	式			別紙 00-0018
各所 DP塗	門扉等	1	式			別紙 00-0019
客土	残土処理共	7.2	m ³			
ツツ ^ン 植替え他	伐採・伐根82本 植付79本 既存撤去共	1	式			別紙 00-0020
玉砂利敷き	白玉砂利16m ² t ^レ 50程度 既存ツツ ^ン 撤去・処分・防草シート敷 き込み共	1	式			別紙 00-0021
雨水貯留タンク設置	SUS製 W650*H1075 150L 設置・既存撤去・ステッカー貼共	1	式			別紙 00-0022
ポ ^レ ラタ ^ン 撤去	コンクリート製 2個	1	式			
計						

建築工事		防水改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
[屋上・バルコニー]						
高压洗浄	120kg/cm ²	410	m ²			
外シ・清掃		410	m ²			
コンクリートひび割れ部 (Uカット・リング 充填) (材工共)		15	m			
欠損部補修 (材工共)	幅100mm,長さ100mm,平均深20mm程度 、ホ ^ホ リマセメントEIL外埋	5	か所			
既存下地浮き部 ホ ^ホ 樹脂注入	狭幅部 5本 / m	120	m			
既存下地浮き部 ホ ^ホ 樹脂注入	一般部 16本 / m ²	10	m ²			
防水下地調整 樹脂EIL外金こて (材工共)	厚さ 2mm	340	m ²			
水勾配調整		1	式			
外シ塗膜防水	X-1 平場 シリコン	242	m ²			
外シ塗膜防水	X-2 立上り シリコン	168	m ²			
ハ ^ハ ット天端 外シ塗膜防水	X-2 見附共 下地補修共	37.9	m ²			
基礎天端 外シ塗膜防水	X-2 見附共 下地補修共	26.9	m ²			
端部シリング	一般部 ホ ^ホ リウレタン系(PU-2) 15×10	204	m			
設備廻りシリング	一般部 ホ ^ホ リウレタン系(PU-2) 10×10	1	式			
複層塗材 E	コンクリート面 ゆず肌状 ロ ^ロ ラー塗り 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共 仕上フッ系	22.8	m ²			
脱気筒 (材工共)	ステンレス製	5	か所			
改修用ドレン (材工共)	堅引き 鉛製100 用 アルミストレーナー共	2	か所			

建築工事		防水改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
[ホル等屋上]						
高圧洗浄	120kg/cm2	23.2	m ²			
外シ・清掃		23.2	m ²			
コンクリートひび割れ部 (Uカット・リング 充填) (材工共)		14	m			
欠損部補修 (材工共)	幅100mm,長さ100mm,平均深20mm程度 、ホリヤセメント外埋	4	か所			
既存下地浮き部 外シ樹脂注入	狭幅部 5本 / m	10	m			
既存下地浮き部 外シ樹脂注入	一般部 16本 / m ²	3	m ²			
防水下地調整 樹脂外金こて (材工共)	厚さ 2mm	23.7	m ²			
水勾配調整		1	式			
外シ塗膜防水	X-2 平場 シリコン	16.7	m ²			
外シ塗膜防水	X-2 立上り シリコン	6.5	m ²			
外シ笠木 (直線部) (材工共)	w=300	10.3	m			
外シ笠木 (コーナー部) (材工共)	w=300用 500 × 500	2	か所			
防水押え金物	外シ製 アスファルト防水用	7.5	m			
計						

建築工事		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
枠組本足場 (手すり先行方式)	W900	1	式			別紙 00-0004
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 12m未満 - -	829	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 基本料 修理費含む 12m未満 - -	829	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 基本料 修理費含む 12m未満 - -	829	m ²			
計						
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用	1	式			別紙 00-0005
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間 -	104	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 供用1日賃料 修理費含む -	104	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 基本料 修理費含む -	104	m			
計						
単管本足場	掛払い手間 10m未満 -	1	式			別紙 00-0006
単管本足場	掛払い手間 10m未満 -	76.1	m ²			
単管本足場	供用1日賃料 修理費含む 10m未満 -	76.1	m ²			
単管本足場	基本料 修理費含む 10m未満 -	76.1	m ²			
計						

建築工事		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
メッシュシート張り	防災 類	1	式			別紙 00-0007
メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 類 掛払い手間 -	905	m ²			
メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 類 供用1日賃料 修理費含む -	905	m ²			
メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 類 基本料 修理費含む -	905	m ²			
計						
メッシュシート張り	防災 類 落下防止水平養生	1	式			別紙 00-0056
メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 類 掛払い手間 -	29.4	m ²			
メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 類 供用1日賃料 修理費含む -	29.4	m ²			
メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 類 基本料 修理費含む -	29.4	m ²			
計						
金網式養生枠		1	式			別紙 00-0008
金網式養生枠	掛払い手間 -	49.4	m ²			
金網式養生枠	供用1日賃料 修理費含む -	49.4	m ²			
金網式養生枠	基本料 修理費含む -	49.4	m ²			
計						

建築工事		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
成形鋼板	H = 2000 3箇月	1	式			別紙 00-0009
成形鋼板	H = 2000 3箇月	25.8	m			
計						
小幅ネット張り (層間塞ぎ)		1	式			別紙 00-0010
小幅ネット張り (層間塞ぎ)	防災ネット 掛払い手間 -	184	m			
小幅ネット張り (層間塞ぎ)	防災ネット 供用1日賃料 修理費含む -	184	m			
小幅ネット張り (層間塞ぎ)	防災ネット 基本料 修理費含む -	184	m			
計						
外部足場	脚立足場程度	1	式			別紙 00-0011
外部足場	脚立足場程度	22.3	m ²			
計						
落下物養生	朝顔 出幅2.0m	1	式			別紙 00-0012
養生防護棚 (直線部)	枠組本足場用 掛払い手間 -	9.1	m			
養生防護棚 (直線部)	枠組本足場用 供用1日賃料 修理費含む -	9.1	m			
養生防護棚 (直線部)	枠組本足場用 基本料 修理費含む -	9.1	m			
計						

建築工事		外構		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
階段ノスリップ 撤去・新設		1	式			別紙 00-0018
カッター入れ	珪外面 厚さ20～30mm	15.6	m			
階段ノスリップ 撤去 (カッター入別、集積共)(手間)		15.6	m			
階段ノスリップ 取付		15.6	m			
階段タイル	150*60	15.6	m			
計						
各所 DP塗	門扉等	1	式			別紙 00-0019
配管等 DP塗装 (塗替え)	鉄鋼面 下地調整RB種 下塗り 変性エポキシ樹脂プライマー-2回 上塗り等級 1級 既存塗膜除去共	100	m			
計						
ツツ 植替え他	伐採・伐根82本 植付79本 既存撤去共	1	式			別紙 00-0020
ヒト ツツ	H500 W500	79	本			
既存ツツ 他伐採伐根	ツツ H500 W500 82本 オリーブ H300 W300 2本 ナンテン H2000 W2000 1本	1	式			
運搬・処分費	2tダンプ	1	式			
植付け(中低木)	樹高 50cm未満	79	本			
計						

建築工事		発生材処理		積み込み・運搬・処分		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材積み		1	式			別紙 00-0023
発生材積み	コンクリート類 人力	0.4	m3			
発生材積み	板・ド・木材類 人力	18.6	m3			
発生材積み	石綿含有産業廃棄物(安定型)人力	1.8	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0024
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積み込 無筋コンクリート類 DID区間有り 23.0km以下	19	m3			
石綿含有産業廃棄物(安定型)撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積み込 無筋コンクリート類 DID区間有り 23.0km以下	1.8	m3			
計						
発生材処分		1	式			別紙 00-0025
発生材処分	がれき類	0.1	m3			
発生材処分	金属くず	0.2	m3			
発生材処分	木くず	17.8	m3			
発生材処分	廃プラスチック類	0.85	m3			
石綿含有産業廃棄物(安定型)処分費		1.8	m3			
計						

電気設備工事		動力設備		動力幹線		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
電線		1	式			別紙 00-0031
600V耐燃性ポリレン ン絶縁電線(EM-IE)	14mm2	5	m			
600V耐燃性ポリレン ン絶縁電線(EM-IE)	14mm2	5	m			
計						
ケーブル		1	式			別紙 00-0032
EM-CETケーブル	60mm2 管内	5	m			
EM-CETケーブル	60mm2 管内	5	m			
計						
電線管		1	式			別紙 00-0033
厚鋼電線管 (G)	露出配管 70mm	1.5	m			
波付硬質合成 樹脂管(FEP)	(80)	2	m			
電線管 ホンディング (厚鋼電線管)	G70	1	か所			
異種管継手		2	個			
計						

電気設備工事		動力設備		動力幹線		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土工事		1	式			別紙 00-0034
根切り(人力)		1	m3			
敷きならし	締め固め共	1	m3			
舗装カッター切断	アスファルト 厚さ100まで(汚泥処分別途)	6	m			
アスファルト舗装取り壊し 直営単価 機械 集積・積込共		0.1	m3			
アスファルト舗装	A-5-10 再生密粒 再生クマッシュン 特に狭い場所 人力	2	m ²			
路盤材敷きならし	厚さ 15cm 特に狭い場所 人力	2	m ²			
土工機械運搬	根切り、埋戻し(小規模土工) -	1	往復			
計						
配管工事		1	式			別紙 00-0035
配管切断 (鋼管類)・手間のみ	配管切断 80A 保温無	2	か所			
計						
地中線埋設標識		1	式			別紙 00-0036
地中埋設標	鉄製	2	個			
埋設標識シート	2倍長(W)150	2	m			
計						

機械設備工事		空調設備		機器設備		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
電気配管配線		1	式			別紙 00-0041
EM-CEEケーブル	1.25mm2- 2C 管内	4	m			
1種金属線び(MM1)	A型(25.4mm)	4	m			
1種金属線び(MM1) 附属品	A型(25.4mm) コーナボックス	2	個			
1種金属線び(MM1) 附属品(材料費)	A型(25.4mm) プッシング	2	個			
1種金属線び(MM1) 附属品	A型(25.4mm) 2個用スイッチボックス	2	個			
計						
文字標識		1	式			別紙 00-0042
塗装工		1	人			
計						
据付費		1	式			別紙 00-0043
ハッケージ形空調 和機(セパレートマルチ) 据付	屋外機 床置き 防振基礎無し 7.1kW以下	1	台			
ハッケージ形空調 和機(セパレートマルチ) 据付	屋内機 壁掛け - 7.1kW以下	1	台			
ハッケージ形空調 和機(セパレートマルチ) 据付	屋外機 床置き 防振基礎無し 5.0kW以下	1	台			
ハッケージ形空調 和機(セパレートマルチ) 据付	屋内機 壁掛け - 5.0kW以下	1	台			
計						

機械設備工事		空調設備		配管設備		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
冷媒管		1	式			別紙 00-0045
冷媒・断熱材 被覆銅管 往復 (電線共巻) 改修	6.35mm (液管) 12.70mm (ガス管)	3	m			
冷媒・断熱材 被覆銅管 往復 (電線共巻) 改修	9.52mm (液管) 15.88mm (ガス管)	3	m			
計						
保温		1	式			別紙 00-0046
冷媒管外装(往復)	屋外露出 (SUS) 6.35mm(液管) 12.70mm(ガス管)	3	m			
冷媒管外装(往復)	屋外露出 (SUS) 9.52mm(液管) 15.88mm(ガス管)	3	m			
計						
形鋼振れ止め支持		1	式			別紙 00-0047
空調・配管工事費		3	%			
計						
あと施工アーカー		1	式			別紙 00-0048
あと施工アーカー	ドレン管 (ビニル管、銅管) 1.0m	9	個			
あと施工アーカー	冷媒管 1.5m	3	個			
計						

現場説明書

1. 工事名称 松戸市役所矢切支所外壁及び屋上防水改修工事

2. 工事場所 松戸市三矢小台三丁目10番地の5

3. 説明事項

- ・工事期間中は現場内の整理整頓及び敷地周辺環境に配慮すること。
- ・契約後、各施工計画書及び施工図等は遅滞なく作成し承諾を得ること。
- ・騒音、振動発生する作業を行う場合は、事前に施設管理者と十分協議し作業を行うこと。
- ・関連法規を遵守し、安全に対して最大限に配慮し工事中の事故防止に努めること。
- ・工事の日程等は、施設管理者および関係者に事前に周知を図ること。

<仮設について>

- ・職員及び施設利用者の安全や動線が確保されるよう仮設を計画し、安全管理を十分に行うこと。
- ・材料の搬出入時等は、交通誘導員等を適宜配置し、安全確保に努めること。
- ・工事の実施に伴い、道路等施設管理者の許可が必要となる場合、必要な書類等を提出し、速やかに許可を取得すること。

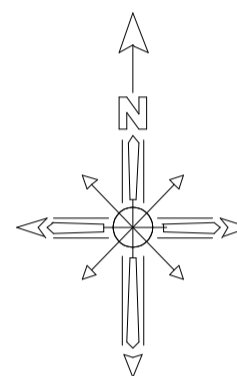
<週休2日制適用工事について>

- ・本工事は、通期の週休2日工事である(発注者指定方式)。
- ・受注者は、現場閉所(休息)による週休2日工事として取り組むこと。
なお、予定価格については通期の4週8休達成相当の経費を補正している。
- ・週休2日制の実施にあたっては、「松戸市営繕工事週休2日工事試行実施要領」に基づき行うこと。

<注意事項>

- ・提出書類は松戸市建築工事提出書類等一覧表による。
- ・検査・立会は松戸市建築工事検査・立会一覧表による。
- ・落札者は契約締結後、書式データ・図面データ等をお渡しするのでCD-RW等を建築保全課へ持参すること。

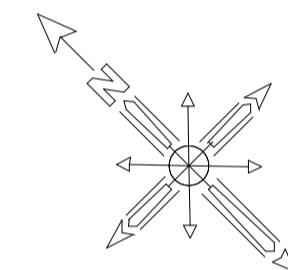
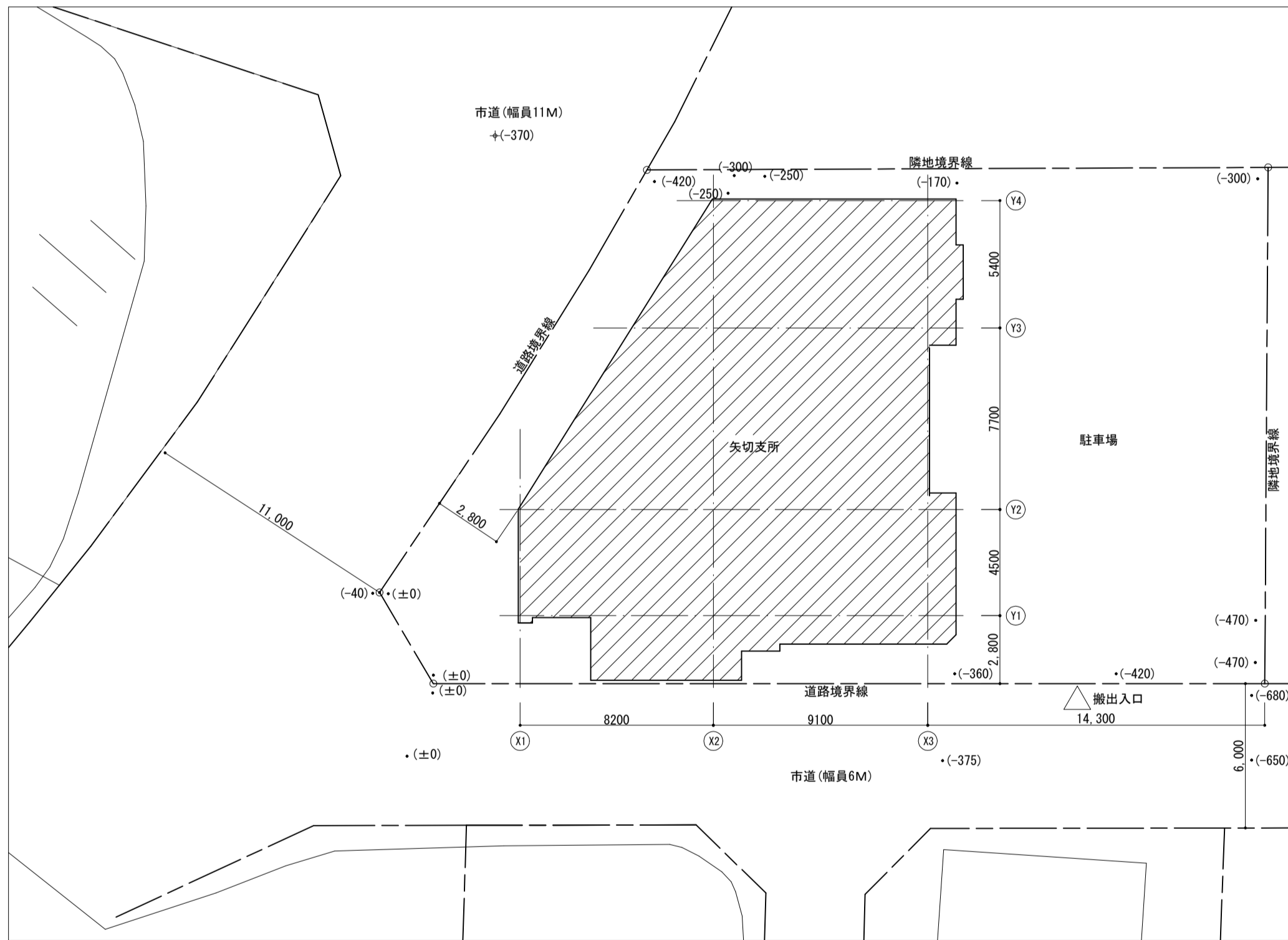
松戸市役所矢切支所外壁及び屋上防水改修工事



工事場所：松戸市三矢小台三丁目10番地の5

案内図 S = 1 : 2500

<凡例> は工事場所を示す



配置図 S = 1 : 200

<凡例> は建物工事箇所を示す
※外構工事箇所については、外構図参照

工事名	松戸市役所矢切支所外壁及び屋上防水改修工事		
図面名	案内図・配置図		
作成年月日	令和8年 月 日	変更年月日	
縮尺	1 : 2500 1 : 200	図面番号	A-01
松戸市 街づくり部 建築保全課			

工事名称 松戸市役所矢切支所外壁及び屋上防水改修工事					
特記仕様書					
I 工事概要					
1 工事場所 松戸市三矢小台三丁目10番地の5					
2 改修建物概要					
建物名称	構造	階数	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)	備考
矢切支所	RC造	2階	267.75	511.48	
3 工事内容 (●印の付いた種目)					
● 防水改修工事	○ 屋根改修工事	● 外壁改修工事			
● 建具改修工事	○ 内装改修工事	● ユニットの工事およびその他の工事			
● 塗装改修工事	● 環境配慮改修工事	○ その他			
○ _____	○ _____	○ _____			
○ 耐震改修工事					
○ 構造壁設置 (鉄骨ブレース壁 _____ 箇所、RC造 _____ 箇所、 _____)	○ 柱設置 (RC造 _____ 箇所、S柱 _____ 箇所、 _____)				
○ 柱補強 (鉄板巻き _____ 箇所、RC増打 _____ 箇所、 _____)					
II 建築改修工事仕様					
1 共通仕様					
2 特記仕様					
3 松戸市建築工事現場表示板仕様					
工事名称	発注者	松戸市			
設計	監理	松戸市			
施工建築	電気	機械			
緊急連絡先					

章	項目	特記事項
① 各章 共通事項	● 1 適用基準等	●松戸市建築工事提出書類等一覧表 ●工事写真の撮り方 建築編(国土交通大臣官房官庁営繕部監修) ●松戸市建築工事現場表示板仕様
	● 2 工事実績情報の登録	[1.1.4] 最終請負代金(消費税込)が500万円以上となる場合には、工事実績情報システム(CORINS)に基づき工事実績データを作成する。また、作成した内容について監督職員の確認を受けた後、以下に示す期間内に(一)日本建設情報総合センターに所定の手続きにより登録すると共に、登録内容確認書の写しを提出する。 (1) 工事受注時 契約締結後10日以内 (2) 登録内容の変更時 変更契約締結後10日以内 (3) 工事完成時 工事完成後10日以内
	● 3 施工計画書	[1.2.2] (1) 工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。 (2) 施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。 (3) 施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受けること。 (4) 施工図等の内容を変更する必要がある場合は監督職員に報告すること。
	● 4 発生材の処理等	[1.3.12] 発生材の処理等は、別記-1「建設副産物の処理」による。

● 5 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ●風圧力 風速(Vo=3.4 m/s) 地表面粗度区分(○I ○II ●III ○IV) ○積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表()
○ 6 電気保安技術者	[1.3.3] ●要 ○不要 工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
● 7 条件明示項目	[1.3.5] フレックス工期契約制度 ○適用する 工事着手期限(令和__年__月__日)、工期の終期日(令和__年__月__日) 留意事項(松戸市*****実施要領第*条) (1) 受注者は、工事着手日を明らかにするため、契約締結後7日以内に工事着手日通知書を発注者に届けなければならない。 (2) 契約締結日から工事着手日の前日までの間は、建設業法第26条に基づく主任技術者又は監理技術者の設置を要しない。 (3) 契約締結日から工事着手日の前日までの間は、建設工事請負契約書第11条に基づく現場代理人の設置を要しない。 (4) 工事着手日までの間は、工事の施工(現場事務所等の設置、資機材等の発注及び工場製作等を含む)を行ってはならない。 (5) 前払金は、工事着手日の10日前までは請求できない。 (6) 工事実績情報システムへの登録に際しては、主任(監理)技術者及び現場代理人の従事期間は、工事着手日をもって登録するものとする。(工事契約日から工事着手日の前日までを除くこととする。) ●適用しない
○ 8 環境への配慮	[1.4.1] 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の(1)から(4)を満たすものとする。 (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗料は、アセトアルデヒド及びホルムアルデヒドを発生しない又は発散が極めて少ない材料を、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 (2) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 (3) 接着剤は、可塑性(フタル酸ジエーテル及びフタル酸ジエーテルへキシル等を含む難揮発性の可塑性剤を除く)が追加されていない材料を使用する。 (4) (1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
● 9 材料の品質等	[1.4.2] 1 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 3 標準仕様書及び改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 4 本工事に使用する材料のうち、5に指定する材料の製造業者等は、次の(1)から(6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 (1) 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 (2) 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 (3) 安定的な供給が可能であること。 (4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6) 販売、保守等の営業体制を整えていること。 5 製造業者等に関する資料の提出を求めている材料 床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材、既調合モルタル、既調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材、錠前類、クローザ類、自動ドア機構、自閉式上吊り引戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、防水材、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブレース、天井点検口、床点検口、グレンジング、屋上緑化システム、トップライト、ポリマーセメントモルタル、錆鉄製ふた
● 10 ワンデーレスポンス	本工事は、ワンデーレスポンス対象工事である。 「ワンデーレスポンス」とは、受注者からの質問、協議への回答は基本的に「その日のうち(2.4時間以内)」に回答するよう対応することである。 ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者に確認の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 (1) 受注者は、施工計画に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予測しながら施工すること。 (2) 受注者は、工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じる恐れがある場合は、原因を究明すると共に速やかに文書にて監督職員へ報告すること。

● 11 石綿含有建材の調査	[1.5.1] ●石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 費と資料(アスベスト 調査結果報告書) ○分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクテノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロソドライト、トロモライト 分析方法 材料名 定性分析方法 (JIS A 1481-1)または (JIS A 1481-2) 定量分析方法 (JIS A 1481-3)、(JIS A 1481-4)または (JIS A 1481-5) ○ (箇所) ○ (箇所) ○ (箇所) ○ (箇所) ○ (箇所) ○ (箇所) サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ○図示による ○ _____	
● 12 技能士	[1.7.2] 適用工事種別 技能検定の職種 防水改修工事 ○777777防水工事作業 ●777777系塗膜防水工事作業 ○777777系塗膜防水工事作業 ○合成ゴム系シート防水工事作業 ○塩化ビニル系シート防水工事作業 ○セメント系防水工事作業 ●777777防水工事作業 ○改質777777シート工法防水工事作業 ○FRP防水工事作業 ○左官作業 ○内外装板金作業 外壁改修工事 ○左官作業 ○タイル張り作業 ●建築塗装作業 建具改修工事 ○ビル用サッシ工事作業 ○ガラス工事作業 内装改修工事 ○自動ドア施工作业 ○777777系床仕上げ工事作業 ○カーペット系床仕上げ作業 ○ボード仕上げ工事作業 ○鋼製下地工事作業 ○塗装作業 ○大工工事作業 ○タイル張り作業 塗装改修工事 ●建築塗装作業 耐震改修工事 ○鉄筋組立作業 ○型枠工事作業 ○とび作業 ブロック工事 ○コンクリートブロック工事作業 A L C工事 ○A L Cパネル工事作業 石工事 ○石張り作業 補装工事 ●造園工事作業	
○ 13 化学物質の濃度測定	[1.7.10] 施工完了時及び部分使用引渡しに先立ち、室内空気中の揮発性有機化合物の濃度を測定し、監督職員に報告すること。 測定対象物質は、次による。 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、ステレン 着工前の測定 ○行う ○行わない 測定対象室 ○仕上表による ○図示 ○ _____ 測定箇所数 ○仕上表による ○図示 ○ _____ 測定時間 ⑧24時間 (「官庁営繕部におけるホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」(平成24年4月5日 国営整第4号)、「官庁営繕部における平成15年度からのホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」参照) 測定はパンプ型採取機器により行う。 その他、濃度測定方法等については、監督職員の指示による。	
● 14 完成時の提出図書等	[1.9.1~3][表1.9.1] 工事完成時の提出図書等は以下のものとする。	
提出図書等	仕様	部数
● しゅん工図面	○図面(A1版)折りたたみ製本 ●電子CADデータ(A1版)	○1部 ●1部
● 工事関係図書	本工事に作成した工事関係書類等をまとめたもの	●1部
● 完成写真	● L判	●2部
● 工程写真	● L判	●1部
● 立会写真	● L判	●1部
○ 保全に関する資料		
● 15 CADデータ		
● 16 施工図等の取扱		
○ 17 設備工事との取合い		
● 18 設計GL		
● 19 保険等		
● 20 過積載による違法運行の防止		
● 21 創意工夫等		

○ 22 快適トイレの試行	1 現場に以下の(1)~(11)の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。 (12)~(17)については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。 (1) 洋式便器 (2) 水洗及び簡易水洗機能(し尿処理装置付き含む) (3) 臭い逆流防止機能 (4) 容易に開かない施錠機能 (5) 照明設備 (6) 衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等(耐荷重を5kg以上とする) (7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示 (8) 入口の目隠し設置(男女別トイレ間も含め入口が直接見えないような配置等) (9) サニタリーボックス(女性用トイレに必ず設置) (10) 鏡と手洗器 (11) 便座除菌クリナー等の衛生用品 (12) 室内寸法900mm×900mm以上(面積ではない) (13) 暖音装置(機能を含む) (14) 着替え台 (15) 臭気対策機能の多重化 (16) 室内温度の調整が可能な設備 (17) 小物置き場(トイレットペーパー予備置き場等) 2 快適トイレに要する費用 快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。 受注者は、上記1を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。(1)~(11)の費用については、10,000円/基・月(従来品相当)を差し引いた後、51,000円/基・月を上限に設計変更の対象とする。なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ、2基までとする。 また、運搬・設置費は共通仮設費(率)に含まれるとし、2基より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わない。 3 その他 快適トイレの手配が困難な場合は、監督職員と協議の上、対象外とする。		
工事名	松戸市役所矢切支所外壁及び屋上防水改修工事		
図面名	特記仕様書(1)		
作成年月日	令和8年 月 日	変更年月日	
縮尺	nonscale	図面番号	A-02
松戸市 街づくり部 建築保全課			

② 仮設工事

○ 1 騒音 粉じんの対策 [2.1.3]

● 2 足場その他 [2.2.1]

1 足場を設ける場合は、改修標準仕様書2.2.1 (2) によるほか、設置等においては、「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」における2の手すり据置方式又は(3)手すり専用足場方式により行うとともに、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する構造とすること。

2 欄足場については、計算より安全性を確認すること。

3 位置する足場及び作業構造の種類は、別契約の関係受注者に無償で使用させる。

●内部足場 種別 ●脚立、足場板等 ○
●外部足場 ●設置する ○設置しない
防護シートによる養生 ●行う ○行わない
ネット養生シート(○防災Ⅰ類 ●防災Ⅱ類 ○)

材料、撤去材料等の運搬方法 [表2.2.1]

○A種 ●B種 ○C種 ●D種 ○E種
○その他(ダストシート)
C種 利用可能なエレベーター ()
D種 利用可能な階段 ()

● 3 既存部分の養生 [2.3.1]

1 養生の方法等 [2.3.1]

○既存部分 養生方法 ○ビニールシート 合板等 ○
○既存家具、既存設備等 養生方法 ○ビニールシート等 ○
○既存ブラインド、カーテン等 養生方法 ○ビニールシート等 ○
保管場所等 ○指定場所に保管、再取付け ○撤去、処分
備品、机、ロッカー等の移動 ○行わない ○行う(図示)

2 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

○ 4 仮設間仕切り [2.3.2][表2.3.1]

1 仮設間仕切り及び仮設扉の設置場所 ○図示 ○
2 仮設間仕切りの種別と材質

種別	下地	仕上材(厚さ mm)	塗装	充填材
○A種	○木 ○軽量鉄骨	○せつこうボード(厚9.5) ○ ○種類()	○片面 ○なし	○あり
○B種	○合板(厚9.0) ○ ○材質()			
○C種	○単管	○防火シート		

○ 5 監督職員事務所 [2.4.1]

○既存建物内の一部を利用する ○構内に設置する ○設けない
監督職員事務所の規模
○10㎡程度 ○20㎡程度 ○35㎡程度 ○ユニットハウス程度

○ 6 監督職員事務所の備品等
○下記のものを常備する
机、椅子、書棚、ゴム長靴、保護帽子、消火器、打合せテーブル、検査用機器等

● 7 工事用水
構内既存の施設 ○利用できる (●有償 ○無償)
●利用できない (●有償 ○無償)
有償、無償に関係なく予備タンクを設置する

● 8 工事用電力
構内既存の施設 ●利用できない ○利用できる (○有償 ○無償)

● 9 仮囲い等
仮囲い ●シート張り H=3.0m L=3.1m
●ガードフェンス H=1.8m L=36.0m
●カラーコーン及びコーンパー H=0.7m L=26.0m
出入口 ○シートゲート H= m L= m 箇所
●キャスターゲート H=1.8m L=3m 1箇所

○ 10 仮設道路
○砕石敷き(厚さ mm 幅 mm) L= m
(砕石は、再生クラッシュラン Gを使用)
○鋼板敷(長さ6m 幅1.5m 厚さ2.2mm) 枚

○ 5 アスファルト防水

屋根保護防水(既存) [3.3.2~5][表3.3.3~10]

新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート
○P2A	○A-1 ○A-2 ○A-3			○ ϵ リフィソフ/44 厚さ0.15mm以上 又は ϵ フラットノクス 70g/m ² 程度 ○
○P1B	○B-1 ○B-2			
○P2A1	○A1-1 ○A1-2 ○A1-3		(種類) ○ ϵ JIS A 95211による押出法 ϵ リフソフ ϵ 断熱材3種bA(ϵ 層付付き) (厚さ) (mm) ○	○ ϵ フラットノクス 70g/m ² 程度
○P1B1	○B1-1 ○B1-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
○改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
○JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ○
材料による区分 ○R種
厚さ()mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
○改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
○JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ○
材料による区分 ○R種
厚さ()mm以上

平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ 防水下 80mm以上 ○
床土張り 防水下 60mm以上 ○

立上り部の保護工法
○乾式保護材(品質、性能、試験方法は建築材料等品質性能表による)
窯業系パネルⅠ類(厚さ mm) 幅 mm)
○コンクリート押え
○モルタル押え(屋内)
○れんが押え(ϵ JIS R 1250 ○)

屋根露出防水(既存)

新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料	高日射反射率防水 G	備考
○M4C	○C-1 ○C-2 ○C-3 ○C-4			○ ϵ 77 ϵ トルフィン ϵ 類の製造所の仕様 ○ ○ ϵ 77 ϵ トルフィン ϵ 類の製造所の仕様 ○	○適用 ○	
○M3D ○P0D	○D-1 ○D-2			○ ϵ 77 ϵ トルフィン ϵ 類の製造所の仕様 ○ ○ ϵ 77 ϵ トルフィン ϵ 類の製造所の仕様 ○	○適用 ○	脱気装置 ○設ける ○設けない 改修ドレン ○設ける ○設けない
○P0D1 ○M3D1 ○M4D1	○D1-1 ○D1-2		改修特記仕様書3.3.2(9) (種類) (厚さ) (mm) ○	○ ϵ 77 ϵ トルフィン ϵ 類の製造所の仕様 ○ ○ ϵ 77 ϵ トルフィン ϵ 類の製造所の仕様 ○	○適用 ○	脱気装置 ○設ける ○設けない 改修ドレン ○設ける ○設けない

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
○改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
○JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ○
材料による区分 ○R種
厚さ()mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
○改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による
○JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ○
材料による区分 ○R種
厚さ()mm以上

絶縁X-1工法の場合のルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
○図示

絶縁工法及び絶縁X-1工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ○アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ○
設置数量 ○アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ○
設置数量 ○アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ○

屋内防水
防水層の種類
改修工法 種別 施工箇所

○P1E	○E-1		
○P2E	○E-2		

保護層 ○設ける(○図示 ○) ○設けない

○E-1の工程3を行う部位
○貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 ○
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
○アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度 ○

屋上排水溝 ○図示 ○

○ 6 改質アスファルトシート防水 [3.4.2~4][表3.4.1~3]

屋根露出防水(既存)

新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料	高日射反射率防水 G	備考
○M4AS	○AS-T1 ○AS-T2 ○AS-J2			○改質77 ϵ トルフィンの製造所の仕様 ○ ○改質77 ϵ トルフィンの製造所の仕様 ○	○適用 ○	脱気装置 ○設ける ○設けない
○M3AS	○AS-T3 ○AS-T4 ○AS-J1			○改質77 ϵ トルフィンの製造所の仕様 ○ ○改質77 ϵ トルフィンの製造所の仕様 ○	○適用 ○	脱気装置 ○設ける ○設けない
○P0AS	○AS-T3 ○AS-T4 ○AS-J1 ○AS-J3			○改質77 ϵ トルフィンの製造所の仕様 ○ ○改質77 ϵ トルフィンの製造所の仕様 ○	○適用 ○	脱気装置 ○設ける ○設けない
○M3A SI	○AS1 -T1		改修特記仕様書3.4.2(3) (種類) (厚さ) (mm) ○	○改質77 ϵ トルフィンの製造所の仕様 ○ ○改質77 ϵ トルフィンの製造所の仕様 ○	○適用 ○	脱気装置 ○設ける ○設けない
○M4A SI	○AS1 -J1			○改質77 ϵ トルフィンの製造所の仕様 ○ ○改質77 ϵ トルフィンの製造所の仕様 ○	○適用 ○	脱気装置 ○設ける ○設けない
○P0A SI				○改質77 ϵ トルフィンの製造所の仕様 ○ ○改質77 ϵ トルフィンの製造所の仕様 ○	○適用 ○	脱気装置 ○設ける ○設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
○改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
○JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ○
材料による区分 ○R種
厚さ()mm以上

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
○改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
○JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ○
材料による区分 ○R種
厚さ()mm以上

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
○改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
○JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ○
材料による区分 ○R種
厚さ()mm以上

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
○アルミニウム製 L=35×15×2.0mm程度 ○

絶縁工法及び絶縁X-1工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ○改質アスファルトシート製造所の指定 ○個
設置数量 ○改質アスファルトシート製造所の指定 ○個
絶縁X-1工法の防湿用シート ○設置する ○設置しない

○ 7 合成高分子系ルーフィングシート防水 [3.5.2~4][表3.5.1~3]

新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料	高日射反射率防水 G	備考
○POS OS4S	○S-F1			○ ϵ ル ϵ フィン ϵ シート製造所の仕様 ○ ○ ϵ ル ϵ フィン ϵ シート製造所の仕様 ○	○適用 ○	脱気装置 ○設ける ○設けない 改修ドレン ○設ける ○設けない
	○S-F2				○適用 ○	
	○S-M1			○ ϵ ル ϵ フィン ϵ シート製造所の仕様 ○ ○ ϵ ル ϵ フィン ϵ シート製造所の仕様 ○	○適用 ○	
	○S-M2				○適用 ○	
○OSS	○S-F1	○ ϵ リヤ ϵ トコナリ ϵ ト下地 ○		○ ϵ ル ϵ フィン ϵ シート製造所の仕様 ○ ○ ϵ ル ϵ フィン ϵ シート製造所の仕様 ○	○適用 ○	脱気装置 ○設ける ○設けない
	○S-F2	○ ϵ リヤ ϵ トコナリ ϵ ト下地 ○			○適用 ○	
○MAS	○S-M1			○ ϵ ル ϵ フィン ϵ シート製造所の仕様 ○ ○ ϵ ル ϵ フィン ϵ シート製造所の仕様 ○	○適用 ○	脱気装置 ○設ける ○設けない
	○S-M2				○適用 ○	
○POS1 OS3S1 OS4S1 OM4S1	○S1-F1	○ ϵ リヤ ϵ トコナリ ϵ ト下地 ○ (種類) ○	改修特記仕様書3.5.2(3) (a) (b) (種類) ○	○ ϵ ル ϵ フィン ϵ シート製造所の仕様 ○ ○ ϵ ル ϵ フィン ϵ シート製造所の仕様 ○	○適用 ○	脱気装置 ○設ける ○設けない 改修ドレン ○設ける ○設けない
	○S1-F2	○ ϵ リヤ ϵ トコナリ ϵ ト下地 ○ (厚さ) (mm) ○25 ○50			○適用 ○	
	○S1-M1	改修特記仕様書3.5.2(3) (a) (種類) ○		○ ϵ ル ϵ フィン ϵ シート製造所の仕様 ○ ○ ϵ ル ϵ フィン ϵ シート製造所の仕様 ○	○適用 ○	
	○S1-M2		(厚さ) (mm) ○25 ○50		○適用 ○	

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 ○非歩行仕様 ○経歩行仕様
S1-M1及びS1-M2における防湿フィルム ○設置する ○設置しない

屋内防水
防水層の種類

改修工法	種別	施工箇所	保護層	
			平場の保護 モルタル塗厚(mm)	立上り部の保護 モルタル塗厚
○PIS	○S-C1		○	○ ϵ 7mm以下 ○

平場の保護モルタル床塗りにおける床の目地の目地割り及び種類
目地割り ○ ϵ 2m程度、最大目地間隔3m程度 ○
目地の種類 ○押下目地 ○

合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
○改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による
○JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種類() 厚さ() mm
絶縁用シート ϵ の材質 ○ ϵ 発泡ポリエチレンシート ○

固定金具の材質、形状及び寸法
○厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層したもの ○

接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ○ルーフィングシート製造所の指定による ○
設置数量 ○ルーフィングシート製造所の指定による ○個

接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
○行う(○図示 ○) ○行わない
プレキャストコンクリート部材の隅部増張り(種別 S-F1、S1-F1の場合)
○行う(○図示 ○) ○行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
1-4 適用区分による風圧力の(○1 ○1.15 ○1.3) 倍の風圧力に対応した工法

● 8 塗膜防水 [3.6.2~4][表3.6.1~3]

新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率防水 G	備考
●POX	○X-1 ○X-2 ○X-1H ○X-2H ○		○主材料の製造所の仕様 ○ ○主材料の製造所の仕様 ○	○適用する ○	脱気装置 ○設ける ○設けない 改修ドレン ○設ける ○設けない
○L4X	○X-1 ○X-2 ○X-1H ○X-2H ○		○主材料の製造所の仕様 ○ ○主材料の製造所の仕様 ○	○適用する ○	脱気装置 ○設ける ○設けない

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ●主材料の製造所の仕様 ○
設置数量 ●主材料の製造所の仕様 ○ 5個

新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率防水 G	備考
○PIY	○Y-2		○主材料の製造所の仕様 ○	○適用する ○	脱気装置 ○設ける ○設けない
○OP2Y	○Y-2		○主材料の製造所の仕様 ○	○適用する ○	脱気装置 ○設ける ○設けない

○ 9 シーリング [3.1.4][3.7.2~8]

シーリング改修工法の種類
○シーリング充填工法
●シーリング再充填工法
○圧縮シーリング再充填工法
○ブリッジ工法
○ボンドブローカー張り ○適用する ○適用しない
○エッジング材張り ○適用する ○適用しない

シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.11による。

施工箇所	シーリング材の種類(記号)
打継目地、伸縮目地	ポリウレタン系(PU-2)
建具廻り、金属取合い	変成シリコン系(MS-2)
	シリコン系(SR-1)

上を行わない施工箇所 ○図示 ○
シーリング材の目地寸法 ○図示 ○
接着性試験 ○簡易接着性試験 ○引張接着性試験

○ 10 保証年限

○ ϵ 77 ϵ 防水 10年
○合成高分子系ルーフィングシート防水 ○10年 ○15年
●塗膜防水 10年
○受注者は、防水施工業者及び材料メーカーと連名で年限保証する。

工事名	神戸市役所矢切支所外壁及び屋上防水改修工事		
図面名	特記仕様書(2)		
作成年月日	令和8年 月 日	変更年月日	
縮尺	nonscale	図面番号	A-03
神戸市 街づくり部 建築保全課			

3-1 防水改修工事
●11 とい
●12 アルミニウム製笠木
3-2 屋根改修工事
○1 長尺金属板葺
○2 折板葺
4 外壁改修工事
○1 施工数量調査
4-1 外壁改修工事
○1 ひび割れ部改修工法

○2 欠損部改修工法
○1 既存モルタル塗りの撤去
○2 ひび割れ部改修工法
○3 欠損部改修工法
○4 浮き部改修工法
○1 既存モルタル塗りの撤去
○2 タイルの形状、寸法等

○3 ひび割れ部改修工法
○4 欠損部改修工法
○5 浮き部改修工法
○6 目地改修工法

4.5.4 [表4.5.4~7]
4.5.2 [表4.5.1]
4.6.1 [表4.6.1]
4.7.1 [表4.7.1]
4.4.5 [表4.4.5~7]
4.4.2 [表4.4.2]
4.4.4 [表4.4.4]
4.4.3 [表4.4.3]
4.4.1 [表4.4.1]
4.4.6 [表4.4.6]

工事名 松戸市役所矢切支所外壁及び屋上防水改修工事
図面名 特記仕様書(3)
作成年月日 令和8年 月 日 変更年月日
縮尺 nonscale 図面番号 A-04
松戸市 街づくり部 建築保全課

5 建築改修工事

ガラスの留め材及び溝の大きさ	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)
アルミニウム製	○シーリング材 ○グレイジングチャンネル	○建具の製造所の仕様による ○図示
鋼製及び鋼製軽量	○シーリング材	○建具の製造所の仕様による ○図示
SUS製	○シーリング材	○建具の製造所の仕様による ○図示
樹脂製	○グレイジングチャンネル	○建具の製造所の仕様による ○図示

[5.14.5]

呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能
○160×160	○95				
○200×200	○95				

壁用金属枠及び補強材 ○図示 ○
力骨 材質 ○ステンレス鋼 (SUS304) ○
寸法 外径5.5mm ○
形状 又はしご形状複筋及び単筋 ○
化粧目地モルタルの色 (○白 ○グレー)
シーリングの種類 (○SR-1 ○PS-1)
金属製化粧カバー 材質 ○SUS製 ○アルミニウム製
寸法 ○図示 ○ 形状 ○図示 ○

目地部の横力骨の納まり
○ガラスブロック製造所の仕様による ○図示 ○
工法 1-4 適用区分による風圧力の (○1 ○1.5 ○1.3) 倍の風圧力に対応した工法

種類	記号	その他性能等
●日射調整フィルム [G]	●SC-1 ●SC-2	
○低放射フィルム	○LE	
●衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	●GI-1 ●GI-2	
●相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	●GD-1 ○GD-1	
○ガラス貫通防止フィルム	○SF	

6 内装改修工事

○1 改修範囲	[6.1.3]
○2 既存床の撤去及び下地補修	[6.2.2]
○3 既存壁の撤去及び下地補修	[6.3.2]
○4 施工一般	[6.5.2]
○5 製材 [G]	[6.5.2]

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
○壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
○壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
○既存のまま ○図示

ビニル床シート等の除去 ○仕上げ材のみ (接着剤とも) ○除去範囲全て
○下地モルタルとも (○図示の範囲)
合成樹脂塗床材の除去工法 ○機械的除去工法 ○目直し工法
改修後の床の清掃範囲 ○室内の改修箇所 ○

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
○改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り ○
(全塗厚が25mmを超える場合の処置) ○図示

材料のホルムアルデヒド放散量
○F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(a)(b)による ○

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		○2級	○A種 ○B種 ○		
		○1級	○A種 ○B種 ○		

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え係り面		○2級	○A種 ○B種 ○		
見え係り面以外		○1級	○A種 ○B種 ○		

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		○1級	○10%以下 ○A種 ○B種 ○		
		○1級	○10%以下 ○A種 ○B種 ○		
		○1級	○10%以下 ○A種 ○B種 ○		

施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
		()	○適用する ○適用しない	○A種 ○B種 ○	
		()	○適用する ○適用しない	○A種 ○B種 ○	

○6 造作用修材材 [G] [6.5.2]

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					○1等 ○2等 ○	○1等 ○2等 ○	

○「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					○1等 ○2等 ○	○1等 ○2等 ○	

○「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
					○1等 ○2等 ○	○15%以下 ○	

○「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
					○1等 ○2等 ○	○15%以下 ○	

○JAS 0701に基づく造作用単板積層材 [G] [6.5.2]

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
				○適用する ○適用しない	

○JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
			○14%以下 ○	○適用する ○適用しない	

○JAS 3079に基づく直交集成材

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	間伐材等の適用

○「合板の日本農林規格」による普通合板 [G] [6.5.2]

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	○5.5	○1類	○2類	○広葉樹 ○針葉樹 ○C-D以上 ○	○1等 ○2等 ○	○適用する ○適用しない

○「合板の日本農林規格」構造用合板 [G]

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	○2級 以上 ○1級	○1類 ○特類	○C-D ○以上 ○	○1等 ○2等 ○	○適用する ○適用しない	○適用する ○適用しない	○適用する ○適用しない	○適用する ○適用しない

○「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 [G]

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			○1類 ○2類	○適用する ○適用しない	

○「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [G]

施工箇所	厚さ (mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理の適用
			○1類 ○2類	○適用する ○適用しない

○パーティクルボード [G]

施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態	曲げ強さ	耐水性	難燃性
	○15	による区分	による区分	による区分	による区分

○JAS 0360に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法 (mm)

○MDF [G]

施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態	曲げ強さ	耐水性	難燃性
		による区分	による区分	による区分	による区分

○9 接合具等 [6.5.3]

造作材の化粧面の釘打ち
○隠し釘打ち ○釘頭埋め木 ○つぶし頭釘打ち ○釘頭現し
諸金物
○かすがい、座金、箱金物、短冊金物
(改修標準仕様書表6.5.3~5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度の垂鉛めつき)
○ (形状: 寸法: 材質:)

○10 接着剤 [6.5.3.4]

接着剤のホルムアルデヒド放散量
○F☆☆☆☆ ○

○11 防蟻・防蟻処理 [6.5.5]

薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理	適用部位	保存処理性能区分
		○K2 ○K3 ○K4 ○K2 ○K3 ○K4 ○K2 ○K3 ○K4

○12 内部間仕切軸組及び床組み [6.5.6]

○間仕切軸組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)
○杉又は松 ○
○床組みに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)
○杉又は松 ○

○13 窓、出入口その他 [6.5.7]

○窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)
○杉又は松、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉 ○

○14 軽量鉄骨天井下地 [6.6.2~4] [表6.6.2]

野縁等の種類
屋外 (○25形 ○19形) 屋内 (○19形 ○25形)
屋外の形式及び寸法
野縁受け、つりボルト及びインサートの間隔 ○図示 ○900mm
周辺部の端からの間隔 ○図示 ○150mm
野縁の間隔 ○図示 ○
既存の埋込みインサート ○使用する ○使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
○行う
試験箇所数 ○屋内の場合、当該階において3箇所 ○ ()箇所
引張試験にて確認する強度
○つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m²以内の天井の場合は400N程度 ○ ()N
○行わない
○つりボルトの間隔が900mmを超える場合
補強方法 ○図示 ○
○天井のふところがある場合
補強方法 ○図示 ○
○天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所 ○図示 ○ 補強方法 ○図示 ○

○15 軽量鉄骨天井下地 [6.7.3.4]

スタッド、ランナーの種類
○改修標準仕様書表6.7.11によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
○図示 ○
スタッドの高さが5.0mを超える場合 ○図示 ○
出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ○改修標準仕様書 6.7.4(5)による ○

○16 ビニル床シート [G] [6.8.2.3]

種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考
○F/S (複層ビニル床シート)	○無地 ○マーブル柄 ○柄物	○2.0 ○	

接合部の処理 ○熱溶接工法 ○

○17 ビニル床タイル [G] [6.8.2]

種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考
○KT (コンクリート上用床タイル)	○無地 ○柄物	○300×300 ○450×450 ○	○2.0 ○3.0 ○	
○TT (単層ビニル床タイル)	○無地 ○柄物	○300×300 ○450×450 ○	○2.0 ○	
○FT (複層ビニル床タイル)	○無地 ○柄物	○300×300 ○450×450 ○	○2.0 ○2.5 ○3.0 ○	
○FOA (厚敷きビニル床タイル)	○無地 ○柄物	○500×500 ○	○4.0 ○	
○FOB (薄型厚敷きビニル床タイル)	○無地 ○柄物	○	○	

○18 特殊機能床材 [6.8.2]

種類	厚さ、寸法、形状 (mm)	性能
○帯電防止床シート		
○帯電防止床タイル		
○視覚障害者用床タイル		
○耐動荷重性床シート		
○防滑性床シート		
○防滑性床タイル		

視覚障害者用床タイル 突起の形状、寸法及びその配列は JIS T 9521 による

○19 ビニル幅木 [6.8.2]

材質の種類 ○軟質 ○硬質
高さ (mm) ○60 ○75 ○100
厚さ (mm) ○1.5以上 ○

○20 ゴム床タイル [6.8.2]

種類 ○単送品 ○積層品
色柄 ()
厚さ (mm) ○3.0 ○4.5 ○6.0 ○9.0
寸法 (mm) () × ()

○21 カーペット敷き [G] [6.9.2.3] [表6.9.1、2]

織り方	バイル形状
○ウェストンカーペット ○ダブルフェースカーペット ○アキミンスターカーペット	○カットバイル ○ループバイル ○カット/ループ

色柄 ○図示のない無地 ○
バイル糸の繊維種等 ○
○無地の織りじゅうたんの種類 (種別: ○A種 ○B種 ○C種)
○
帯電性 ○適用する ○適用しない
織りじゅうたんの接合方式 ○ヒートボンド工法 ○つづり縫い
下敷き材 ○反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ○

タフテッドカーペット	バイル形状	バイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考
○カットバイル	○5~7		○全面接着工法	○適用する	
○ループバイル	○4~6		○グリップ工法	○適用しない	
○カット、ループ併用	○				

下敷き材 (グリップ工法の場合)
○反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ○

タイルカーペット	バイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ (mm)	備考
○ループバイル	○第一種 ○第二種			○500×500 ○	○6.5 ○	
○カットバイル	○第一種 ○第二種			○500×500 ○	○6.5 ○	
○カット、ループ併用	○第一種 ○第二種			○500×500 ○	○6.5 ○	

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
○F☆☆☆☆ ○
タイルカーペットの敷き方 平場 ○巾松敷き ○模様流し ○
階段部分 ○模様流し ○巾松敷き ○
見切り、押え金物 材質 () 種類 ()
形状等 ○図示 ○

○22 合成樹脂塗床 [6.10.2.3] [表6.10.5~7]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
○厚膜型塗床材 弾性軟質樹脂系塗床			○平滑仕上げ ○防滑仕上げ ○つや消し仕上げ
○厚膜型塗床材 硬質樹脂系塗床		○薄膜流しのべ工法 ○厚膜流しのべ工法 ○樹脂めり工法	○平滑仕上げ ○防滑仕上げ
○薄膜型塗床材 (硬質樹脂系塗床)			○平滑仕上げ
○777樹脂系塗床 (防塵塗料塗り)			○平滑仕上げ ○表面仕上げ ○溶剤 臭気性

塗床材のホルムアルデヒド放散量 ○F☆☆☆☆ ○

○23 フローリング張り [G] [6.11.2~6] [表6.11.1~4]

フローリングのホルムアルデヒドの放散量等
○改修標準仕様書6.11.2(2)による ○
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量
○F☆☆☆☆ ○

種別	工法	備考
○単層フローリング (フローリングボード等)		
工法	○釘止め工法 (○根太張り ○直張り)	
	○接着工法	
樹種	○なら ○	
間伐材等の適用	○適用する ○適用しない	
○単層フローリング (フローリングブロック1等)		
樹種	○なら ○	
厚さ (mm) ○		
大きさ ○		
間伐材等の適用	○適用する ○適用しない	
○複合フローリング		
工法	○釘止め工法 (○根太張り ○直張り)	
	○接着工法	
樹種	○なら ○	
種別	○A種 ○B種 ○C種	
間伐材等の適用	○適用する ○適用しない	
接着工法の場合の不陸緩和材	○合成樹脂発泡シート ○	
○現場塗装仕上げ		
○ウレタン樹脂ニス塗り		
○オイルステインの上、ワックス塗り		
○生地のままワックス塗り		

○24 畳敷き [6.12.2] [表6.12.1]

種別 ○A種 ○B種 ○C種 ○D種 (畳床: ○KT-I ○KT-II ○KT-III ○KT-K ○KT-N)
下地の種類 ○標準仕様書 表12.6.1による床組
○ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム [G])
○
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びステレンを発生しないか、
発生が極めて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型畳 (表: ○C1 ○C2)

工事名	松戸市役所矢切支所外壁及び屋上防水改修工事
図面名	特記仕様書(4)
作成年月日	令和8年月日 変更年月日
縮尺	nonscale 図面番号 A-05
松戸市 街づくり部 建築保全課	

② ユニット及びその他の工事

○19 止水板
形状 ○差込式 ○据置式 ○壁張り式
施工箇所 ○図示 ○

○20 エキスパンションジョイント金物
材質 階区分 建築物間のクリアランス(mm) 変位追従量(mm) 耐火性能 断熱性能 備考

○7A3ニム製 ○スリス製 ○7A3ニム製 ○スリス製

外部に設置するものは、防水型とする。
エキスパンションジョイントカバーには、脱着防止措置を講ずる。

○21 くつふきマット
材質 受け枠 備考

○22 流し台ユニット
材種 寸法(mm) 備考
W D H

○流し台 ○コンロ台 ○つり戸棚 ○水切り

品質、性能
外観はJIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。
構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の既定による。
形状
窓図示 ○

○23 鋼製書架及び物品棚
種類 規格等 JISによる種類

○鋼製書架 JIS S 1039 の規格による ○1種 ○2種 ○3種
○鋼製物品棚 ○4種 ○5種 ○6種

●24 屋外掲示板
●25 ノンスリップタイル
●磁器製ノンスリップタイル W150mmxD60mm×T10mm L5.230mm×3列

○26 防煙垂れ壁
○固定式
材質 厚さ(mm) 高さ(mm) 備考

○縦入り磨板ガラス 窓6.8 窓500 アルミ製枠付き
○繰入り磨板ガラス ○

○可動式
種類 材質 高さ(mm) 備考

○垂直降下式(巻取り型) ○不燃布(不燃認定品) 窓500 窓800 ガイドレール 窓固定式(壁埋込型) ○可動式(天井収納型)

○回転降下式 鋼板製又はアルミ製 窓500 窓800 表面仕上げ ○天井材張り ○

降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)

●28 懸垂幕装置
●29 サイン
●30 雨水貯留タンク
館名板 SUS製ボックス文字 W300×H300×t30×9文字 W400×H400×t40×9文字 HL仕上

⑦ 塗装改修工事

●1 材料
屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
●F☆☆☆☆ ○
防火材料 窓屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
○次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)

●2 下地調整
塗替えR B種の場合の既存塗膜の除去範囲
●劣化部分は除去し、活膜部分は残す ○図示 ○
既存錆止め塗料の鉛含有量調査 ○行う (箇所) ●行わない

下地調整
下地の種類 下地調整の種類 塗替え びり割れ部の補修

●3 素地ごしらえ
●4 錆止め塗料塗り
●5 塗装

⑧ 環境配慮改修工事

○1 石綿含有建材の除去工事
○石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点
適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点 (各施工箇所ごと)

○測定1 処理作業前 処理作業室内 ○計点
○測定2 処理作業前 調査対象室外の付近 ○計点
○測定3 処理作業中 処理作業室内 計点
○測定4 処理作業中 排気装置の出口吹出し位置 ○計点
○測定5 処理作業中 排気装置の出口吹出し位置 (処理作業室外の場合) ○計点
○測定6 処理作業中 処理作業室内 ○計点
○測定7 処理作業後(7-1養生中) 処理作業室内 ○計点
○測定8 処理作業後(7-2養生中) 処理作業室内 ○計点
○測定9 撤去後1週間以降 調査対象室外の付近 ○計点
○作業前・中・後 敷地境界4点(計12点)

測定方法
○自動測定器による測定
測定名称 測定方法
○測定4 粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定
○測定5 粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

○JIS K 3850-1 に基づいた測定
測定名称 マンプレンフィルタ 直径(mm) 試料の吸引流量(l/min) 試料の吸引時間(min)

○測定4 25 5 30
○測定5 ○

○測定4 47 10 120
○測定5 ○

○測定4 47 10 240
○測定5 ○

石綿含有建材の処理
○石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲 ○図示 ○
除去方法 ○置き換え工法() ○安定処理工法

○改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による
除去した石綿含有吹付け材等(飛散防止措置) 窓湿度化 ○図形化

除去した石綿含有吹付け材等の処分
○埋立処分(管理型最終処分場)
○中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

○石綿含有保温材等(石綿含有けい酸カルシウム板第一種含む)の除去
除去対象範囲 ○図示 ○
除去方法 ○破砕して除去 ○手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止 窓湿度化 ○図形化

除去した石綿含有保温材等の処分
○埋立処分(管理型最終処分場)
○中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

○石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外)の除去
除去対象範囲 ●図示 ○
除去した石綿含有成形板の処分
○石綿含有せつこうボード
窓埋立処分(管理型最終処分場)
○石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板
○埋立処分(安定型最終処分場)
○中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

○石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第一種)の除去
除去対象範囲 ○図示 ○
隔離養生(負圧不要)方法
○ビニールシート等による養生を行う ○
足場 ○図示 ○
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分
○埋立処分(安定型最終処分場)
○中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

●石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板(下地調整材)の除去
除去対象範囲 ○図示 ●全面
着工前の試験施工 ○行う ●行わない
除去方法
●集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
●集じん装置併用手工具ケレン工法
●集じん装置付き高圧水洗工法(15MPa以下、30~50MPa程度)
●集じん装置付き超高压水洗工法(100MPa以上)
●剥離剤併用超音波ケレン工法
●剥離剤併用手工具ケレン工法
●剥離剤併用高圧水洗工法(30~50MPa程度)
●剥離剤併用超高压水洗工法(100MPa以上)
○超音波ケレン工法(HEPAフィルター付き掃除機併用)

養生方法
○
石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板(下地調整材)の除去
(1) 剥離剤を使用する工法では、ジクロロメタン等の有害性の高い化学物質を使用しない。
剥離剤使用量 0.6~1.0kg/m²
(2) 水を使って除去する工事の場合には、未処理の廃水が流出・地下浸透しないようすべて回収しなければならない。回収した廃水は、凝集沈殿後に上澄み水をろ過処理する等により、適切に処理した上で放流すること。

除去した石綿含有仕上塗材の処分
○埋め立て処分(安定型最終処分場)
○埋め立て処分(管理型最終処分場)
○中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

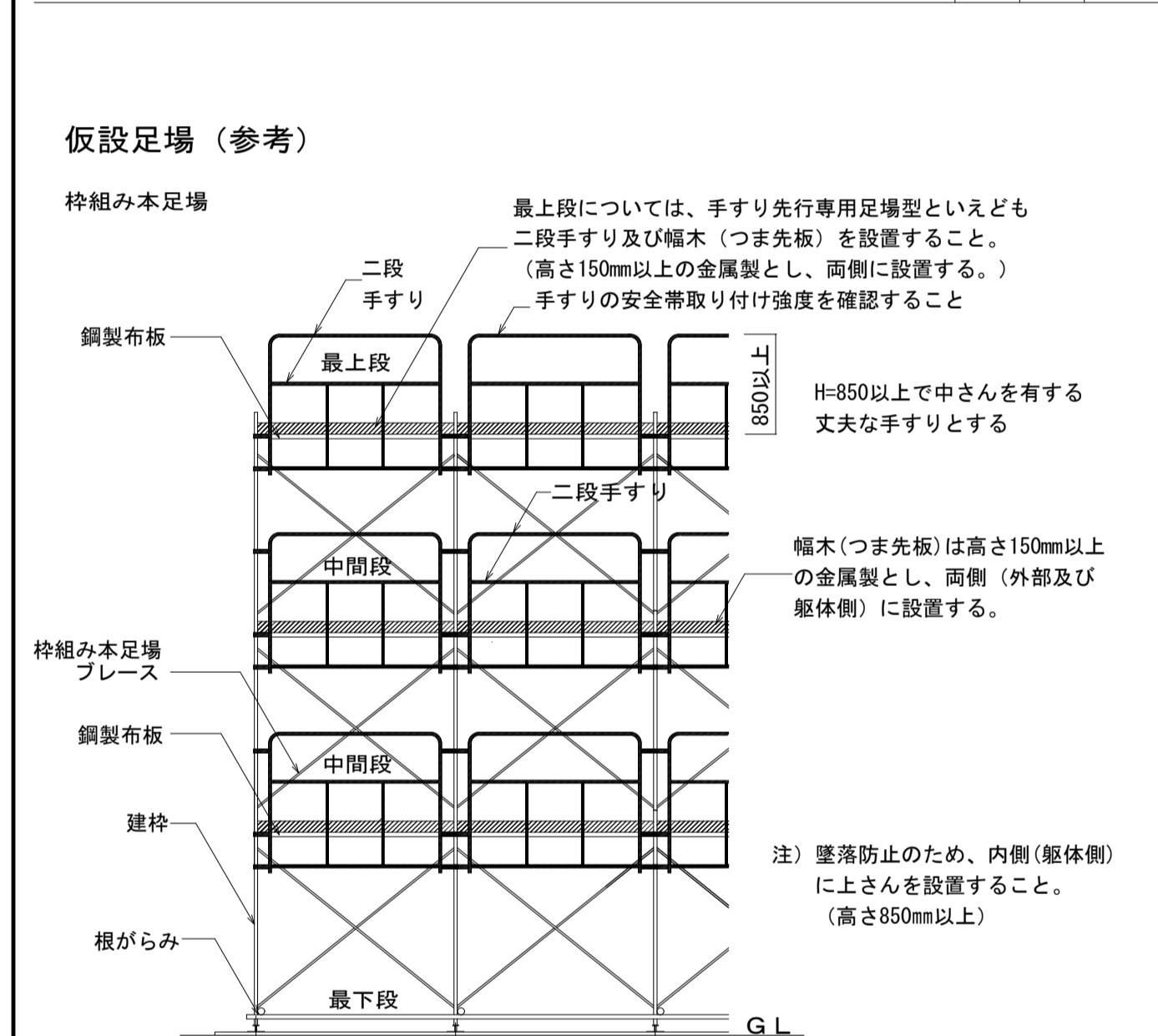
石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ○図示 ○

⑨ 有害物質の処理
除去処理対象物質 ○PCB ○六価クロム ○
除去対象物 ○
除去対象範囲 ○図示 ○
除去方法 ○
処分 ○
有害物質の取扱については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理すること。

8	環境配慮改修工事	試験	路床土の支持力比(CBR)試験	○行う(____箇所)	○行わない
		路床締固め度の試験	○行う(____箇所)	○行わない	
		現場CBR試験	○行う(____箇所)	○行わない	
		六価クロム溶出試験	○行う(現場説明書による)	○行わない	
		路盤	路盤の厚さ	○図示	○
		路盤材料(改修標準仕様書表9.5.3による種別)	○クラッシュラン	○粒度調整砕石	○再生クラッシュラン
		○再生粒度調整砕石	○クラッシュラン鉄鋼スラグ	○粒度調整鉄鋼スラグ	○水硬性粒度調整鉄鋼スラグ
		舗装の構成	○図示	○	
		開粒度アスファルト混合物等の抽出試験	○行う	○行わない	
		舗装の平坦性	○著しい不陸がないもの	○	

9	その他	○1 土工	1. 埋め戻し及び盛り土 種別 ○A種 ○B種 ○C種 ○D種 ○建設汚泥から再生した処理土	(3.2.3) (表3.2.1)
		○2 コンクリートブロック工事	2. 建設発生土の処理 ○構外搬出適切処理 ○構内指示の場所に敷き均し、○構内指示の場所に堆積、○	(3.2.5)
		1. 補強コンクリートブロック造	○ブロックの種類:	(8.2.2~5)
		断面形状及び圧縮強さによる区分	モジュール呼び寸法(mm)長さ 高さ	化粧の有無 適用箇所 備考
		○	○無、○有	
		モルタル調合(容積比) : ○(セメント()) : 砂()		
		各部の配筋 : ○図示、○		
		モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲 : ○図示、○		
		2. コンクリートブロック構壁及び塀	○ブロックの種類:	(8.3.2~4)
		断面形状及び圧縮強さによる区分	モジュール呼び寸法(mm)長さ 高さ	表8.3.1以外の適用箇所 備考
		○空洞ブロックC(16)	○無、○有	
		○型枠状ブロック20	○無、○有	
		○	○無、○有	
		塀の厚さ(mm) : 塀の高さが2m以下 ○120、○ 塀の高さが2m超え ○150、○		
		壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 : ○図示、○		
		各部の配筋 : ○図示、○		
●3	ガラスクリーニング	施工 ●外壁面に取付く金属製建具の既存ガラスクリーニング(両面)は本工とする。		
○4	既存建具金物調整	○破損及び滅失金物は、交換又は取付、その他の金物は調整する。 調整建具箇所 ○金属製建具 (○内外共 ○外部 ○)		
●5	玉砂利敷設	白玉砂利、防草シート(16㎡)共		
●6	庭木伐根・植付	伐採伐根 : ツツジ、サツキ、オオツルラン、南天の木 植付 : ツツジ		
●7	塀	高圧水洗いの上、可とう形改修塗材E(劣化による補修部 : 下地調整C-2の上、複層塗材E)【塗替】		

工事区分表			施工区分		
開口部	工事内容		建築	電気	機械
			○	○	○
基礎	鉄筋コンクリート、コンクリートブロックの 柱、梁、壁、床に設ける開口	解体、穴明け	○	○	○
		鉄筋補強	○	○	○
礎		スリーブ、型枠(補強筋無し)	○	○	○
		スリーブ、型枠(補強筋有り)	○	○	○
礎		埋戻し、穴埋め(補強筋無し)	○	○	○
		埋戻し、穴埋め(補強筋有り)	○	○	○
礎		開口補強	○	○	○
		切込み(開口補強無し)	○	○	○
礎		躯体と一体のもの	○	○	○
		上記以外のもの	○	○	○
礎		躯体と一体のもの	○	○	○
		上記以外のもの	○	○	○
礎		鉄筋コンクリート製	○	○	○
		無筋コンクリート製、その他	○	○	○
礎		○	○	○	○
		○	○	○	○
礎		○	○	○	○
		○	○	○	○
礎		○	○	○	○
		○	○	○	○
礎		○	○	○	○
		○	○	○	○
礎		○	○	○	○
		○	○	○	○
礎		○	○	○	○
		○	○	○	○
礎		○	○	○	○
		○	○	○	○
礎		○	○	○	○
		○	○	○	○
礎		○	○	○	○
		○	○	○	○
礎		○	○	○	○
		○	○	○	○
礎		○	○	○	○
		○	○	○	○
礎		○	○	○	○
		○	○	○	○
礎		○	○	○	○
		○	○	○	○
礎		○	○	○	○
		○	○	○	○

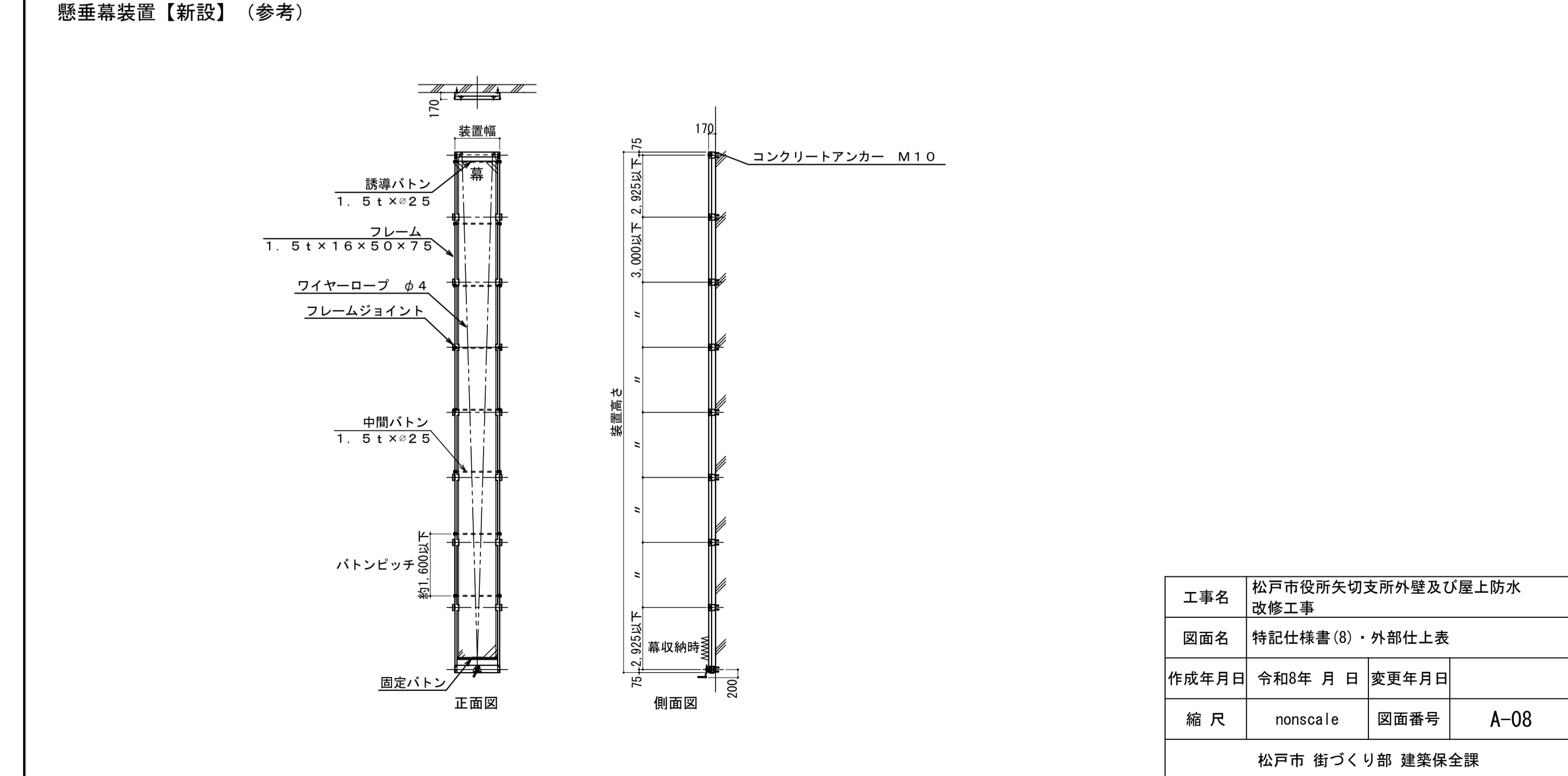


「働きやすい安心感のある足場」手すり先行専用足場型概念図

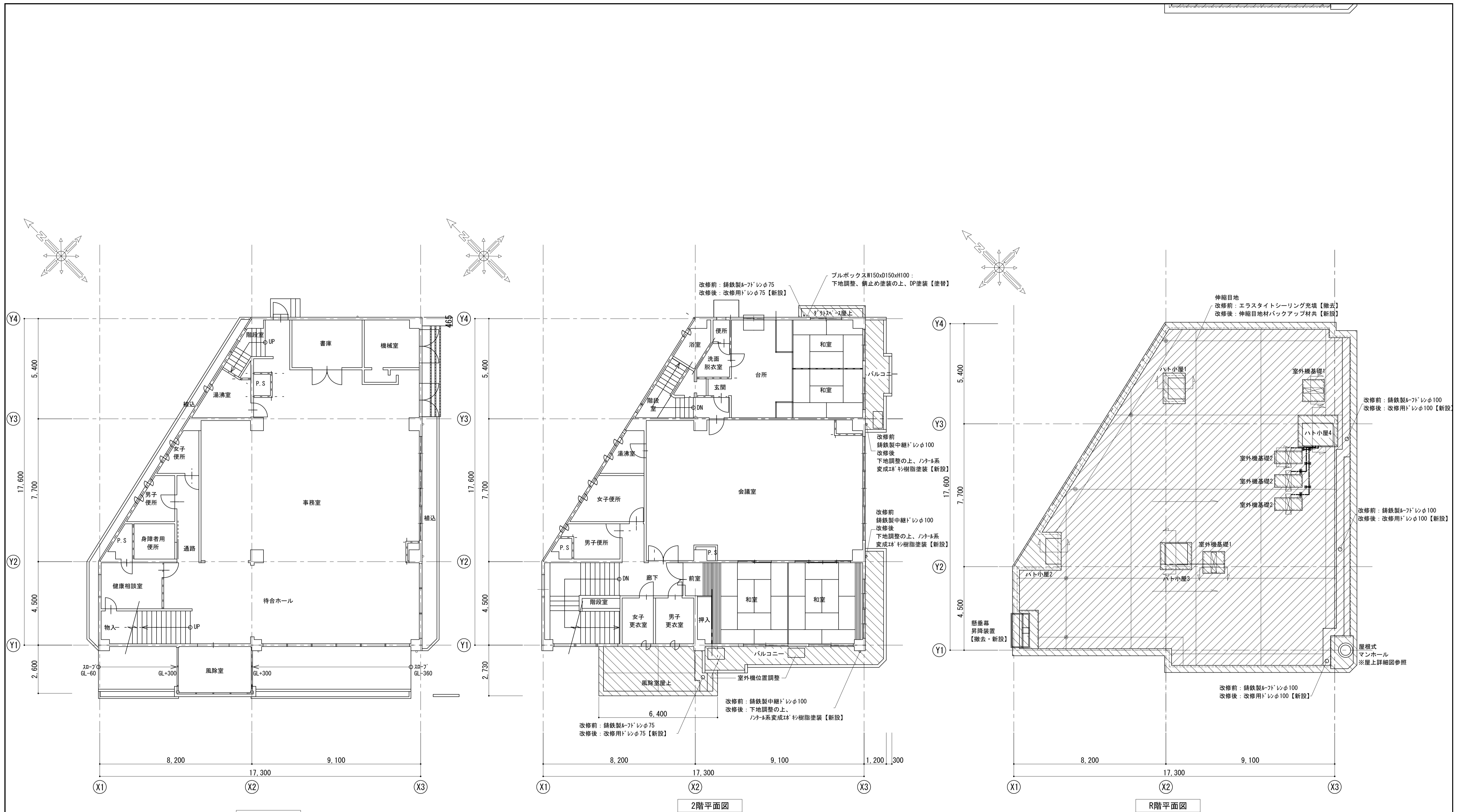
足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省 基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

別記	1	○1 共通事項	1) 「千葉県建設リサイクル推進計画2016ガイドライン」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム(COBRIS)」により作成し、発生処理計画書に各1部提出すること。 また、計画の実施状況(実績)については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後一年間保存しておくこと。
		○2 建設発生土	◎作成対象工事 「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」は請負金額が、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」は最終請負金額が100万円以上の全ての工事について建設資材の利用、建設副産物の発生・搬出の有無にかかわらず作成する。 2) 建設廃棄物の処理を委託する場合は、収集運搬又は処分について許可業者と各々建設廃棄物処理契約を締結し、「建設廃棄物処理委託 契約書」を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを同申請書に添付すること。 建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調書」を作成し、1部提出するとともに、実際に要した処理費等を証明する資料(受入伝票、写真等)を監督職員に提示し確認を受けること 3) 建設副産物の処理に当たって、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式による場合は、原則として複写式伝票のE票を提示すること。 また、電子マニフェスト方式による場合は、原則として廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき指定された情報処理センターが発行する当該工事のマニフェスト情報を収録した電子媒体又は建設廃棄物の引渡し時、運搬終了時及び処分終了時に登録される情報を印刷したものの(受渡確認票等)を提示すること。
		処分会社名 _____ 処分場住所 _____ (発生場所からの距離 _____ km)に搬出することとする。	(3.2.5)
		工事発注後、上記の指定処理により難い場合は、監督職員と協議するものとする。 片道運搬距離は積算上、代表地点から算出したであり距離であり、実際の運搬距離と差異が生じる場合においては、設計変更の対象としない。 搬出の際は、平成3年環境庁告示第46号付表に定める方法により検査を作成し、計量した結果証明書提出しなければならない。 なお、計量する対象は、付表に定める溶出試験28項目、含有量試験2項目とする。	

場所	改修前・後	仕上	場所	改修前・後	仕上
屋上	改修前	アスファルト防水(A-2)(水勾配1/100)の上、豆砂利コンクリートt60【既存のまま】 伸縮目地: エラストイシーリング充填【撤去】	ルーフトレ	改修前	錆鉄製 型型φ100、φ75【撤去】
	改修後	高圧水洗いの上、樹脂モルタル、ウレタン塗膜防水(X-1工法)【新設】 伸縮目地: PU-2【新設】バックアップ材共		改修後	改修用ドレン 型型φ100、75φ【新設】
屋上(風除室)	改修前	アスファルト防水(A-2)(水勾配1/100)の上、豆砂利コンクリートt60【既存のまま】、笠木: アルミ製【撤去】	中継用ドレン	改修前	錆鉄製 中継用φ100【既存のまま】
	改修後	高圧水洗い、樹脂モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】 笠木: アルミ製 W250【新設】		改修後	ノンタル系変成エポキシ樹脂塗料【新設】
パラベット	改修前	平場: コンクリート打放しの上、77%樹脂系吹付タイル(一部77%樹脂系吹付タイル77%仕様)【撤去】 立上り: 防水モルタル金ゴテ	縦樋	改修前	VP管φ75、掘み金物φ1200、下部養生管: 黒ガス管φ100 DP塗装【撤去】
	改修後	高圧水洗い、樹脂モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】		改修後	カラーVP管φ75、掘み金物φ1200、下部養生管: 白ガス管φ100 DP塗装【新設】
軒裏	改修前	コパリ+打放しの上、77%樹脂系吹付タイル※77%含有【撤去】	縦樋	改修前	VP管φ100、掘み金物φ1200、下部養生管: 黒ガス管φ125 DP塗装【撤去】
	改修後	既存塗膜除去後、高圧水洗い、下地調整C-1の上、水性反応硬化形軒裏専用仕上塗材塗り【新設】		改修後	カラーVP管φ100、掘み金物φ1200、下部養生管: 白ガス管φ125 DP塗装【新設】
外壁	改修前	コンクリート打放しの上、アクリル樹脂系吹付タイル※アスベスト含有【一部撤去】 一部エポキシ樹脂系吹付タイル※アスベスト含有【一部撤去】	天井裏 換気パイプ	改修前	硬質塩化ビニルパイプφ50(防虫網付・塗装共)【既存のまま】 内部 貫通部分は硬質塩化ビニルパイプφ50【既存のまま】
	改修後	高圧水洗いの上、可とう形改修塗材E(劣化による補修部: 下地調整C-2の上、複層塗材E)【塗替】		改修後	クリーニング
風除室	改修前	見付: コンクリート打放しの上、エポキシ樹脂系吹付タイル(メタリック仕様)【一部撤去】 軒裏: アルミバンドレル貼(t1.0 W105)【既存のまま】	外部建具	改修前	ステンレスサッシ、アルミサッシ(一部カラーサッシ)【既存のまま】 スチールサッシ(建具廻りは全てチオコールコーキング充填)【既存のまま】
	改修後	見付: 可とう形改修塗材E(補修部: 下地調整C-2の上、複層塗材E)【塗替】 軒裏: クリーニング		改修後	建具及びガラス廻りのシーリング、ガラスクリーニング 鋼製建具は下地調整、錆止め塗装の上、DP塗装【塗替】
バルコニー	改修前	見付: コパリ+打放しの上、77%樹脂系吹付タイル(付)【撤去】 軒裏: コパリ+打放しの上、77%樹脂系吹付タイル【一部撤去】 庇(巾木共) 防水77%【既存のまま】	館名表示板	改修前	SUS製t1.0曲げ加工 W300xH300xD20 9文字(2カ所)【撤去】 マーク(径400)(1カ所) (SUS焼付塗装)【撤去】
	改修後	見付: 可とう形改修塗材E(補修部: 下地調整C-2の上、複層塗材E)【塗替】 軒裏: 水性反応硬化形軒裏専用仕上塗材(補修部: 下地調整C-2の上、複層塗材E)【塗替】		改修後	SUS製ボックス文字 W300xH300xD30 9文字(1カ所) (SUS焼付塗装)【新設】 SUS製ボックス文字 W400xH400xD40 9文字(1カ所) (SUS焼付塗装)【新設】
バルコニー 手すり	改修前	手すり: SUS製丸パイプ φ48.6 手すり寸: φ27.2【既存のまま】	車止め	改修前	道路用コンクリート(150/170xH200mxL600mm)【既存のまま】
	改修後	クリーニング		改修後	
根廻り	改修前	コンクリート打放し【既存のまま】	鋼製片引き 扉	改修前	スチール製 焼付塗装【撤去】
	改修後	高圧水洗いの上、劣化による補修部下地調整C-1の上、ポリマーセメント系基礎巾木用塗材【新設】		改修後	下地調整、錆止め塗装の上、DP塗装【塗替】
スロープ	改修前	アスファルトブロック敷、点字ブロック(300mx300mm)【既存のまま】 SUS製手すりφ48.6x30【既存のまま】	鋼製柵 (縦格子)	改修前	錆鉄製、焼付塗装【撤去】
	改修後	高圧水洗い		改修後	下地調整、錆止め塗装の上、DP塗装【塗替】
植込み	改修前	コンクリート打放しの上、アクリル樹脂系吹付タイル【撤去】、寄土: 畑土 植付: サツキ、ツツジ(φ40x400mm)(φ50x300mm)【伐根】	塀	改修前	コンクリートブロックt100化積積、アクリル樹脂系吹付タイル ※アスベスト含有【撤去】
	改修後	高圧水洗いの上、可とう形改修塗材E(劣化による補修部: 下地調整C-2の上、複層塗材E)【塗替】 ツツジ【植付】、玉砂利敷込み【新設】、更地		改修後	高圧水洗いの上、可とう形改修塗材E(劣化による補修部: 下地調整C-2の上、複層塗材E)【塗替】
庇	改修前	見付: コパリ+打放しの上、77%樹脂系吹付タイル(付)【撤去】※77%含有【既存のまま】 軒裏: コパリ+打放しの上、77%樹脂系吹付タイル※77%含有【既存のまま】	屋外掲示板	改修前	SUS製、2000x1000(足付)(ヘアライン)【既存のまま】
	改修後	見付: 可とう形改修塗材E(劣化による補修部: 下地調整C-2の上、複層塗材E)【塗替】 軒裏: 既存塗膜除去後、高圧水洗い、下地調整C-2の上、水性反応硬化形軒裏専用仕上塗材塗り【塗替】		改修後	クリーニング
窓清掃用 支持手すり	改修前	SUS製丸型鋼管 φ48.6x3.0(ヘアライン)【既存のまま】	旗竿取付金物	改修前	既製品 1箇所【撤去】
	改修後	クリーニング		改修後	取付部跡補修 1箇所
裏玄関出入口 (階段部)	改修前	SUS製丸パイプ φ48.6 手すり寸: φ27.2【既存のまま】	物干金物	改修前	アルミ製既製品 壁付1組 管理ヘラベンダ【撤去】
	改修後	クリーニング		改修後	取付部跡補修 2箇所
郵便受箱	改修前	SUS製(既製品)【既存のまま】	ハト小屋	改修前	天端・パラベット・立上り: コンクリート金ゴテ押え【既存のまま】
	改修後	クリーニング		改修後	天端・パラベット: 高圧水洗い、樹脂モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】 立上り: 高圧水洗い、樹脂モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】
雨水貯留タンク	改修前	プラスチック製雨水貯留タンク200L【撤去】			
	改修後	SUS製雨水貯留タンク150L新設(取水器・ステッカー・配管基礎共)【新設】			



工事名	松戸市役所矢切支所外壁及び屋上防水改修工事
図面名	特記仕様書(8)・外部仕上表
作成年月日	令和8年 月 日 変更年月日
縮尺	nonscale 図面番号 A-08
松戸市 街づくり部 建築保全課	



1階平面図

2階平面図

R階平面図

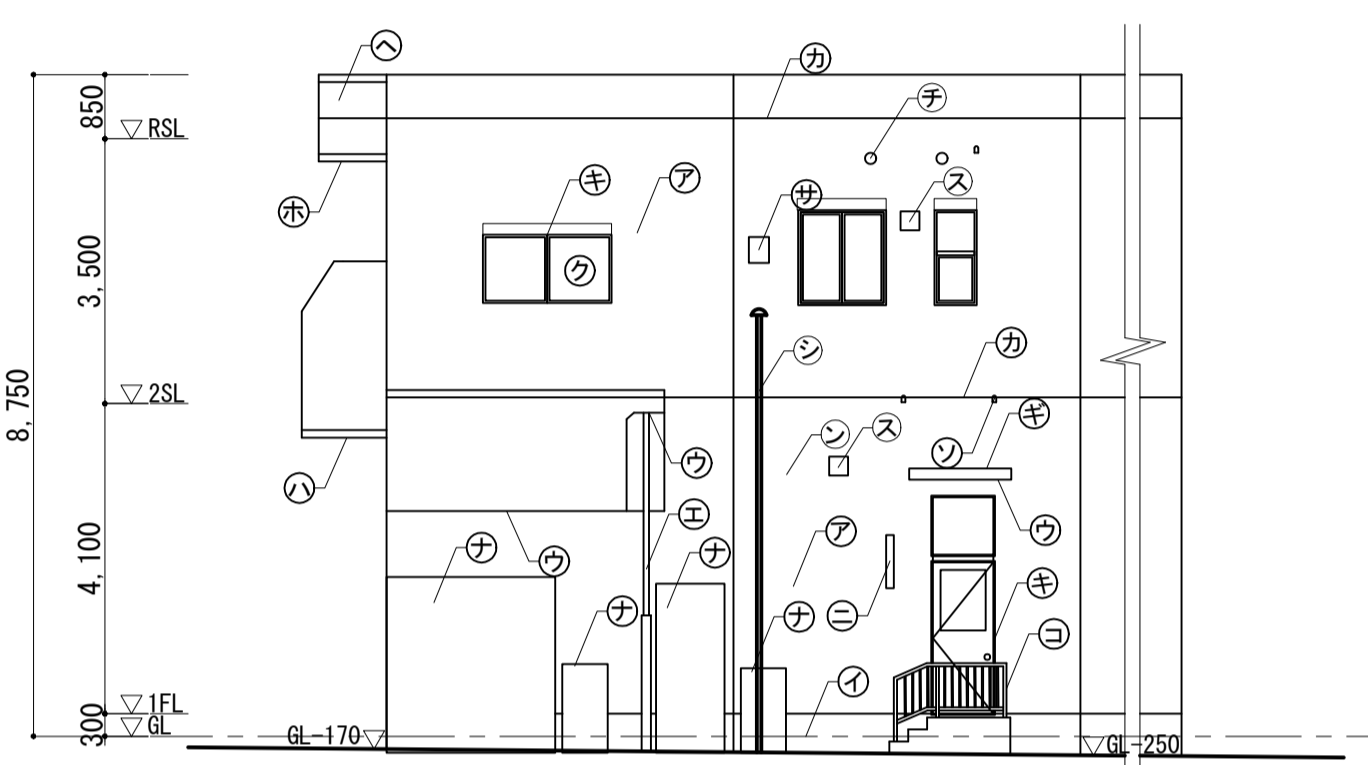
＜凡例＞

- アスファルト防水(A-2)の上、豆砂利コンクリートt60【既存のまま】
- 汎用塗膜防水(X-1)【新設】改修範囲を示す
- 汎用塗膜防水(X-2)【新設】改修範囲を示す
- 脱気筒【新設】を示す。
既存の伸縮目地に合わせて設置することとし、その機能が発揮される箇所を選定すること。
- 断面の切断位置を示す。※A-13屋上詳細図参照
- 室外機【既存のまま】を示す。
- 配管支持架台・基礎【撤去・新設】を示す。
- 配管【既存のまま】を示す。

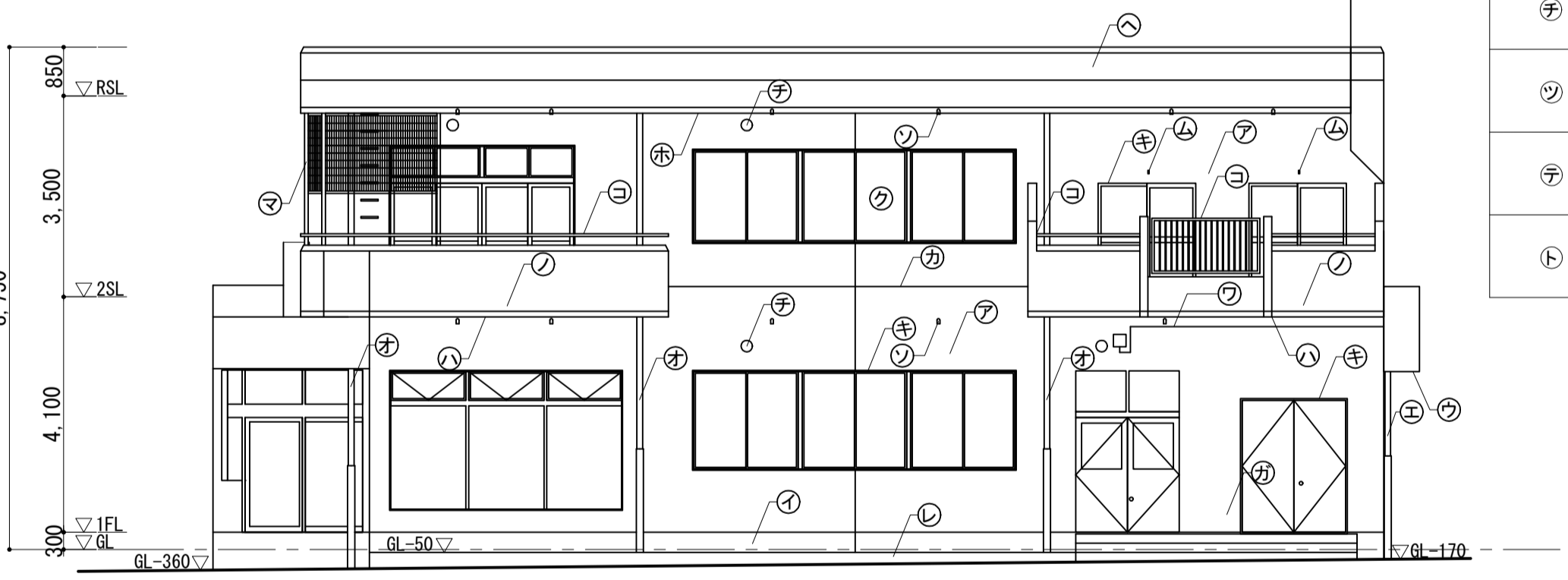
工事名	松戸市役所矢切支所外壁及び屋上防水改修工事		
図面名	平面図		
作成年月日	令和8年 月 日	変更年月日	
縮尺	1 : 100	図面番号	A-09
松戸市 街づくり部 建築保全課			



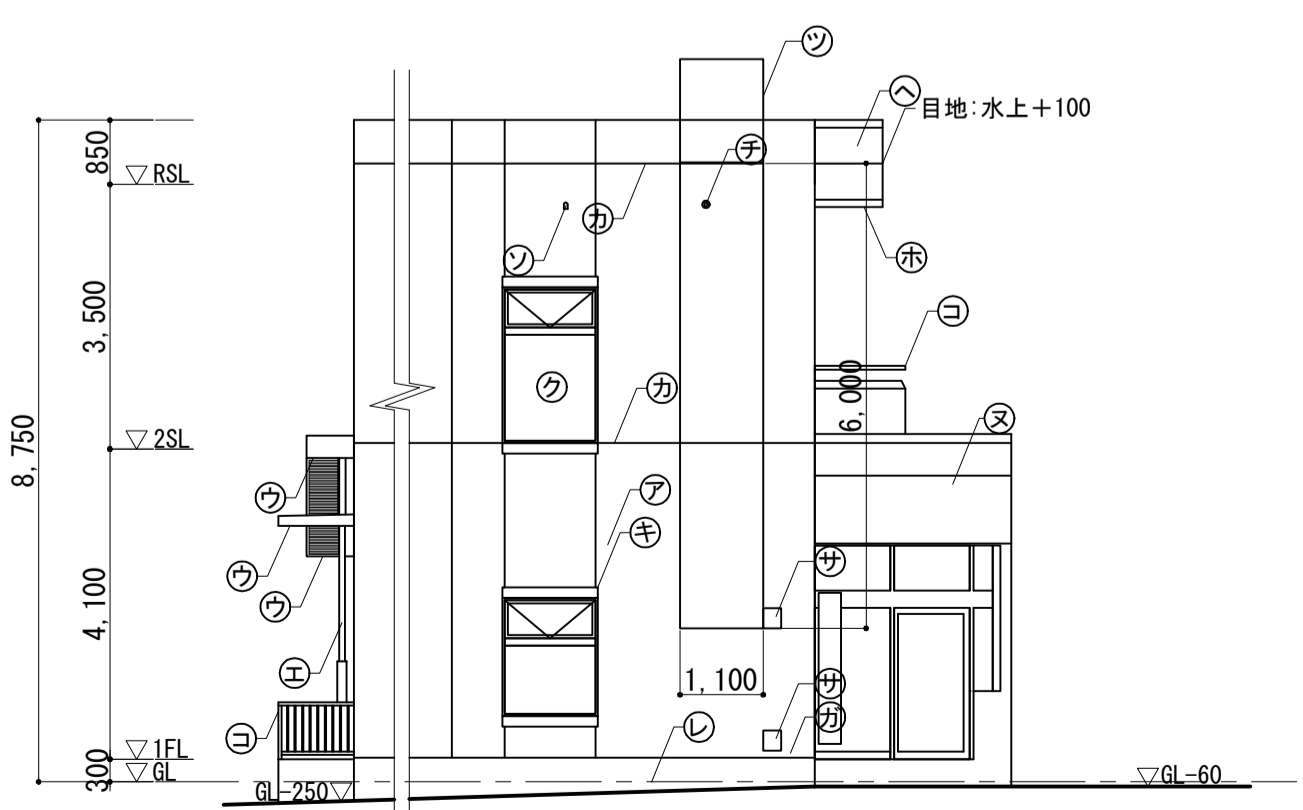
南西側立面図



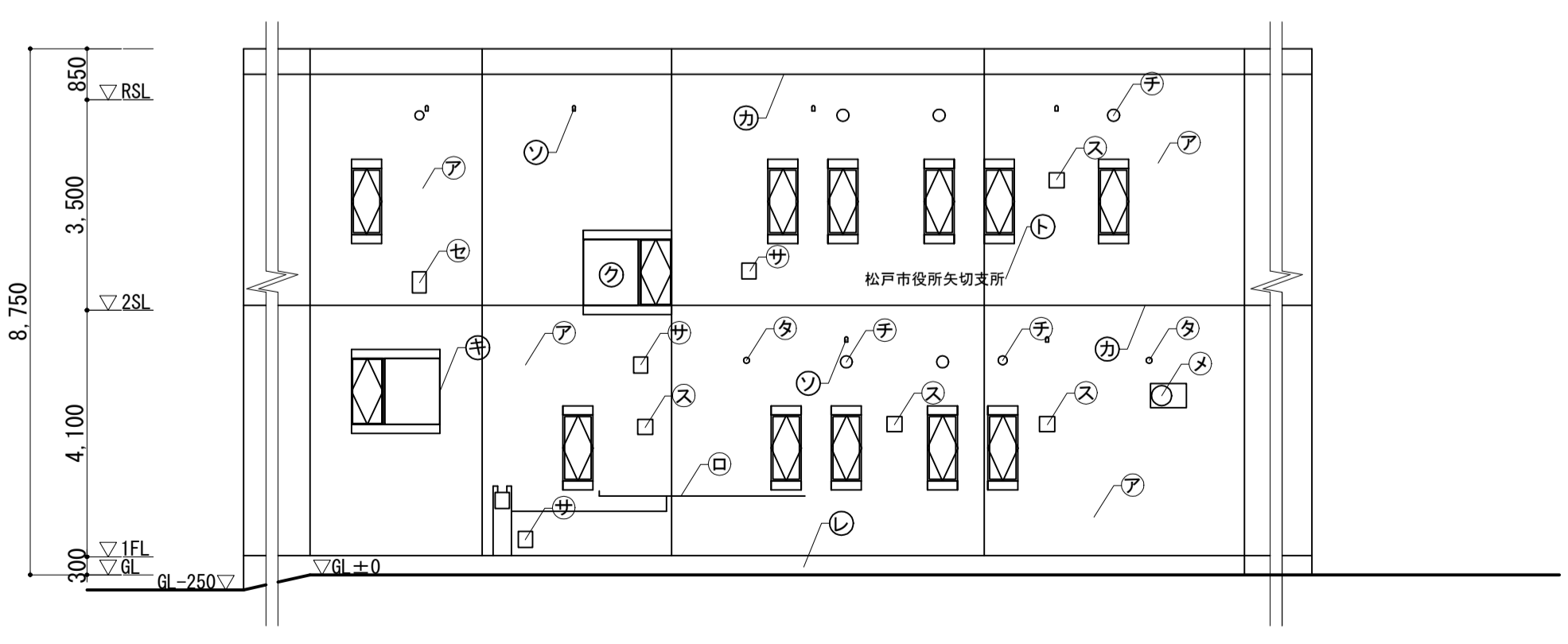
北東側立面図



南東側立面図



北西側立面図



北側立面図

<凡例>

⑦	外壁	改修前	コンクリート打ち出しの上、7ヶ所樹脂系吹付け材一部部樹脂系吹付け材 ※7ヶ所含有【一部撤去】	+	物置	改修前	スチール製3個 W2,250xD250xH1,980 W1,000xD500xH1,950 W600xD450xH1,700 木製1個 W750xD600xH1,300 【撤去】
		改修後	高圧水洗いの上、可とう形改修塗材E【塗替】(劣化による補修部:下地調整C-2の上、複層塗材E)			改修後	-
①	屋根裏	改修前	コンクリート打ち出し【既存のまま】	-	照明	改修前	防水型壁付け照明 蛍光灯 20W 【撤去】
		改修後	高圧水洗いの上、劣化による補修部下地調整C-1の上、エポキシ樹脂系吹付け材 ※7ヶ所含有【撤去】			改修後	LEDウォールライト20型【新設】
⑨	軒裏	改修前	コンクリート打ち出しの上、7ヶ所樹脂系吹付け材 ※7ヶ所含有【撤去】	⊗	風除室見付	改修前	コンクリート打ち出しの上、7ヶ所樹脂系吹付け材(吹付け仕様) ※7ヶ所含有【一部撤去】
		改修後	既存塗膜除去後、高圧水洗いの上、下地調整C-1の上、水性反応硬化形軒天専用仕上塗材塗り【新設】			改修後	高圧水洗いの上、可とう形改修塗材E【塗替】(劣化による補修部:下地調整C-2の上、複層塗材E)
⑩	縦樋	改修前	VP管φ75 SUS製摺り金物φ1200【撤去】 下部養生管H1800:黒ガス管φ100 OP塗装【撤去】	⊕	風除室軒裏	改修前	SUS製スバンドレル貼【既存のまま】
		改修後	φ75-VP管φ75 SUS製摺り金物φ1200【新設】 下部養生管H1800:白ガス管φ100 OP塗装【新設】			改修後	クリーニング
⑪	縦樋	改修前	VP管φ100 SUS製摺り金物φ1200【撤去】 下部養生管H1800:黒ガス管φ125 OP塗装【撤去】	⊙	バルコニー見付	改修前	コンクリート打ち出しの上、7ヶ所樹脂系吹付け材(吹付け仕様)(リブ付) ※7ヶ所含有【一部撤去】
		改修後	φ100-VP管φ100 SUS製摺り金物φ1200【新設】 下部養生管H1800:白ガス管φ125 OP塗装【新設】			改修後	高圧水洗いの上、可とう形改修塗材E(劣化による補修部:下地調整C-2の上、複層塗材E)【塗替】
㉞	打継化粧目地	改修前	シリコンシーリングφ25×20【撤去】	△	バルコニー軒裏	改修前	コンクリート打ち出しの上、エポキシ樹脂系吹付け材(リブ付)(メタリック仕様) ※7ヶ所含有【既存のまま】
		改修後	シリコン PU-2 25×20【新設】			改修後	既存塗膜除去後、高圧水洗いの上、下地調整C-1の上、水性反応硬化形軒天専用仕上塗材塗り【新設】
⊕	建具廻り	改修前	シリコンシーリングφ10~15×10 仕上げあり:PU-2 仕上げなし:MS-2【撤去】	△	庇(最上階)見付	改修前	コンクリート打ち出しの上、エポキシ樹脂系吹付け材(リブ付)(メタリック仕様) ※7ヶ所含有【既存のまま】
		改修後	シリコンφ10~15×10 仕上げあり:PU-2 仕上げなし:MS-2【新設】			改修後	高圧水洗いの上、可とう形改修塗材E(劣化による補修部:下地調整C-2の上、複層塗材E)【塗替】
㊦	ガラス	改修前	ガラス(屋外側)シール【撤去】	⊖	庇(最上階)軒裏	改修前	コンクリート打ち出しの上、アクリル樹脂系吹付け材 ※7ヶ所含有【既存のまま】
		改修後	ガラス(屋外側)シールASR-1【新設】 ガラスシーリング共			改修後	既存塗膜除去後、高圧水洗いの上、下地調整C-1の上、水性反応硬化形軒天専用仕上塗材塗り【新設】
㊧	手すり	改修前	SUS製 丸パイプ 手すりφ48.6 手すりφ27.2【既存のまま】	⊗	落下防止フェンス	改修前	メッシュフェンス(支柱丸鋼φ60 H2800mm x 4本・金網φ370mm x H1400mm, W1055mm x H1400mm, W1945mm x H1400mm)【撤去】
		改修後	クリーニング			改修後	メッシュフェンス(支柱丸鋼φ60 H2800mm x 4本・金網φ370mm x H1400mm, W1055mm x H1400mm, W1945mm x H1400mm)【新設】
⊕	給気が引	改修前	スチール製 220 x 250 OP塗装【既存のまま】	⊕	旗竿取付金物	改修前	既製品 1箇所【撤去】
		改修後	水切交換 スチール板加工、下地調整の上、OP塗装【塗替】			改修後	取付部跡補修 1箇所
⊙	通気管	改修前	鋼管φ60 H5,800【既存のまま】 スチール製摺り金物φ4箇所φ1500【撤去】	△	物干金物	改修前	アルミ製既製品 L411mm t22mm 壁付け1組【撤去】
		改修後	下地調整の上、OP塗装【塗替】 SUS製摺り金物φ4箇所φ1500【新設】			改修後	取付部跡補修 2箇所
⊗	換気雨フード	改修前	SUS製 300角【撤去】	⊗	空調室外機	改修前	取外し(支持架台取付ボルト・ナット撤去)
		改修後	SUS製 300角 防虫網共【新設】			改修後	再取付(支持架台取付ボルト・ナット新設)
⊕	風呂釜給排気トップ	改修前	230 x 350【既存のまま】	⊙	補込み	改修前	コンクリート打ち出しの上、アクリル樹脂系吹付け材 ※7ヶ所含有【撤去】
		改修後	クリーニング			改修後	高圧水洗いの上、可とう形改修塗材E(劣化による補修部:下地調整C-2の上、複層塗材E)【塗替】
⊙	天井裏換気パイプ	改修前	硬質塩ビ管φ50 防虫網付き 塗装共【既存のまま】	⊙	ガス管	改修前	【既存のまま】
		改修後	クリーニング			改修後	下地調整の上、OP塗装【塗替】
⊕	ペントキャップ	改修前	鋳鉄製ペントキャップφ110【撤去】	⊙	配線(アンテナ共)	改修前	取外し
		改修後	アルミ合金製ペントキャップφ110【新設】			改修後	再取付
⊕	換気が引	改修前	SUS製 φ150,200【既存のまま】	⊙	自動点滅器	改修前	撤去
		改修後	クリーニング			改修後	新設
⊙	懸垂幕装置	改修前	SUS製【撤去の上、取付部跡補修】 W1,100 スチール製巻上機巻上共	㉞	防水コンセント(3口)	改修前	撤去
		改修後	SUS製【新設】 下手巻き W1,100xH8,000			改修後	新設
㊦	館名表示板	改修前	SUS製t1.0曲げ加工 300x300x20 9文字 マーク(径400)(焼付塗装)【撤去】	⊕	庇(天端)	改修前	防水モルタル金ゴテ押えの上、アクリル樹脂系吹付け材【撤去】
		改修後	SUS製ボックス文字 300x300x30 9文字 (HL仕上)【新設】			改修後	樹脂モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】
㊦	館名表示板	改修前	SUS製t1.0曲げ加工 300x300x20 9文字【撤去】				
		改修後	SUS製ボックス文字 300x300x30 9文字 (HL仕上)【新設】				

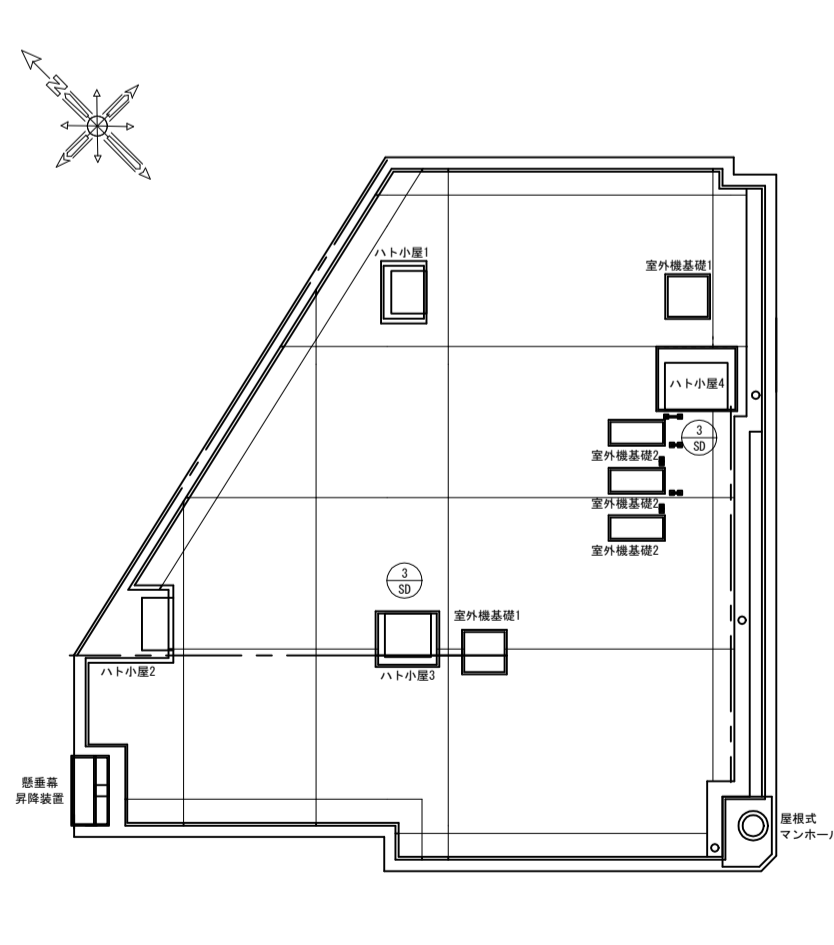
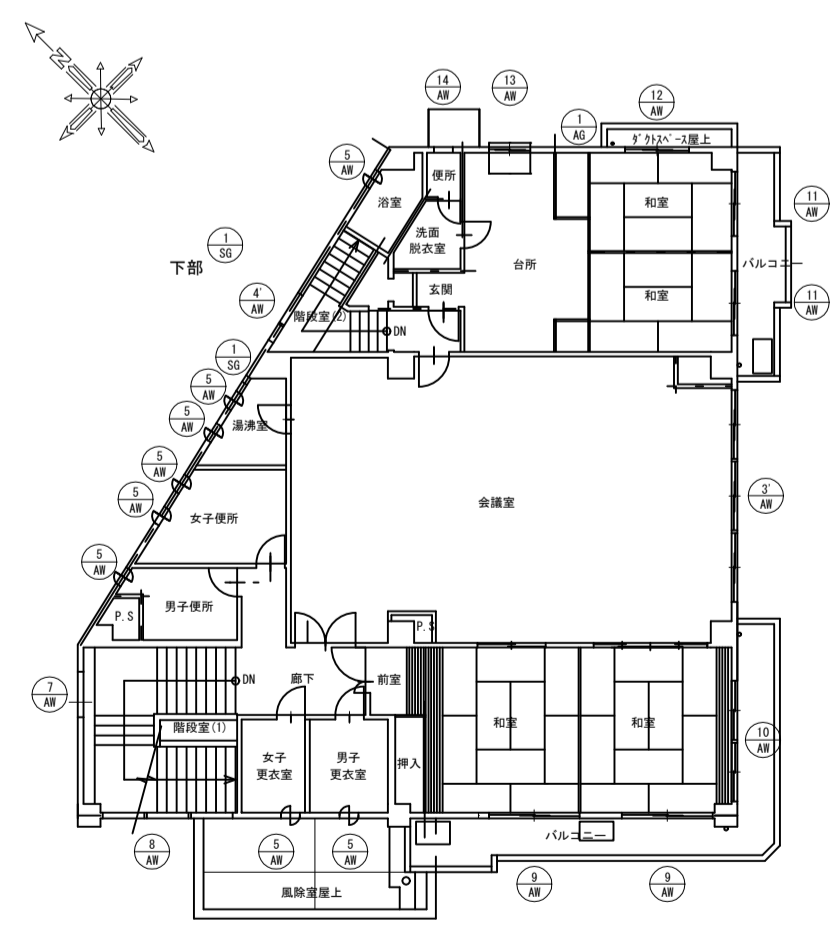
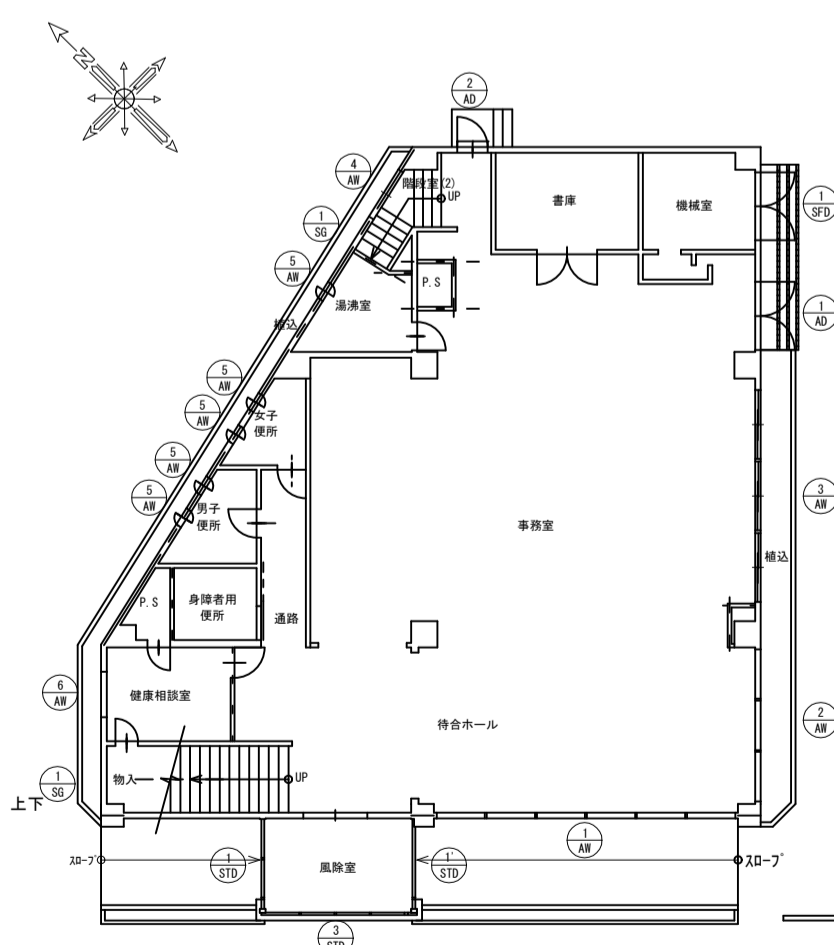
※外壁仕上及び下地調整材にアスベストが含有しているため、補修部は既存塗膜の除去を行う。
 ※アスベスト除去にあたっては施工計画書を作成し、施工結果報告書を提出すること。
 ※各外壁面の爆裂箇所、浮き及びひび割れ部等の調査を再度行う。
 ※爆裂箇所・浮き及びひび割れ部の補修は既存塗膜を除去後に補修を行う。
 ※換気ガラリ、ペントキャップ、天井裏換気パイプ廻りシーリング(PU-2)【撤去・新設】
 ※鉄部配管、フルボックス(W150xD150xH100)、通気管φ60(摺り金物)等はOP塗替えを行なうこと。

工事名	松戸市役所矢切支所外壁及び屋上防水改修工事		
図面名	立面図		
作成年月日	令和8年 月 日	変更年月日	
縮尺	1:100	図面番号	A-10
松戸市 街づくり部 建築保全課			

符号・数量	① STD x 1箇所	①' STD x 1箇所	③ STD x 1箇所	① AD x 1箇所	② AD x 1箇所	① AW x 1箇所	② AW x 1箇所
型式	SUS製欄間及袖片引き自動ドア	SUS製欄間付片引き自動ドア	SUS製連窓	アルミ製欄間付両開きドア	SUS製欄間付片引きドア	SUS製欄間付嵌殺し連窓	アルミ製欄間付嵌殺し連窓
見込	150	150	100	70	70	100	100
材料仕上	ステンレス、ヘアライン仕上	ステンレス、ヘアライン仕上	ステンレス、ヘアライン仕上	アルミ、アルマイト処理	アルミ、アルマイト処理	アルミ、自然発色	アルミ、自然発色
金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式、ドアチェック、シリンダー錠握玉	付属金物一式、ドアチェック、シリンダー錠握玉	付属金物一式	付属金物一式
硝子	プレートワイヤーt6.8mm (欄間:磨き透明t5mm)	プレートワイヤーt6.8mm (欄間:磨き透明t5mm)	プレートワイヤーt6.8mm	ラフワイヤーt6.8mm (欄間:磨き透明t5mm)	プレートワイヤーt6.8mm (欄間:磨き透明t5mm)	プレートワイヤーt6.8mm (排煙窓:磨き透明t5mm)	プレートワイヤーt6.8mm (排煙窓:磨き透明t5mm)
備考	自動ドア熱感知型スイッチ (安全用光線スイッチ併用) パニック装置付	自動ドア熱感知型スイッチ (安全用光線スイッチ併用) パニック装置付		フランス落シ	自動ドア熱感知型スイッチ (安全用光線スイッチ併用) パニック装置付	外倒し排煙窓 (オペレーター巻上)	外倒し排煙窓 (オペレーター巻上)
符号・数量	③ AW x 1箇所	③' AW x 1箇所	④ AW x 1箇所	⑤ AW x 13箇所	⑥ AW x 1箇所	⑦ AW x 1箇所	⑧ AW x 1箇所
型式	アルミ製3連引違い窓	アルミ製袖付縦軸回転窓	アルミ製袖付縦軸回転窓	アルミ製縦軸回転窓	アルミ製欄間付嵌殺し窓	アルミ製欄間付嵌殺し窓	アルミ製嵌殺し連窓
見込	70	70	150	70	70	70	70
材料仕上	アルミ、アルマイト処理	アルミ、自然発色	ステンレス、ヘアライン仕上	アルミ、自然発色	アルミ、自然発色	アルミ、自然発色	アルミ、自然発色
金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
硝子	プレートワイヤーt6.8mm (排煙窓:磨き透明t5mm)	ラフワイヤーt6.8mm	磨き透明t5mm	ラフワイヤーt6.8mm (2階は型ガラスt4mm)	ラフワイヤーt6.8mm	磨き透明t5mm	磨き透明t5mm
備考					内倒し排煙窓 (オペレーター巻上)	内倒し排煙窓 (オペレーター巻上)	
符号・数量	⑨ AW x 2箇所	⑩ AW x 1箇所	⑪ AW x 2箇所	⑫ AW x 1箇所	⑬ AW x 1箇所	⑭ AW x 1箇所	① SFD x 1箇所
型式	アルミ製引違い戸	SUS製欄間付4枚引違い戸	アルミ製引違い戸	アルミ製引違い窓	アルミ製引違い窓	アルミ製嵌殺し内倒し窓	両開きスチールフラッシュドア
見込	70	70	70	70	70	70	100
材料仕上	アルミ、アルマイト処理	アルミ、アルマイト処理	アルミ、アルマイト処理	アルミ、アルマイト処理	アルミ、アルマイト処理	アルミ、アルマイト処理	スチール 0.P
金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式、グレモンハンドル、シリンダー錠握玉
硝子	磨き透明t3mm 腰:型ガラスt4mm	磨き透明t3mm 腰:型ガラスt4mm	磨き透明t3mm 腰:型ガラスt4mm	型ガラスt4mm	型ガラスt4mm	型ガラスt4mm	
備考	遮熱フィルム貼り (3M 透明ガラス: NANO40S 型ガラス: NANO70SX 同等品)	欄間 (排煙窓)	換気框付き				合成ゴムパッキング、内部遮音用ガラスウール充填

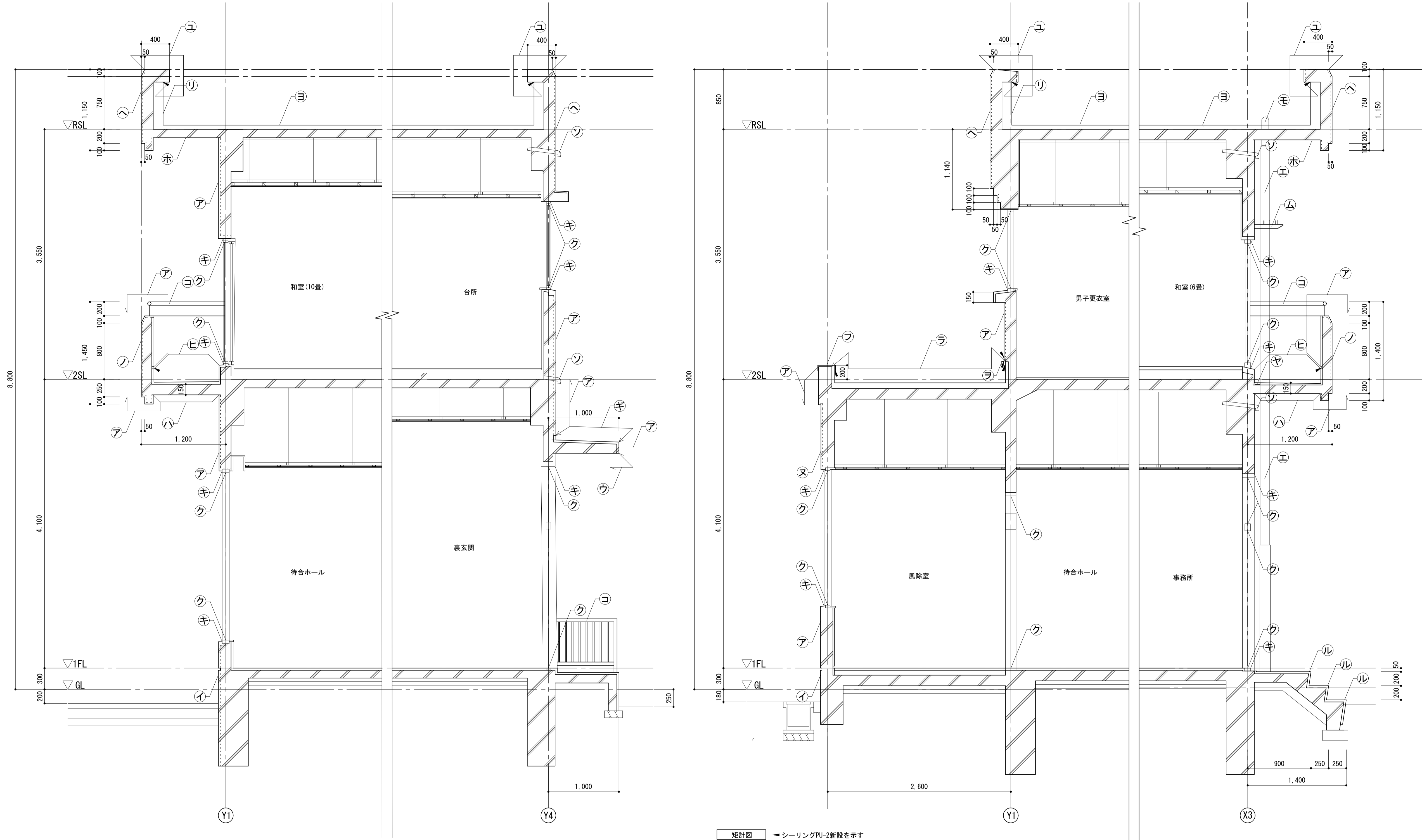
符号・数量	① SG x 5箇所	① AG x 1箇所	③ SD x 2箇所
型式	スチール製ガラリ	アルミ製ガラリ	片開きスチールドア
見込	50	70	50
材料仕上	スチール 0.P	アルミ (自然発色)	スチール 0.P
金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式、鋤型ハンドル
硝子			
備考	既存ｽﾃｰﾙ製水切撤去の上、ｽﾃｰﾙ製水切 (H90 W220 糸幅80 板金加工、DP塗装共) 新設		

- ※ 建具廻り及びガラス (屋外側) 廻りのシーリングについて、【撤去】及び【新設】を行うこと。
- ※ 鋼製建具について、下地調整・錆止め塗装の上、DP塗装を行うこと。
- ※ ガラスはクリーニングすること。
- ※ サッシは全てクリーニングすること。



工事名	松戸市役所矢切支所外壁及び屋上防水改修工事
図面名	建具表・キープラン
作成年月日	令和8年 月 日 変更年月日
縮尺	no scale
図面番号	A-11

松戸市 街づくり部 建築保全課

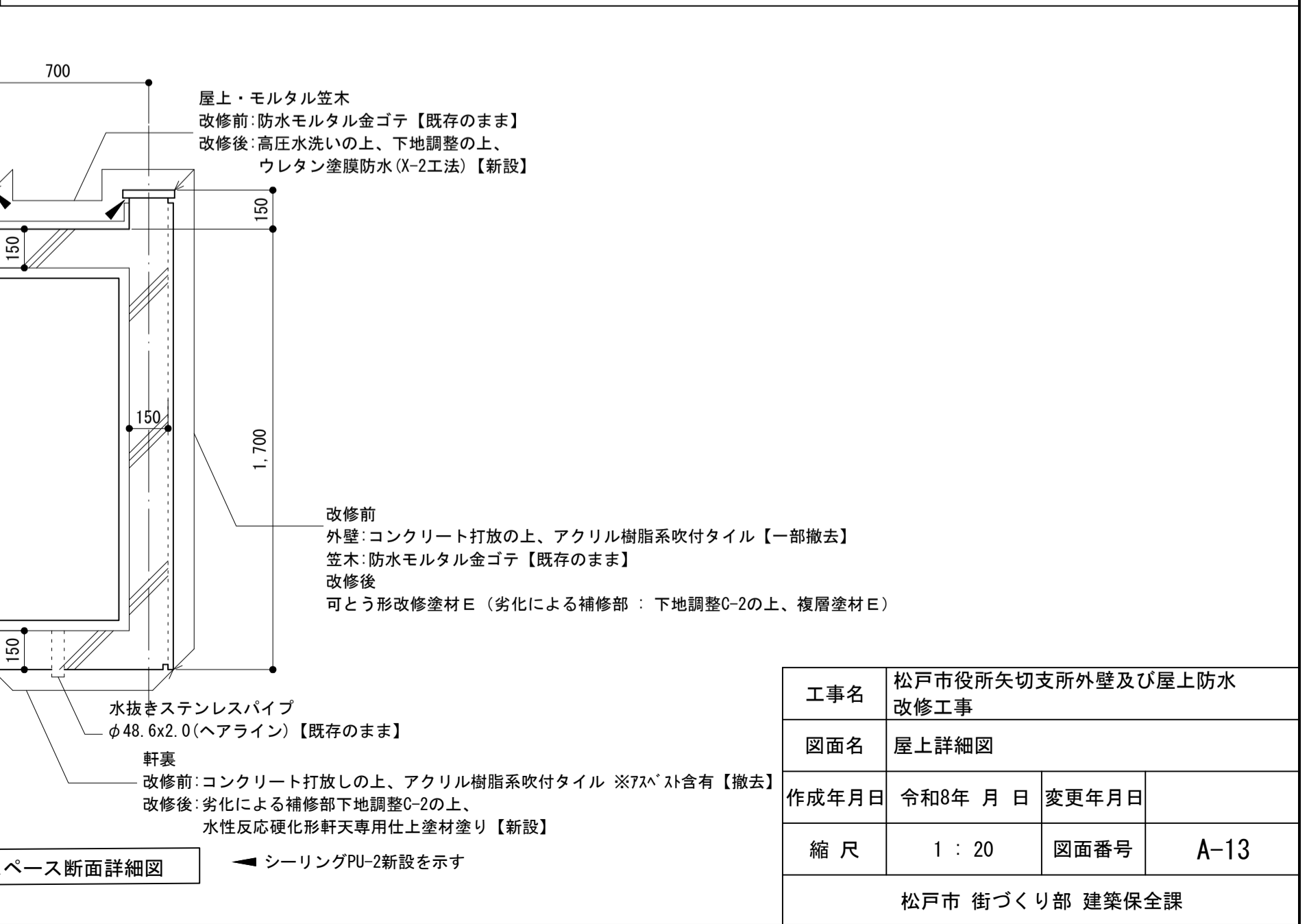
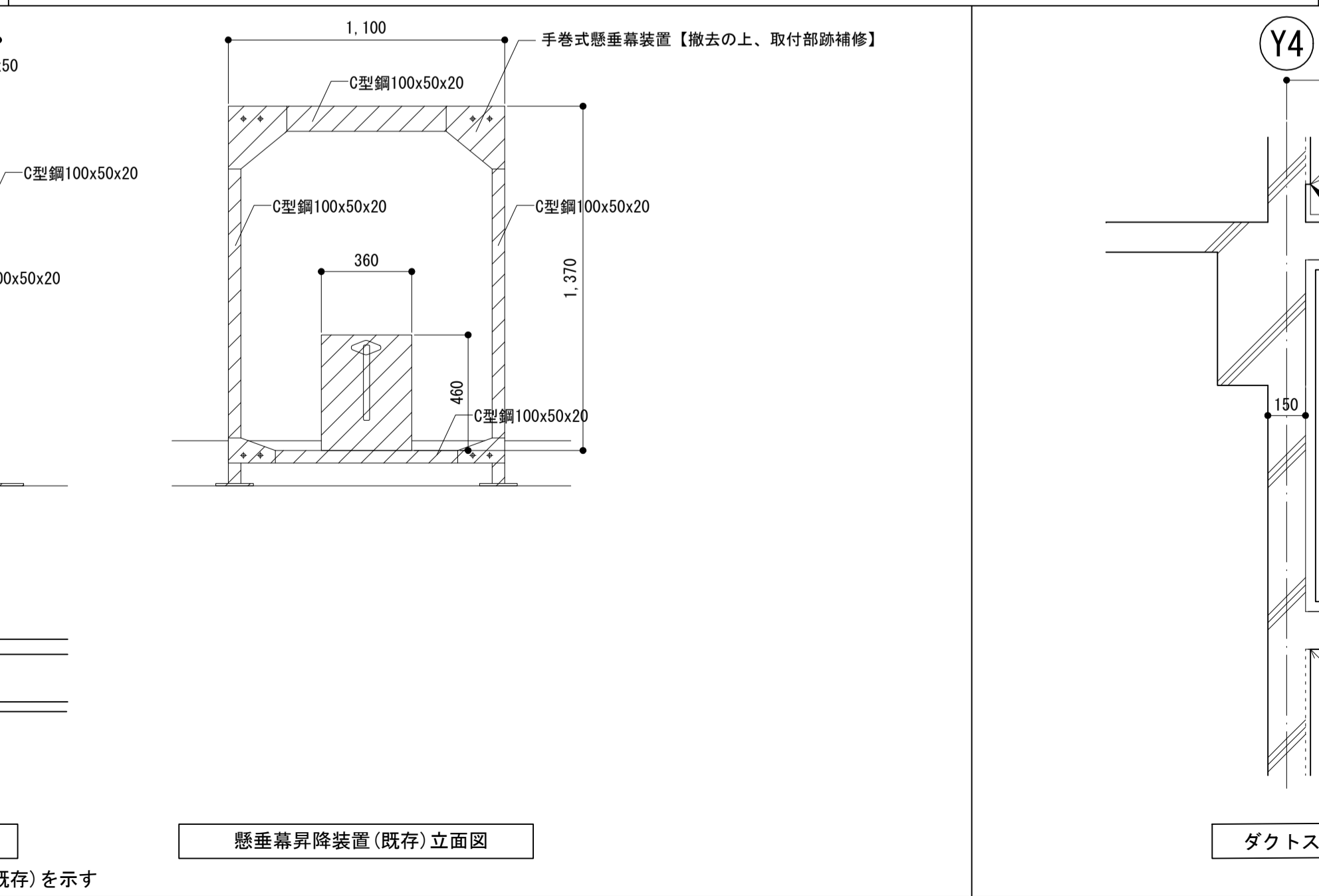
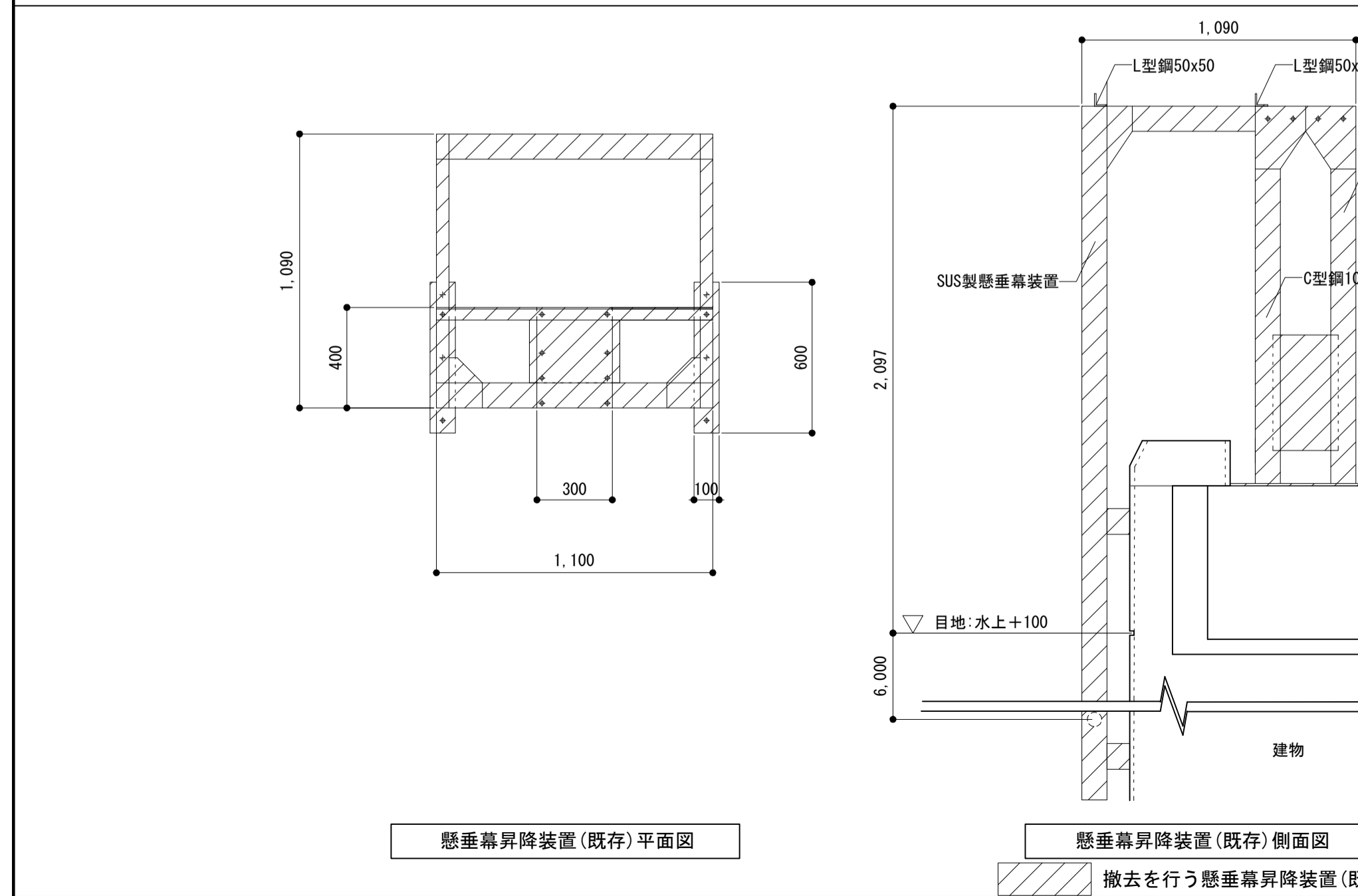
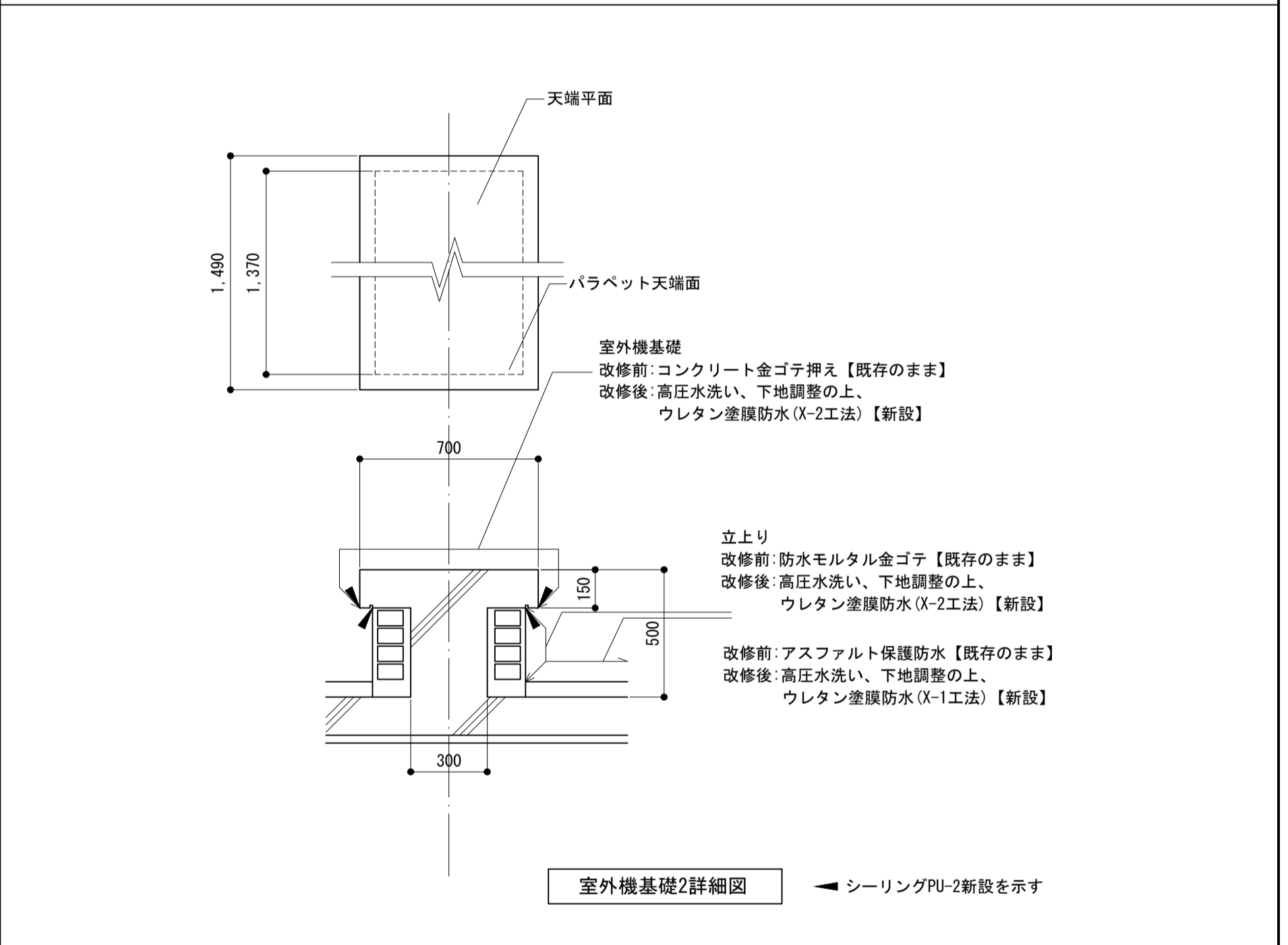
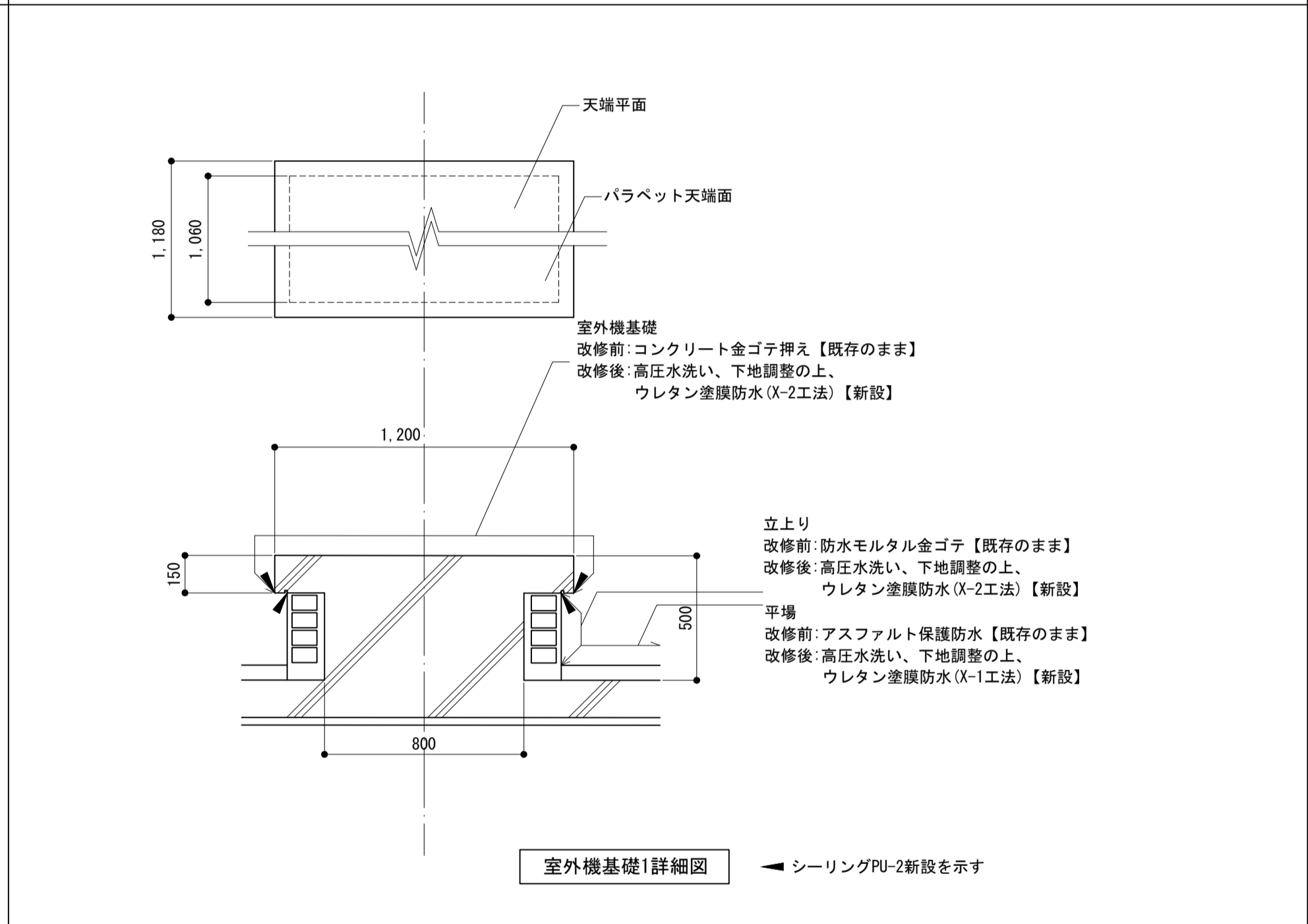
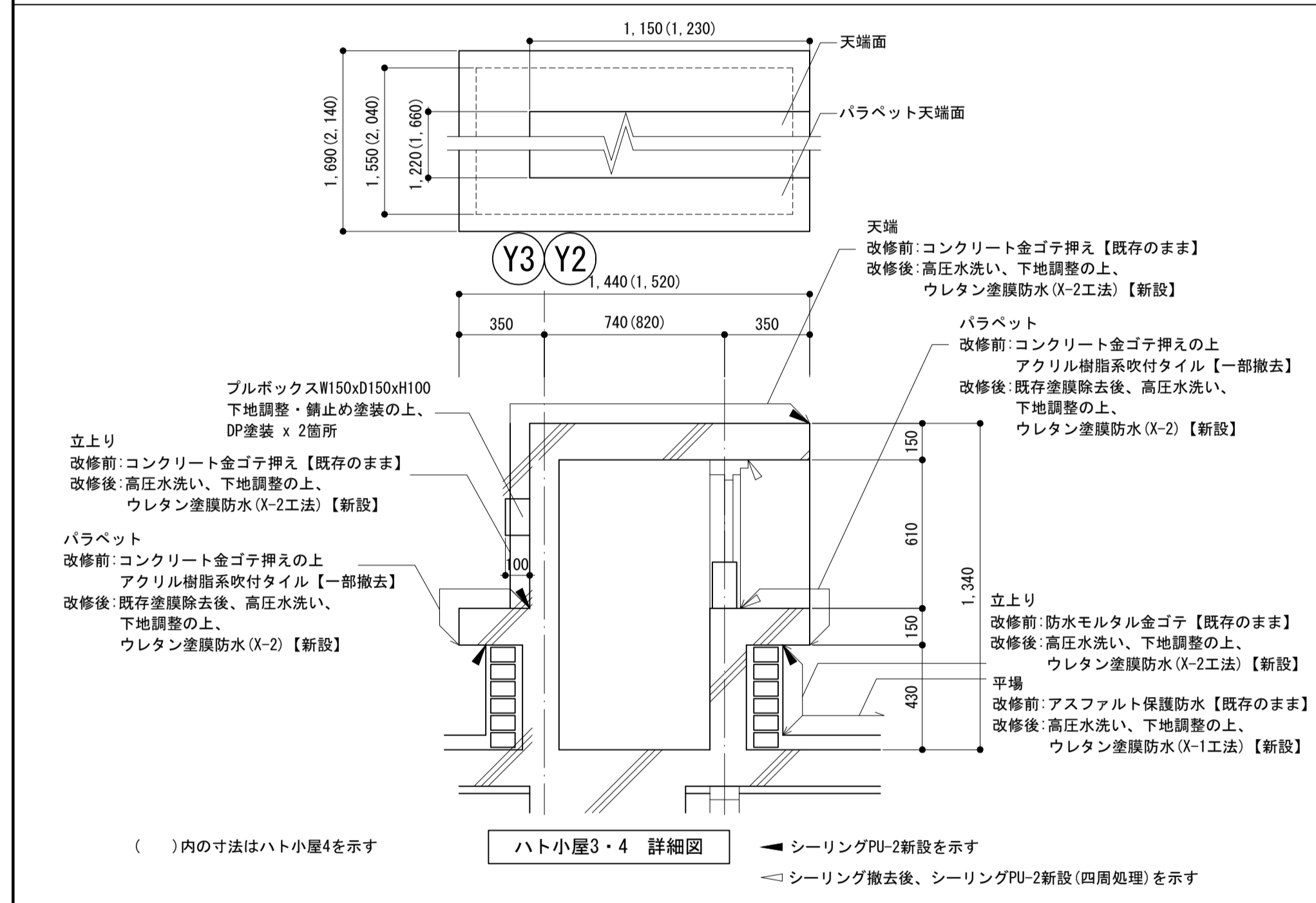
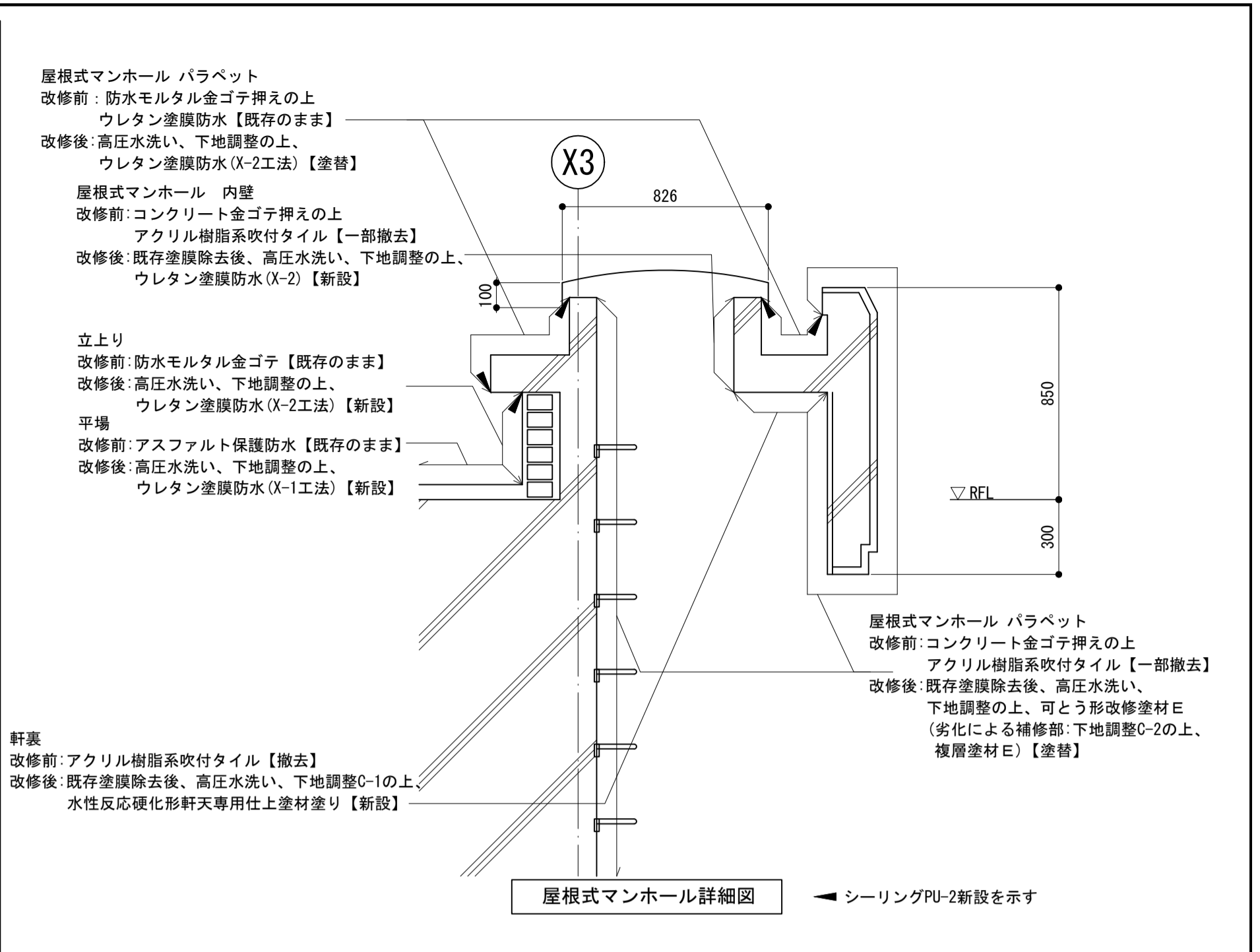
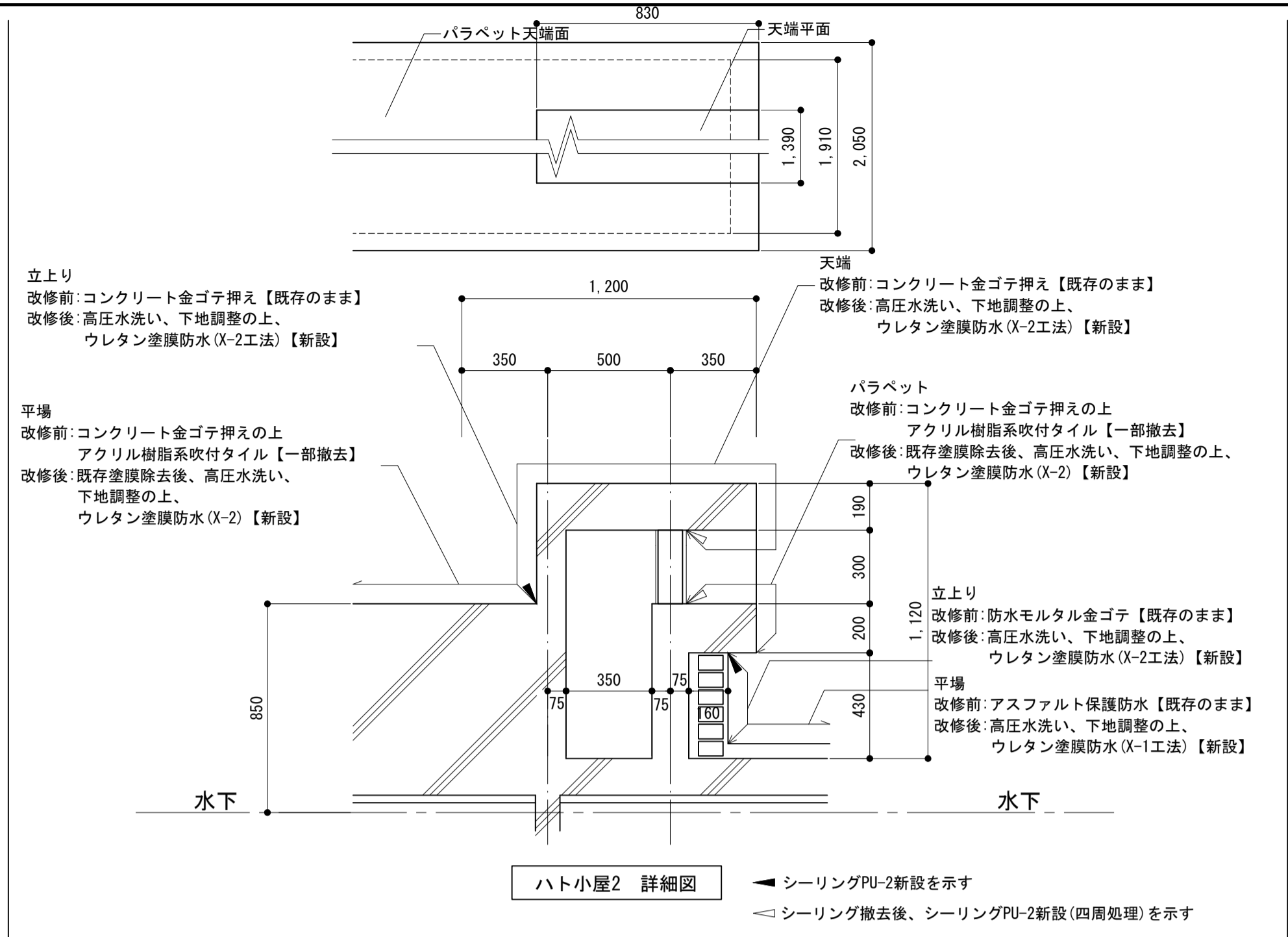
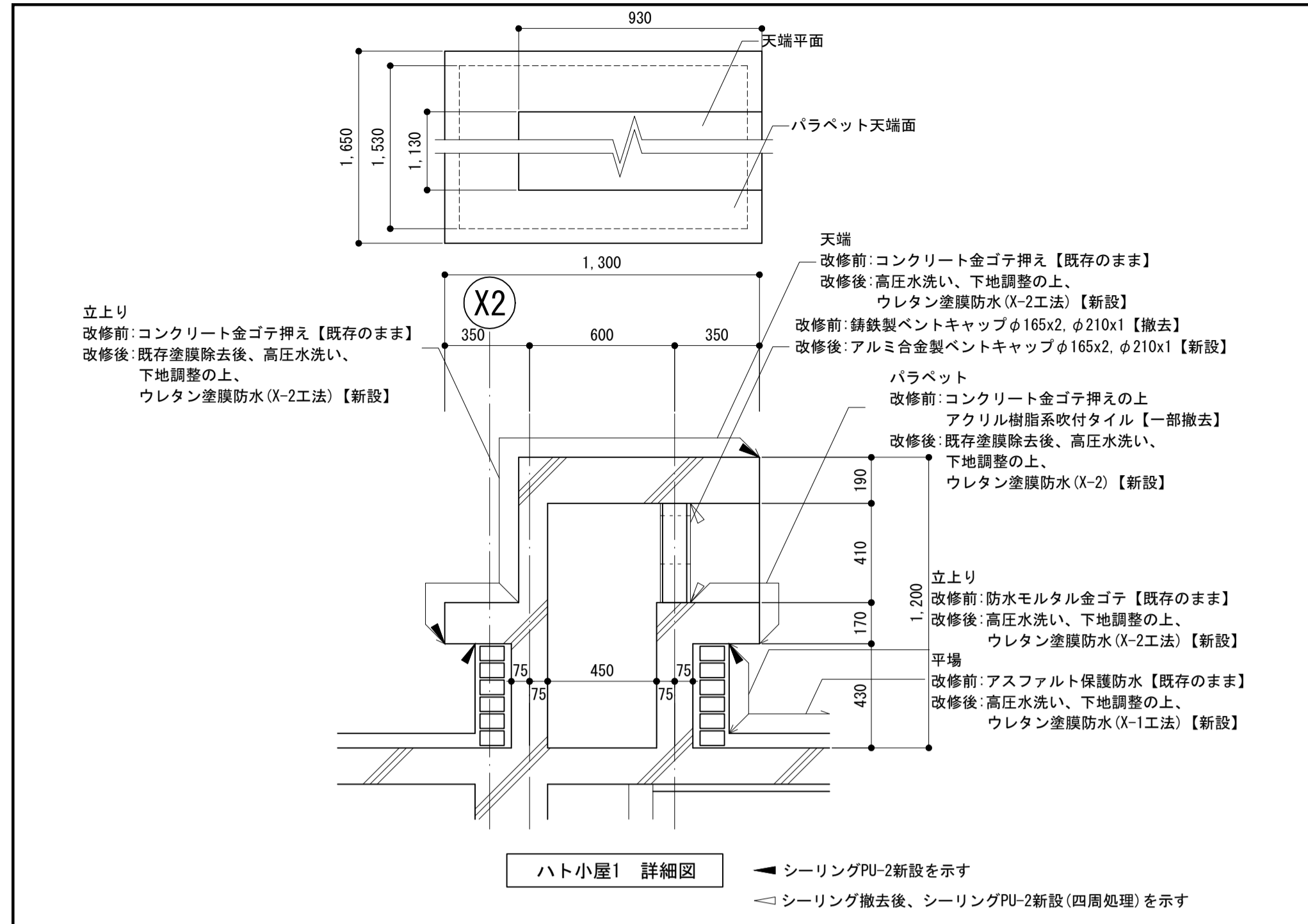


凡例

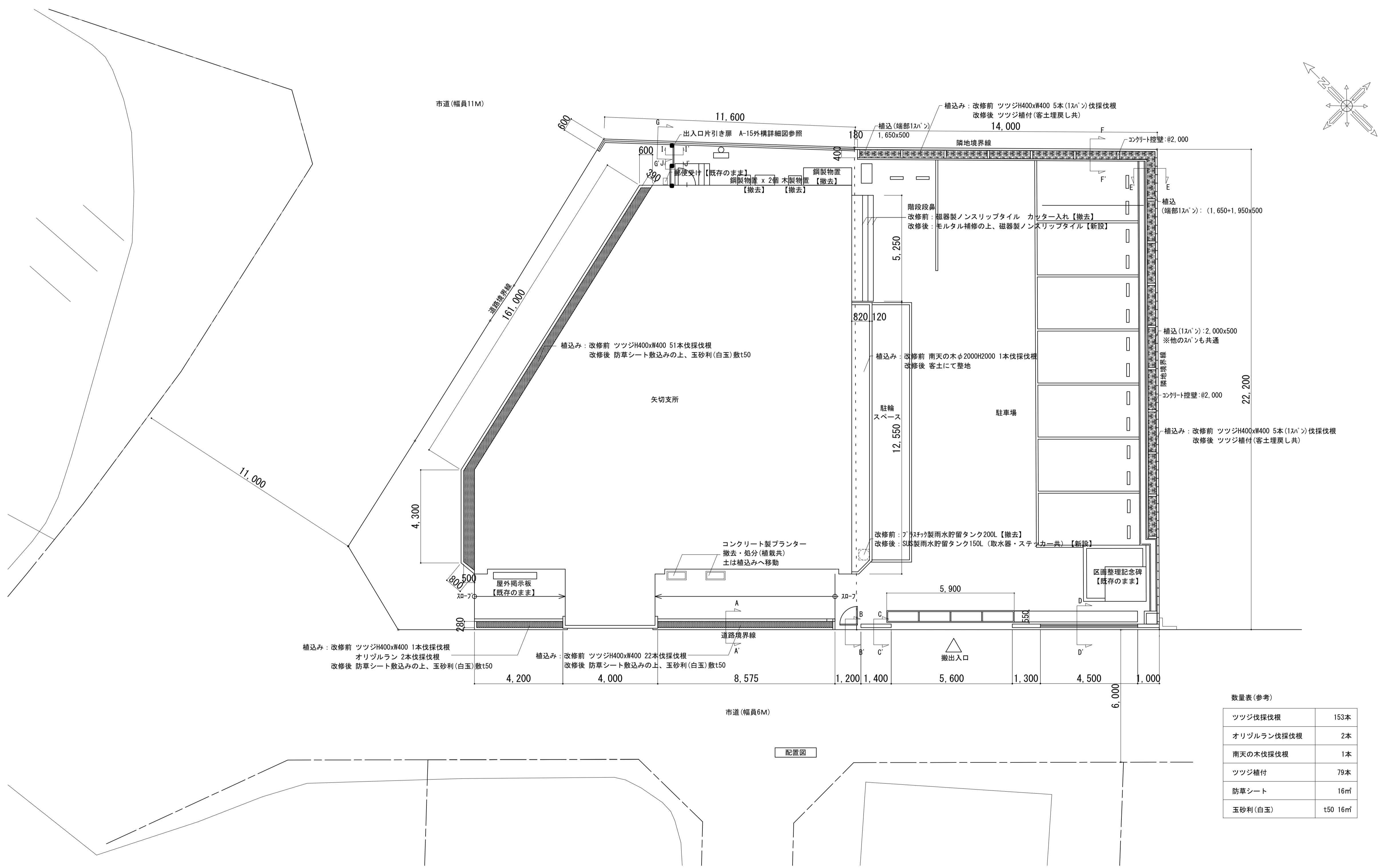
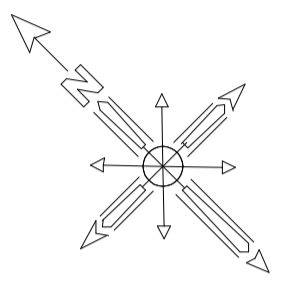
7	外壁	改修前 改修後	コンクリート打放しの上、7716樹脂系収付材(一部28'樹脂系収付材 ※72'寸含有【一部撤去】) 高圧水洗いの上、可とう形改修塗材E【塗替】(劣化による補修部：下地調整0-2の上、複層塗材E)	7	バルコニー見付	改修前 改修後	コンクリート打放しの上、28'樹脂系収付材(977付) ※72'寸含有【一部撤去】 可とう形改修塗材E【塗替】(劣化による補修部：下地調整0-2の上、複層塗材E)	2	バルコニー	改修前 改修後	コンクリート打放しの上、28'樹脂系収付材(一部28'樹脂系収付材 ※72'寸含有【一部撤去】) 可とう形改修塗材E【塗替】(劣化による補修部：下地調整0-2の上、複層塗材E)	2	バルコニー見付	改修前 改修後	コンクリート打放しの上、7716樹脂系収付材(一部28'樹脂系収付材 ※72'寸含有【一部撤去】) 可とう形改修塗材E【塗替】(劣化による補修部：下地調整0-2の上、複層塗材E)	2	バルコニー	改修前 改修後	コンクリート打放しの上、7716樹脂系収付材(一部28'樹脂系収付材 ※72'寸含有【一部撤去】) 可とう形改修塗材E【塗替】(劣化による補修部：下地調整0-2の上、複層塗材E)	2	バルコニー	改修前 改修後	コンクリート打放しの上、7716樹脂系収付材(一部28'樹脂系収付材 ※72'寸含有【一部撤去】) 可とう形改修塗材E【塗替】(劣化による補修部：下地調整0-2の上、複層塗材E)	2	バルコニー	改修前 改修後	コンクリート打放しの上、7716樹脂系収付材(一部28'樹脂系収付材 ※72'寸含有【一部撤去】) 可とう形改修塗材E【塗替】(劣化による補修部：下地調整0-2の上、複層塗材E)				
1	根廻り	改修前 改修後	コンクリート打放し【既存のまま】 高圧水洗いの上、劣化による補修部下地調整0-1の上、6'リッチ系基礎巾木用塗材【新設】	8	バルコニー軒裏	改修前 改修後	コンクリート打放しの上、7716樹脂系収付材 ※72'寸含有【撤去】 既存塗膜除去後、高圧水洗い、下地調整0-1の上、水性反応硬化形軒天専用仕上塗材塗り【新設】	3	屋上(平場)	改修前 改修後	アスファルト防水(A-2)の上、豆砂利コンクリート160【既存のまま】 樹脂モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	3	屋上(平場)	改修前 改修後	アスファルト防水(A-2)の上、豆砂利コンクリート160【既存のまま】 樹脂モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	3	屋上(平場)	改修前 改修後	アスファルト防水(A-2)の上、豆砂利コンクリート160【既存のまま】 樹脂モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	3	屋上(平場)	改修前 改修後	アスファルト防水(A-2)の上、豆砂利コンクリート160【既存のまま】 樹脂モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	3	屋上(平場)	改修前 改修後	アスファルト防水(A-2)の上、豆砂利コンクリート160【既存のまま】 樹脂モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	3	屋上(平場)	改修前 改修後	アスファルト防水(A-2)の上、豆砂利コンクリート160【既存のまま】 樹脂モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】
2	軒裏	改修前 改修後	コンクリート打放しの上、7716樹脂系収付材 ※72'寸含有【撤去】 既存塗膜除去後、高圧水洗い、下地調整0-1の上、水性反応硬化形軒天専用仕上塗材塗り【新設】	9	バルコニー床	改修前 改修後	防水モルタル金ゴテ押え【既存のまま】 高圧水洗い、樹脂モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	4	屋上(風除室)	改修前 改修後	アスファルト防水(A-2)の上、豆砂利コンクリート160【既存のまま】 樹脂モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	4	屋上(風除室)	改修前 改修後	アスファルト防水(A-2)の上、豆砂利コンクリート160【既存のまま】 樹脂モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	4	屋上(風除室)	改修前 改修後	アスファルト防水(A-2)の上、豆砂利コンクリート160【既存のまま】 樹脂モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	4	屋上(風除室)	改修前 改修後	アスファルト防水(A-2)の上、豆砂利コンクリート160【既存のまま】 樹脂モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	4	屋上(風除室)	改修前 改修後	アスファルト防水(A-2)の上、豆砂利コンクリート160【既存のまま】 樹脂モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	4	屋上(風除室)	改修前 改修後	アスファルト防水(A-2)の上、豆砂利コンクリート160【既存のまま】 樹脂モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】
3	壁紙	改修前 改修後	VP管φ100 SUS製組み金物 #1200【撤去】 下部養生管・黒ガス管φ125 DP塗装【新設】 お-VP管φ100 SUS製組み金物 #1200【新設】 下部養生管・白ガス管φ125 DP塗装【新設】	4	アルミ笠木	改修前 改修後	アルミ製笠木#250【撤去】 アルミ製笠木#250【新設】	5	屋上(立上り)	改修前 改修後	防水モルタル金ゴテ押え【既存のまま】 樹脂モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	5	屋上(立上り)	改修前 改修後	防水モルタル金ゴテ押え【既存のまま】 樹脂モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	5	屋上(立上り)	改修前 改修後	防水モルタル金ゴテ押え【既存のまま】 樹脂モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	5	屋上(立上り)	改修前 改修後	防水モルタル金ゴテ押え【既存のまま】 樹脂モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	5	屋上(立上り)	改修前 改修後	防水モルタル金ゴテ押え【既存のまま】 樹脂モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	5	屋上(立上り)	改修前 改修後	防水モルタル金ゴテ押え【既存のまま】 樹脂モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】
4	建具廻り	改修前 改修後	お-スリット10~15×10 仕上げあり：PU-2 仕上げなし：MS-2【撤去】 スリット10~15×10 仕上げあり：PU-2 仕上げなし：MS-2【新設】	5	庇(縁上階)見付	改修前 改修後	コンクリート打放しの上、28'樹脂系収付材(977付) ※72'寸含有【一部撤去】 可とう形改修塗材E【塗替】(劣化による補修部：下地調整0-2の上、複層塗材E)	6	階段段鼻	改修前 改修後	樹脂製ノンスリップタイル カッター入れ【撤去】 モルタル補修の上、磁器製ノンスリップタイル【新設】	6	階段段鼻	改修前 改修後	樹脂製ノンスリップタイル カッター入れ【撤去】 モルタル補修の上、磁器製ノンスリップタイル【新設】	6	階段段鼻	改修前 改修後	樹脂製ノンスリップタイル カッター入れ【撤去】 モルタル補修の上、磁器製ノンスリップタイル【新設】	6	階段段鼻	改修前 改修後	樹脂製ノンスリップタイル カッター入れ【撤去】 モルタル補修の上、磁器製ノンスリップタイル【新設】	6	階段段鼻	改修前 改修後	樹脂製ノンスリップタイル カッター入れ【撤去】 モルタル補修の上、磁器製ノンスリップタイル【新設】	6	階段段鼻	改修前 改修後	樹脂製ノンスリップタイル カッター入れ【撤去】 モルタル補修の上、磁器製ノンスリップタイル【新設】
5	窓	改修前 改修後	お'32(屋外側)シタ【撤去】 お'32(屋外側)シタMSR-1【新設】 お'32(内側)共	6	庇(縁上階)軒裏	改修前 改修後	コンクリート打放しの上、28'樹脂系収付材(977付) ※72'寸含有【一部撤去】 可とう形改修塗材E【塗替】(劣化による補修部：下地調整0-2の上、複層塗材E)	7	水切	改修前 改修後	アルミ製ハンガー式 出幅30mm シーリング共【撤去】 アルミ製ハンガー式 出幅30mm シーリングPU-2共【新設】	7	水切	改修前 改修後	アルミ製ハンガー式 出幅30mm シーリング共【撤去】 アルミ製ハンガー式 出幅30mm シーリングPU-2共【新設】	7	水切	改修前 改修後	アルミ製ハンガー式 出幅30mm シーリング共【撤去】 アルミ製ハンガー式 出幅30mm シーリングPU-2共【新設】	7	水切	改修前 改修後	アルミ製ハンガー式 出幅30mm シーリング共【撤去】 アルミ製ハンガー式 出幅30mm シーリングPU-2共【新設】	7	水切	改修前 改修後	アルミ製ハンガー式 出幅30mm シーリング共【撤去】 アルミ製ハンガー式 出幅30mm シーリングPU-2共【新設】	7	水切	改修前 改修後	アルミ製ハンガー式 出幅30mm シーリング共【撤去】 アルミ製ハンガー式 出幅30mm シーリングPU-2共【新設】
6	手すり	改修前 改修後	SUS製丸パイプ 手すりφ48.6、手すり子φ27.2【既存のまま】 クリーニング	8	物干金物	改修前 改修後	アルミ製既製品 壁付け1組【撤去】 取付部除く2箇所	8	庇(天端)	改修前 改修後	防水モルタル金ゴテ押えの上、アクリル樹脂系収付材【撤去】 防水モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	8	庇(天端)	改修前 改修後	防水モルタル金ゴテ押えの上、アクリル樹脂系収付材【撤去】 防水モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	8	庇(天端)	改修前 改修後	防水モルタル金ゴテ押えの上、アクリル樹脂系収付材【撤去】 防水モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	8	庇(天端)	改修前 改修後	防水モルタル金ゴテ押えの上、アクリル樹脂系収付材【撤去】 防水モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	8	庇(天端)	改修前 改修後	防水モルタル金ゴテ押えの上、アクリル樹脂系収付材【撤去】 防水モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	8	庇(天端)	改修前 改修後	防水モルタル金ゴテ押えの上、アクリル樹脂系収付材【撤去】 防水モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】
7	天井換気機	改修前 改修後	縦貫型パイプφ50 防虫網付き 塗装共【既存のまま】 クリーニング	9	ルーフトレン	改修前 改修後	鋼鉄製 壁型φ100【撤去】 改修用ドレン 壁型φ100【新設】	9	庇(天端)	改修前 改修後	防水モルタル金ゴテ押えの上、アクリル樹脂系収付材【撤去】 防水モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	9	庇(天端)	改修前 改修後	防水モルタル金ゴテ押えの上、アクリル樹脂系収付材【撤去】 防水モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	9	庇(天端)	改修前 改修後	防水モルタル金ゴテ押えの上、アクリル樹脂系収付材【撤去】 防水モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	9	庇(天端)	改修前 改修後	防水モルタル金ゴテ押えの上、アクリル樹脂系収付材【撤去】 防水モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	9	庇(天端)	改修前 改修後	防水モルタル金ゴテ押えの上、アクリル樹脂系収付材【撤去】 防水モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	9	庇(天端)	改修前 改修後	防水モルタル金ゴテ押えの上、アクリル樹脂系収付材【撤去】 防水モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】
8	風除室見付	改修前 改修後	コンクリート打放しの上、28'樹脂系収付材(977付) ※72'寸含有【一部撤去】 可とう形改修塗材E【塗替】(劣化による補修部：下地調整0-2の上、複層塗材E)	9	中継用ドレン	改修前 改修後	鋼鉄製 φ100【既存のまま】 下地調整の上、フナシ系系成28'樹脂系収付材【新設】	10	庇(天端)	改修前 改修後	防水モルタル金ゴテ押えの上、アクリル樹脂系収付材【撤去】 防水モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	10	庇(天端)	改修前 改修後	防水モルタル金ゴテ押えの上、アクリル樹脂系収付材【撤去】 防水モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	10	庇(天端)	改修前 改修後	防水モルタル金ゴテ押えの上、アクリル樹脂系収付材【撤去】 防水モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	10	庇(天端)	改修前 改修後	防水モルタル金ゴテ押えの上、アクリル樹脂系収付材【撤去】 防水モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	10	庇(天端)	改修前 改修後	防水モルタル金ゴテ押えの上、アクリル樹脂系収付材【撤去】 防水モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】	10	庇(天端)	改修前 改修後	防水モルタル金ゴテ押えの上、アクリル樹脂系収付材【撤去】 防水モルタルの上、ウレタン塗膜防水(X-2工法)【新設】

※換気口、ペントキャップ廻りはシーリング(MS-2)【撤去・新設】防水部、水切取付部はシーリング(PU-2)【新設】を行なうこと
※鉄部配管、プルボックス#150φ150(配管分岐・接続の部)はP塗替えを行なうこと。

工事名	松戸市役所矢切支所外壁及び屋上防水改修工事		
図面名	短計図		
作成年月日	令和8年 月 日	変更年月日	
縮尺	1 : 30	図面番号	A-12
松戸市 街づくり部 建築保全課			



工事名	松戸市役所矢切支所外壁及び屋上防水 改修工事		
図面名	屋上詳細図		
作成年月日	令和8年 月 日	変更年月日	
縮尺	1 : 20	図面番号	A-13
松戸市 街づくり部 建築保全課			



補込み：改修前 ツツジH400xW400 1本伐採伐根
オリヅラン 2本伐採伐根
改修後 防草シート敷込みの上、玉砂利(白玉)敷t50

補込み：改修前 ツツジH400xW400 22本伐採伐根
改修後 防草シート敷込みの上、玉砂利(白玉)敷t50

補込み：改修前 ツツジH400xW400 51本伐採伐根
改修後 防草シート敷込みの上、玉砂利(白玉)敷t50

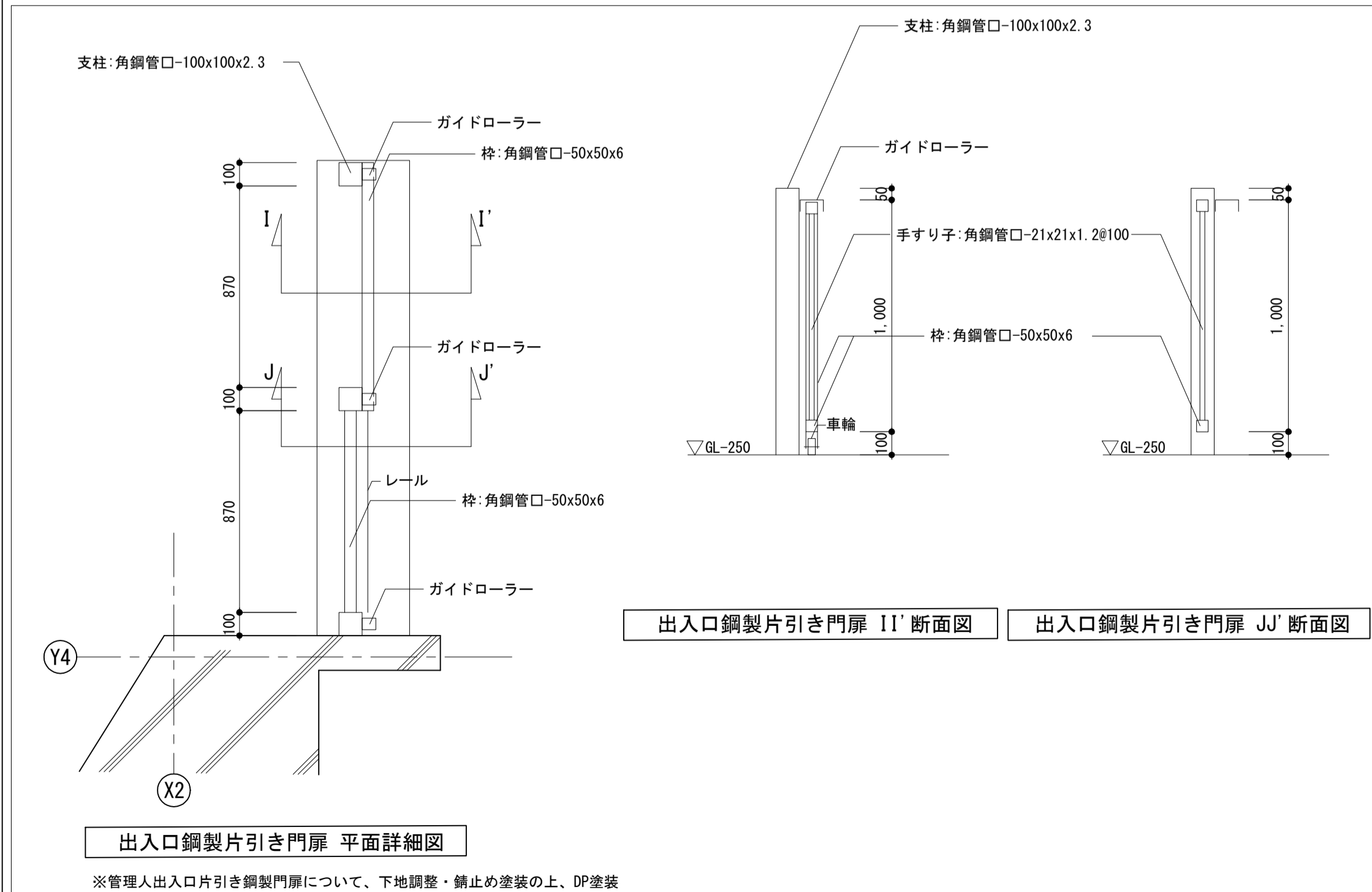
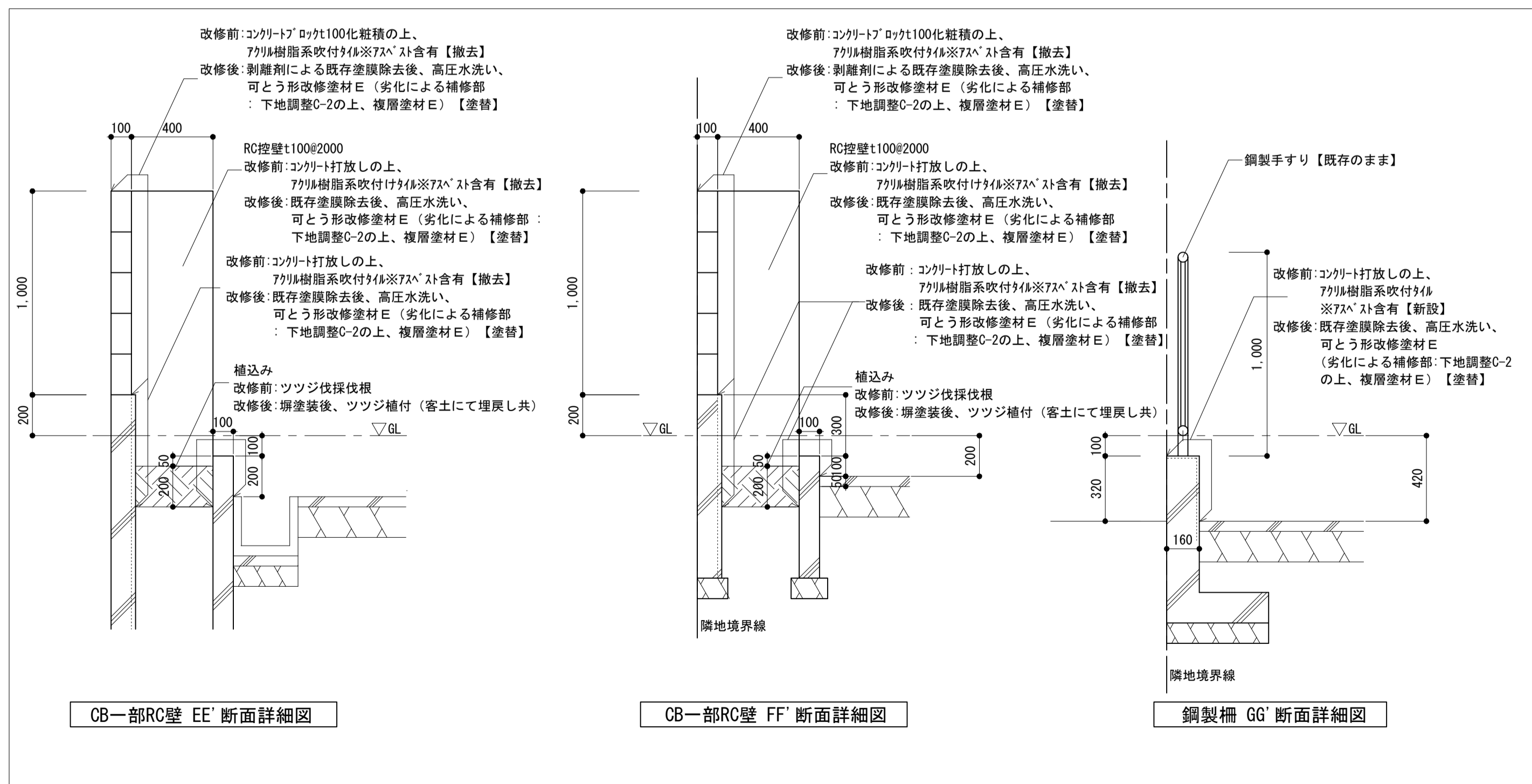
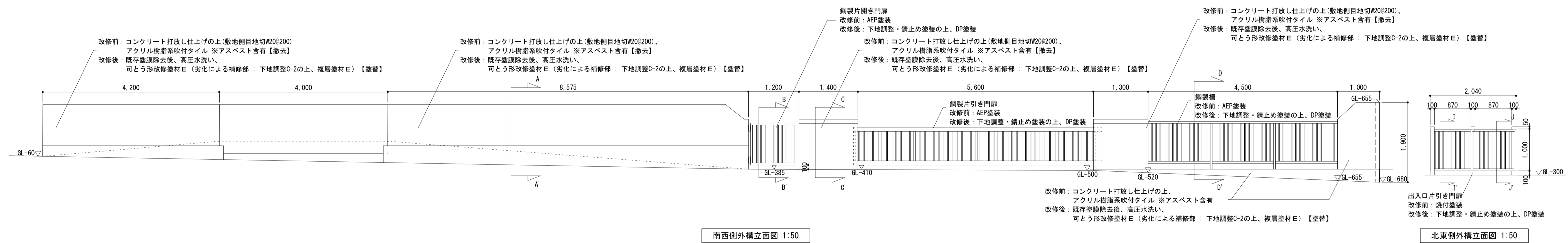
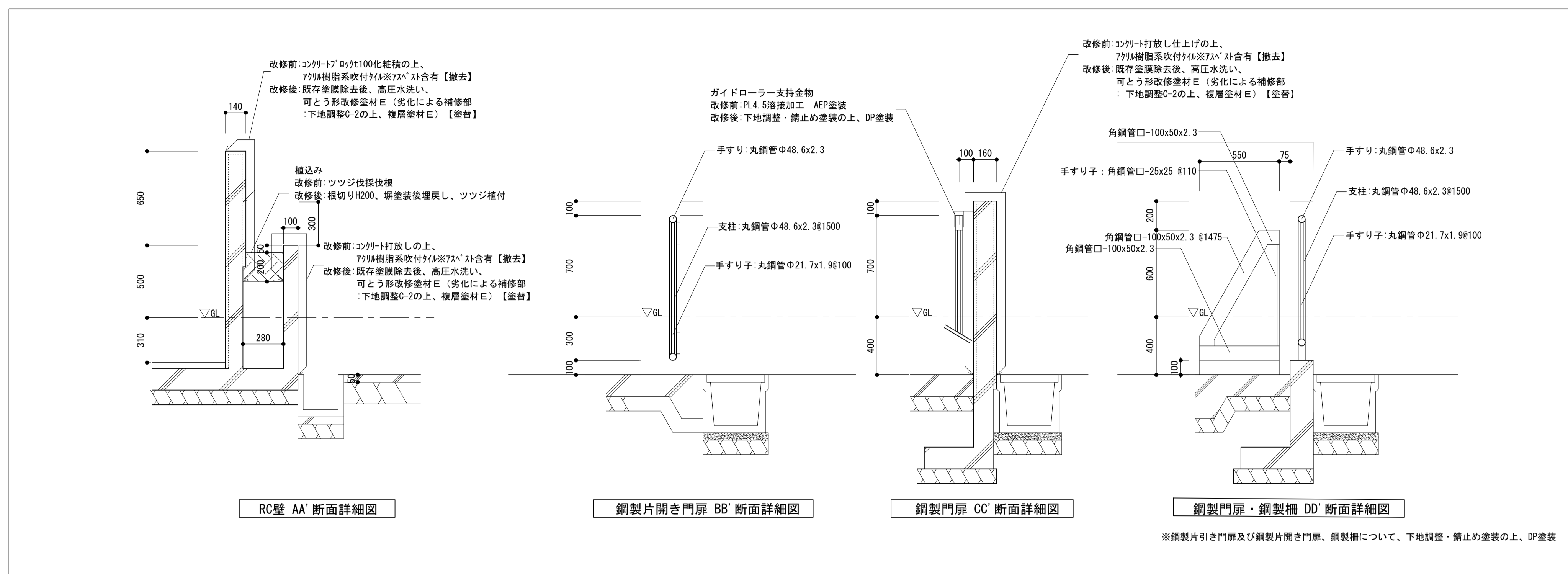
補込み：改修前 南天の木心2000H2000 1本伐採伐根
改修後 客土にて整地

改修前：フタ付樹脂製雨水貯留タンク200L【撤去】
改修後：SUS製雨水貯留タンク150L(取水器・ステッカー共)【新設】

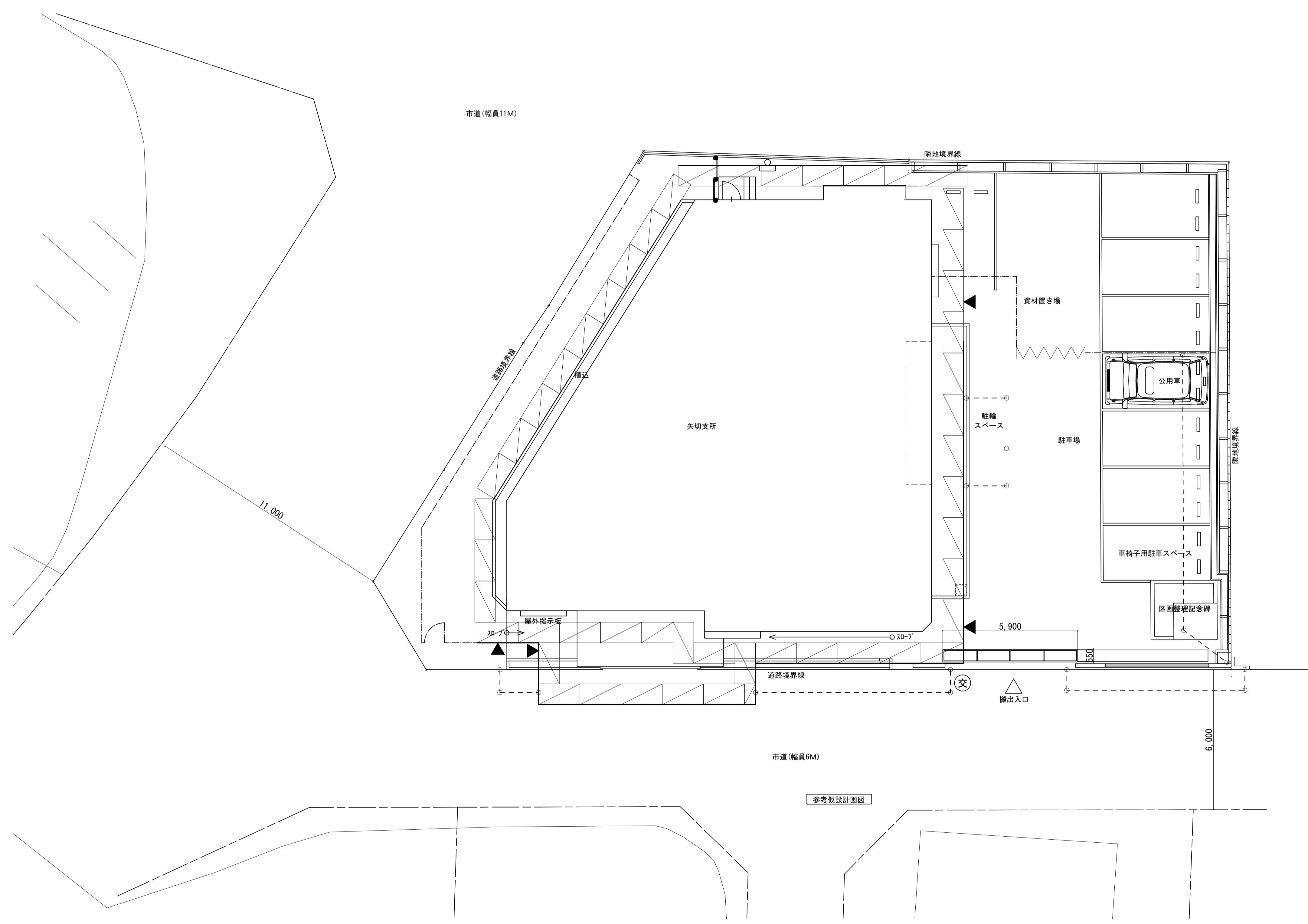
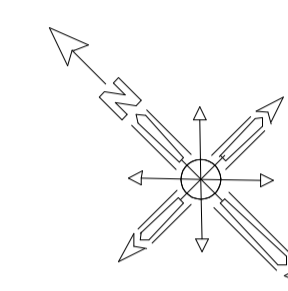
数量表(参考)

ツツジ伐採伐根	153本
オリヅラン伐採伐根	2本
南天の木伐採伐根	1本
ツツジ植付	79本
防草シート	16㎡
玉砂利(白玉)	t50 16㎡

工事名	松戸市役所矢切支所外壁及び屋上防水改修工事		
図面名	外構図		
作成年月日	令和8年 月 日	変更年月日	
縮尺	1 : 100	図面番号	A-14
松戸市 街づくり部 建築保全課			



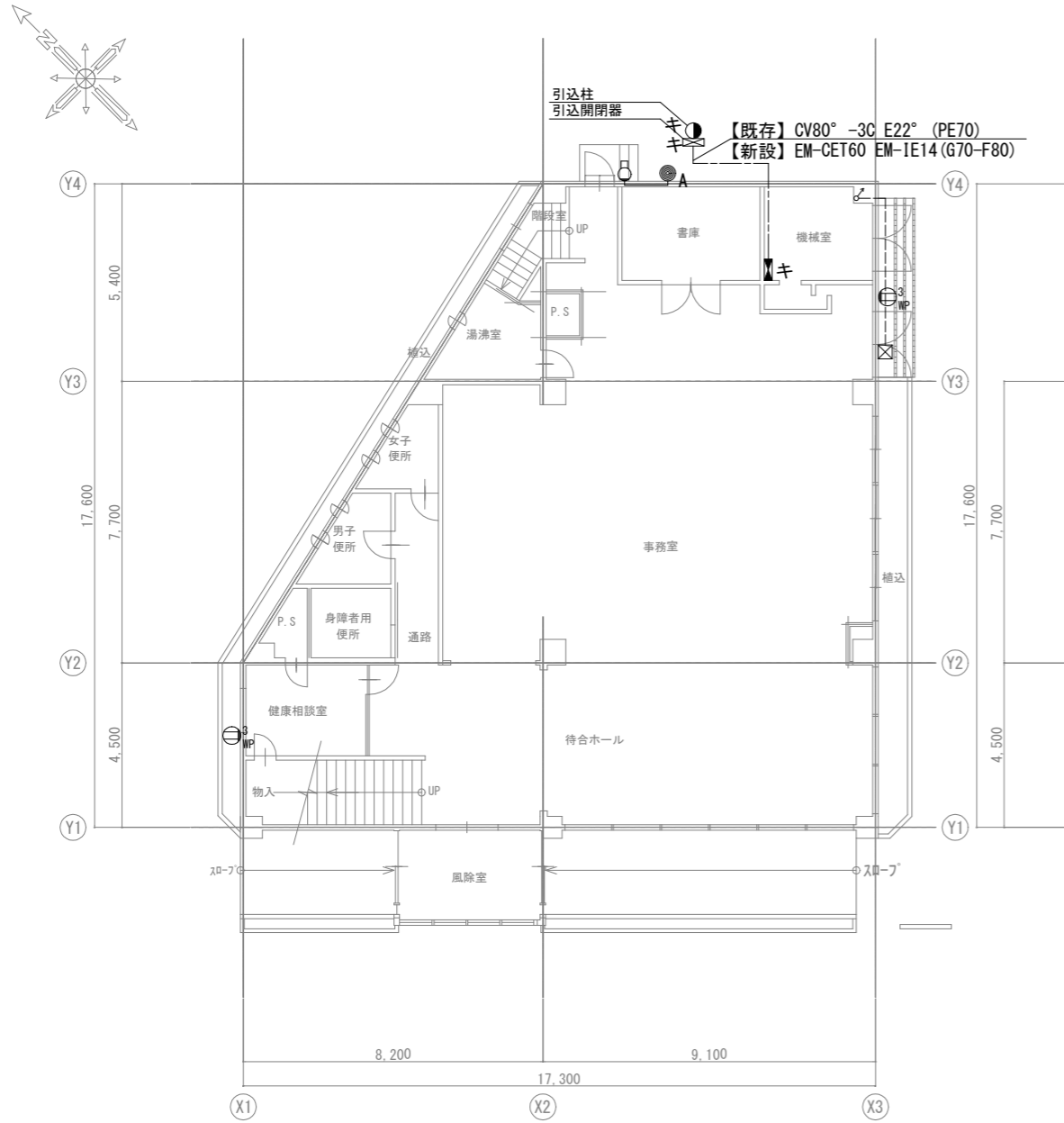
工事名	松戸市役所矢切支所外壁及び屋上防水改修工事		
図面名	外構詳細図		
作成年月日	令和8年 月 日	変更年月日	
縮尺	1:50	図面番号	A-15
松戸市 街づくり部 建築保全課			



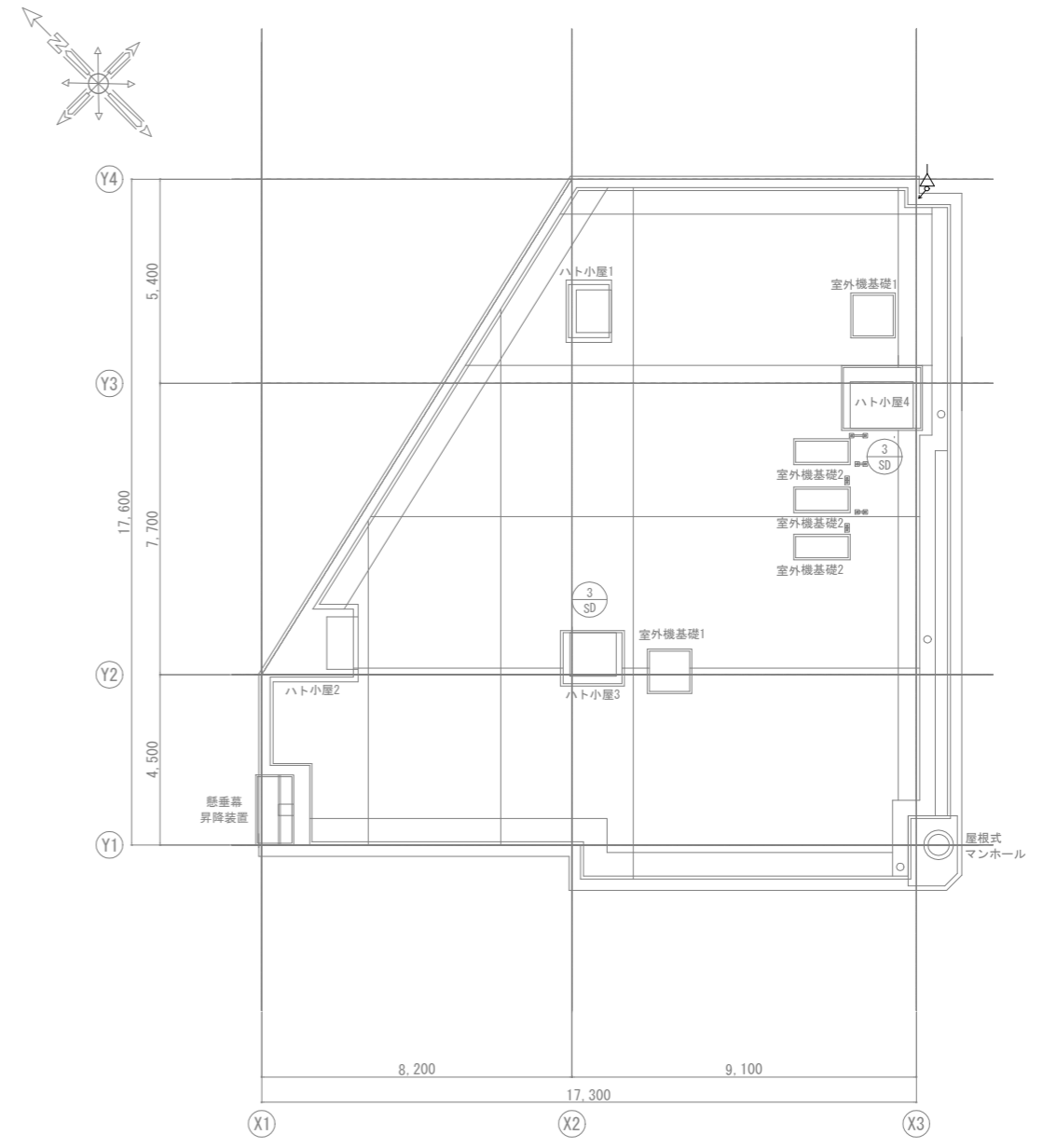
凡例表	
	キャスターゲートW3,000
	カラーコーン・コーンバーL2,000 道路上は作業時のみ設置
	ガードフェンスH1,800
	枠組本足場(手すり先行方式) + 単管足場, 脚立足場
	下部金網式養生柵(道路側は成型鋼板)H2,000設置 柵養生シート(防災1類)
	交通誘導員 適宜配置
	建物出入口 防護柵設置

※安全に配慮し適宜、交通誘導員を設置すること。
 ※道路上の仮設資材には保安灯を設置すること。
 ※出入口及び道路側 + スロープ部分については、落下物養生を行うこと。
 ※バルコニー床には脚立足場を設置する。
 ※仮設計画図は参考とし、仮設工事着手前に、協議を行なうこと。

工事名	松戸市役所矢切支所外壁及び屋上防水 改修工事		
図面名	参考仮設計画図		
作成年月日	令和8年 月 日	変更年月日	
縮尺	1 : 100	図面番号	A-16
松戸市 街づくり部 建築保全課			



1階平面図



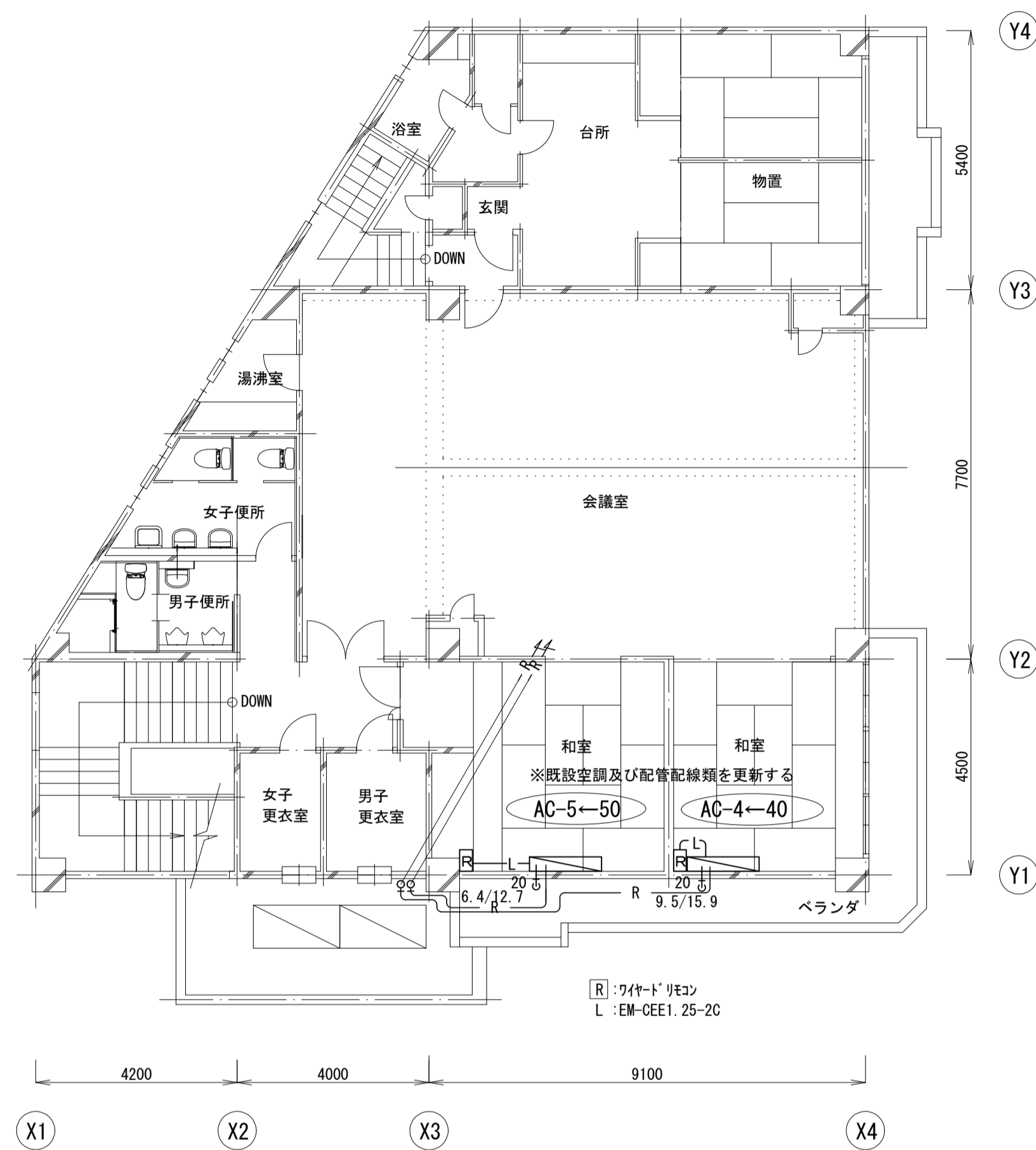
R階平面図

【凡例】

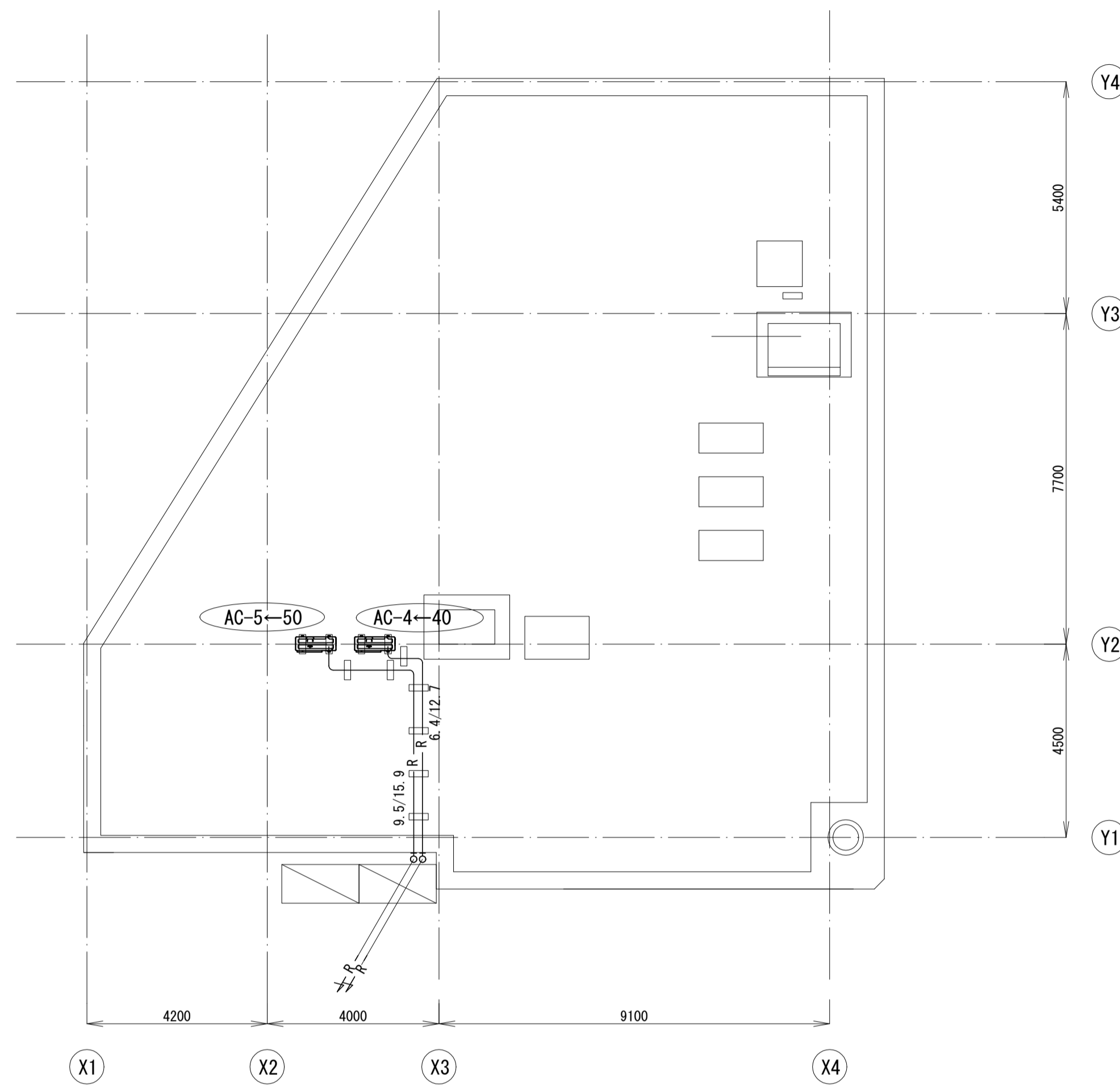
記号	名称	備考
⊕	ウォールライト 20型	
⊕ ³ _{WP}	防水コンセント(3口)	撤去・新設
● _A	自動点滅器	撤去・新設
☒	プルボックス (150×150×150) SUS	取外し・再取り付け
----	600V絶縁ケーブル (露出)	取外し・再取り付け
△	アンテナ及びアンテナマスト	取外し・再取り付け
----	地中埋設管	ケーブルは撤去新設とする (引込開閉器盤~動力盤) 配管は屋外部で撤去し、異種管接続する
—	600V絶縁ケーブル (スラブ内配管)	撤去・新設

キ：既設を示す

工事名	松戸市役所矢切支所外壁及び屋上防水改修工事		
図面名	1階平面図、R階平面図		
作成年月日	令和8年6月 日	変更年月日	
縮尺	1 : 100	図面番号	E-02
松戸市 街づくり部 建築保全課			



2階平面図 1:100



屋上平面図 1:100

機器表(新設)							
記号	名称		規格・仕様	電動機出力	電源	数量(組)	備考・参考型番
AC-4	パッケージエアコン	和室	壁掛け形 ペア ワイヤードリモコン 冷房能力:7.1kW 暖房能力:8.0kW	1.6 kW	三相 200V	1	PKZ-ZRMP80K6 新設
AC-5	パッケージエアコン	和室	壁掛け形 ペア ワイヤードリモコン 冷房能力:4.5kW 暖房能力:5.0kW	0.8 kW	三相 200V	1	PKZ-ZRMP50L6 新設

機器表(既設)							
記号	名称		規格・仕様	電動機出力	電源	数量(組)	型番
AC-40	パッケージエアコン	和室	壁掛け形 ペア ワイヤードリモコン 冷房能力:7.1kW 暖房能力:8.0kW	1.53 kW	三相 200V	1	SZRA80BT 撤去
AC-50	パッケージエアコン	和室	壁掛け形 ペア ワイヤードリモコン 冷房能力:5.0kW 暖房能力:5.6kW	1.07 kW	三相 200V	1	SZRA56BT 撤去

工事名	松戸市役所矢切支所外壁及び屋上防水改修工事		
図面名	2階平面図(機械)		
作成年月日	令和8年 月 日	変更年月日	
縮尺	1:100	図面番号	M-01
松戸市 街づくり部 建築保全課			

《 松戸市建築工事提出書類等一覧表 》 (2025.7)

1. 工事名称 松戸市役所矢切支所外壁及び屋上防水改修工事

2. 工事場所 松戸市三矢小台三丁目10番地の5

3. 工期 令和 年 月 日 から 令和 9年 2月 15日 まで

4. CADデータの貸与 有 無

- ※1. 基準等にある「建」とは「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版」を指す。
- ※2. 基準等にある「電」とは「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和7年版」を指す。
- ※3. 基準等にある「機」とは「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和7年版」を指す。
- ※4. 基準等にある「請負契約〇〇条」は「工事請負契約書」を指す。

	摘要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工 事 着 工 前 に 提 出	■工事实績情報(工事カルテ)の登録 (受注登録工事カルテ受領書、受注登録データ) ※契約額が500万円以上(契約後10日以内に登録) 【契約後14日以内】	報告	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4 松戸市建設工事 適正化指導要綱	
	■電気保安技術者通知書 (資格者証の写し) 【契約後14日以内】	承諾	1	建1.3.3 電1.3.2 機1.3.2	
	■施工体制台帳・下請業者選定通知書・施工体系図 【下請契約後14日以内に提出(下請契約がない場合不要)】	報告	2	請負契約第7条 建1.1.5 電1.1.5 機1.1.5 松戸市建設工事 適正化指導要綱	代表者
	■実施工程表 ※建築・電気・機械などの関連工事工程も記載 【初回打合せ後速やかに】	承諾	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	■総合施工計画書 1. 組織表(現場代理人、主任技術者、工事用電力設備の保安責任者など)、緊急連絡体制、仮設計画図 2. 工事概要、建物概要、予想される災害・公害対策、出入口の管理、危険箇所の点検方法、火災予防、養生・片付け、工事の保険、関係官公署その他の関係機関への届出等一覧表など 【初回打合せ後速やかに】	報告	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
工 事 中 に 提 出	■設計図書の照査報告書 【適宜】	報告	1	請負契約第19条	代表者
	■工種別施工計画書 ※資格者名簿・資格者証、使用資機材、使用材料・ 機材品質証明書などを添付	承諾	1	建1.2.2 電1.2.2 機1.2.2	主任技術者 及び現場代理人
	■施工図等（施工図、製作図、カタログ等） ※施工図、製作図は主任・現場が全ての図面に記名	承諾	1	建1.2.3 電1.2.3 機1.2.3	主任技術者 及び現場代理人
	■発生材処理計画書 産廃業者と契約書の写し（単価記載） 産廃業者の許可書の写し 再資源利用（促進）計画書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 ※登録は契約額が100万円以上 【廃棄物搬出前】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	■月報（出来高・進捗表） 【月初め7日以内】	報告	1		
	□定例打合せ記録 【適宜】	報告	1		
	■詳細工程表（月間工程表） ※年末年始・GW・夏季等については、 安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載 【前月末日まで】	報告	1	建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1	
	□地業（既製コンクリート杭等）工事結果報告書	報告	1	建1.5.4	主任技術者 及び現場代理人
	■試験結果報告書	報告	1	建1.4.5 建1.5.6 電1.4.5 電1.5.4 機1.4.5 機1.5.5	主任技術者 及び現場代理人
	□発生土処理報告書	報告	1		
	■発生材処理報告書 産廃業者マニフェストの写し（E票） 再資源利用（促進）実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】	報告	1	建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	
	□出来高検査 1 出来高検査願 2 出来高報告書	報告	1	請負契約第39条	
	□現場休止届（年末年始・GW・夏季等） ※安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載	報告	1		

	摘 要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
完 成 後 に 提 出	■関係官公署その他の関係機関への届出等 【工事完了後速やかに】	報告	1		代表者
	■しゅん工届 【工事完了後速やかに】		1	建1.6.1 電1.6.1 機1.6.1	
	■自主検査記録（現場代理人以外の検査とする） 【工事完了後速やかに】	報告	1		
	■工事写真（建築工事写真撮影基準に準拠）			建1.2.4 電1.2.4 機1.2.4	
	■1 工事記録写真	写真帳	1		
	■2 完成写真 【工事完了後速やかに】	写真帳	1		
	■完成図 PDF, CADデータ	CDもし くはDVD	2	建1.7.2 電1.7.2 機1.7.2	
	■電子納品 電子媒体 電子媒体納品書	CDもし くはDVD	2 1	※松戸市建築事業 に係る電子納品 運用ガイドライ ン（案）	
	■工事实績情報（工事カルテ）の登録 （竣工登録工事カルテ受領書、竣工登録データ） ※500万以上	報告書	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4	
	■引渡し関係 ■1 予備品等引渡通知書（リスト共） □2 キーボックス		3		
	■防水工事に関する保証書 各種防水仕様による保証書（特記仕様による） 元請業者、製造業者及び防水施工業者の連名	保証書	3		
	■保全に関する資料 □1 建築物等の利用に関する説明書 □2 保守に関する説明書（機器取扱説明書を含む） □3 機器性能試験成績書 ■4 官公署届出書類	原則、 CDもし くはDVD	2 2 1 1	建1.7.3 電1.7.3 機1.7.3	
	□5 総合試運転報告書 □6 総合試運転調整報告書		1 1	電1.7.3 機1.7.3	

《 松戸市建築工事検査・立会い一覧表 》 建築工事編 (2025.7)

1. 工事名称 松戸市役所矢切支所外壁及び屋上防水改修工事
2. 工事場所 松戸市三矢小台10番地の5
3. 工期 令和 年 月 日 から 令和 9年 2月 15日 まで

標 仕：公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版
 改標仕：公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版

No	検査・立会い項目	基準等	備考
1	検査		
	■ 1 品質管理検査(必要に応じて)	標 仕 1. 3.6 改標仕 1. 3.6	
	■ 2 材料の検査(承諾済は除く)	標 仕 1. 4.4 改標仕 1. 4.4	
	■ 3 施工の検査等	標 仕 1. 5.5 改標仕 1. 7.5	
	□ 4 敷地の状況確認及び縄張り	標 仕 2. 2.1	
	□ 5 ベンチマーク	標 仕 2. 2.2	
	□ 6 遣方	標 仕 2. 2.3	
	□ 7 根切り	標 仕 3. 2.1 改標仕 8.28.3	
	□ 8 地業工事 掘削深さ及び支持層 (アースリ工法、リバース工法、オルケーシング工法)	標 仕 4. 5.5	
	□ 9 配筋検査	標 仕 5. 1.3 改標仕 8. 3.1	
	□ 10 コンクリート打ち込み後補修	標 仕 6. 9.6 改標仕 8. 8.6	
	□ 11 高力ボルト締付確認の記録	標 仕 7. 4.8 改標仕 8.14.8 改標仕 8.20.7	
	□ 12 鉄骨建方	標 仕 7.10.5	
	□ 13 鉄骨現場組立て	改標仕 8.19.3	
	□ 14 鋼板巻組立て	改標仕 8.23.6	
	■ 15 防水層の施工	標 仕 9. 1.3 改標仕 3. 1.3	
	□ 16 タイル張施工後の接着力試験不合格の場合	標 仕 11. 1.7 改標仕 4. 4.8 改標仕 6.16.2	
	□ 17 部分使用		
	□ 18 出来高		
2	立会い		
	■ 1 材料の検査に伴う試験	標 仕 1. 4.5 改標仕 1. 4.5	
	■ 2 監督職員の指示による立会い	標 仕 1. 5.8 改標仕 1. 7.8	
	□ 3 地業工事の試験による立会い (杭又は支持地盤の位置及び土質の試験)	標 仕 4. 2.1 改標仕 8.28.4	